

2022 年度言語研修

Intensive Language
Course 2022

「アゼルバイジャン語」
研修テキスト 1

“Azerbaijani”
Textbook 1



アゼルバイジャン語

文法教本

吉村 大樹 カマラ・グリエヴァ

Azerbaijani Grammar Textbook

Yoshimura Taiki & Guliyeva Kamala

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所

2023



アゼルバイジャン語文法教本

2022 年度夏期言語研修

「アゼルバイジャン語（北アゼルバイジャン語）」テキスト

吉村 大樹、カマラ・グリエヴァ



東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

まえがき

アゼルバイジャン語（北アゼルバイジャン語）はアゼルバイジャン共和国の国家語・公用語で、コーカサス地域やイラン、トルコなど、アゼルバイジャンとその周辺地域を中心に話されています。イラン北西部などで使用されている南アゼルバイジャン語の話者をあわせると、すくなくとも 2000 万人以上の言語話者を擁します。この話者数は、テュルク諸語の中でも最大話者数を擁するトルコ語に次ぐ規模の多さであるといえるでしょう。

すでに日本国内では言語系統上ではきわめてアゼルバイジャン語に近いトルコ語の教材が数多く出版されていますし、中央アジアなどのテュルク諸語についても近年ウズベク語やカザフ語などの入門書や文法書が出版されています。テュルク諸語に関心のある人々にとっては好ましい状況になってきたと言えるでしょう。もちろんアゼルバイジャン語についてもすでにいくつかの語学書が市販されており、ある程度手軽に利用できるようになっていますが、独学で使用可能な教材の開発が現在でも喫緊の課題である状況には変わりありません。

本書は東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催の 2022 年度夏期言語研修にむけて準備した教材の一つで、アゼルバイジャン語の文法を概略的に参照するために用意したものです。さまざまな文法項目についての解説が主な内容になっていますが、体系的に記述した文法書というよりは、ある程度実用性を重視して順番に読み進めていくことで学習がより効率的になるような構成も意識して作成しています。聴解・発音などに関する項目は別冊の教材に委ねてあります。本教材も少しでも学習者のみなさんのお役に立つならば、共著者の一人としてこれ以上の喜びはありません。

本書の執筆にあたっては、全体の構成と文法項目の解説、練習問題の作成を吉村が、アゼルバイジャン語の例文チェックおよび巻末の講読テキスト「補遺 1. 実践読解問題」はグリエヴァが担当しています。

本書の執筆、完成にあたって、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所の各先生方をはじめとして、個々のお名前は挙げませんが、執筆を日頃から応援してくれた日本・アゼルバイジャン・トルコ各地在住の友人たちに、心よりの謝意を表明いたします。語学書、文法書としてのクオリティとしては加筆・改善の余地が多々あることを筆者自身も自覚していますが、各氏のご協力、機関の助成がなければ、本書は輪郭すら生まれていなかったにちがいません。

2023 年 3 月

日本における「洋学」ゆかりの地 長崎にて

吉村 大樹

Dil millətlər, xalqlar, dövlətlər arasında ünsiyyət vasitəsidir. Dünyamızın hər hansı yerində olsa öz dilimizdə kəlmələr eşitdikcə şad oluruq, özümüzü doğma məkanda hiss edirik. Yaradılışı miladdan öncəki dövrlərə gedib çatan bu dilin ifadə zənginliyi, axıcılığı, sadəliyi, səlist ahəngi onu dünyanın ən şirin dillərindən biri kimi tanıtmış, şöhrətləndirmişdir.

Azərbaycan dili qədim dildir və türk dilləri qrupuna aiddir. Zəngin tarixə malik olan dilimizi təbliğ etmək böyük bir qürur hissidir. Bu dil 50 milyondan çox insanın ünsiyyət vasitəsidir. Dünyanın dörd bir tərəfində Azərbaycan dili yaşayır və nəsildən nəsilə ötürülür. Bu dildə yaranmış sayı-hesabı yüzlərlə olan nağıllar, bayatılar, tapmacalar, atalar sözləri və məsəllər Azərbaycan xalqının gözəl və zəngin dili ilə ifadə edilir.

Uzaq Yaponiyada da azərbaycanlılar məskən salıb və burada öz adət-ənənələrini yaşadaraq mədəniyyət və dilimizi əcnəbilərə tanıdırlar. Yaponların Azərbaycan haqqında məlumatı az olsa da, Azərbaycan dilini burada tanımaq, onunla maraqlananları düşünərək kitab ərsəyə gətirmək təşəbbüsü bəyəniləndir. Bu gözəl hadisə asan olmasa da, bir o qədər həyəcanverici və gözəldir. Kitabda Azərbaycan dilini öyrənmək istəyənlər fundamental biliklərə sahiblənəcək deyə düşünürəm. Dilimiz çoxşahəli olduğuna görə hər bir detalı bir kitaba sığdırmaq olmasa da, ümid varam ki, öyrənən və maraq göstərənlərin sayı artdıqca, yeni kitablar və vəsaitlər də işıq üzə görə. Azərbaycan dilini öyrənmək istəyən və ona vaxtını ayıran hər bir kəs üçün yararlı olacağına ümid edirəm. Azərbaycanda “mən yapon dili üzrə təhsil almışam” deyəndə insanların verdiyi reaksiya Yaponiyada “Azərbaycan dilini öyrənirəm” ilə eyni olacaq deyə düşünürəm.

Elm-texnika inkişaf etdikcə dillərə yeni sözlər əlavə olunur. Bu da dillərin universallığını yaradır. Çox dil öyrənmək və bizim dilimizi də təbliğ etmək çox təqdirəlayiq bir hadisədir. Azərbaycan dilini öyrənən, sevən və təbliğ edən hər kəsə dərin təşəkkürümü bildirirəm.

İyul 2022
Quliyeva Kəmalə

目次

まえがき	i
アゼルバイジャン語をはじめるための準備： 文字と発音、基本的なあいさつの表現	1
第1課 母音調和	12
第2課 名詞述語文と述語の人称語尾、否定文、疑問文	17
第3課 数詞、日時に関する表現	25
第4課 指示詞、名詞の属格と所有の表現	33
第5課 複合語と複合語語尾、名詞の位置格	40
第6課 所有表現	44
第7課 形容詞と副詞	47
第8課 名詞述語文・形容詞述語文で過去を表す表現	55
第9課 動詞の不定形（辞書形）と主な活用形式（予告編）	59
第10課 動詞の現在形	64
第11課 名詞の格	72
第12課 代名詞のタイプと格変化	81
第13課 動詞の過去形	90
第14課 動詞の完了形	96
第15課 後置詞と後置詞的表現	103
コラム：アゼルバイジャン語の定型表現(II)	111
第16課 動詞の未来形	113
第17課 動詞の中立形	119
第18課 動詞の義務形と義務を表す表現	125
第19課 動詞の命令形	131
第20課 動詞の可能形と可能表現	135
第21課 動詞の希求形	139
第22課 動詞の仮定形	147
第23課 語の派生	151
コラム：アゼルバイジャン語のことわざ	155
第24課 動詞のヴォイス：使役、受身、再帰、相互	156
コラム：アゼルバイジャン語アルファベットの今と昔	165
第25課 分詞	170
コラム：アゼルバイジャン語で「魚が焼ける匂い」はどう言うか？	182
第26課 付属語-dIによる動詞の拡張	184
第27課 動詞の連用形	190
コラム：アゼルバイジャン語とテュルク諸語	195
第28課 接続詞	197
コラム：語順について	203
補遺 1. 実践読解問題	205
補遺 2. アゼルバイジャン語による主要な地名	216
語彙一覧	219
参考文献・引用文献	244

アゼルバイジャン語の文字と発音、基本的なあいさつの表現

アゼルバイジャン語では 1991 年にラテン文字（ローマ字）表記体系が制定され、2002 年以後、正式に現行のものが使用されています。このラテン文字表記体系は、英語などでも使われている文字体系を基本として、いくつかアゼルバイジャン語の音声に対応して独自の文字をいくつか追加したものとなっています。

英語などと共通した字母が多い一方で、英語にはない字母もあります。以下の文字の表を見て、文字は全部でいくつあるか、また、母音・子音はそれぞれいくつあるか確認しましょう。

現代アゼルバイジャン語のアルファベット

文字	読み方	発音	例
A a	a	[a]	alma 「りんご」
B b	be	[b]	balıq 「魚」
C c	ce	[dʒ]	corab 「くつした」
Ç ç	çe	[tʃ]	çəngəl 「フォーク」
D d	de	[d]	duz 「塩」
E e	e	[e]	eynək 「めがね」
Ə ə	ə	[æ]	ərik 「あんず、アプリコット」
F f	fe	[f]	fil 「ゾウ（象）」
G g	ge	[ʃ]	göbələk 「キノコ」

Ğ ğ	ğe	[ɣ]	yağ 「油」
H h	he	[h]	heyva 「マルメロ (セイヨウカリン)」
X x	xe	[χ]	xətkəş 「定規」
İ i	i	[ɯ]	arı 「ハチ (蜂)」
İ i	i	[i]	ilan 「へビ (蛇)」
J j	je	[ʒ]	jilet 「ウエストコート ; ヴェスト」
K k	ke	[k]	kağız 「紙」
Q q	qe	[g]	qələm 「ペン」
L l	el	[l]	lövhə 「黒板」
M m	em	[m]	müəllim 「先生」
N n	en	[n]	nar 「ザクロ (柘榴)」
O o	o	[o]	otaq 「部屋」
Ö ö	ö	[ø~œ]	ördək 「カモ (鴨) 、あひる」
P p	pe	[p]	pozan 「消しゴム」
R r	er	[r]	radio 「ラジオ」
S s	es	[s]	soğan 「タマネギ」

Ş ş	şe	[ʃ]	şokolad 「チョコレート」
T t	te	[t]	tısbağa 「亀」
U u	u	[u]	ulduz 「星」
Ü ü	ü	[y]	ütü 「アイロン」
V v	ve	[v]	velosiped 「自転車」
Y y	ye	[j]	yorğan 「布団」
Z z	ze	[z]	zebra 「シマウマ」

上の表のとおり、アゼルバイジャン語の字母は全部で 32 個あります。母音(sait)を表す字母は 9 個、子音(samit)は残り 23 個です。

母音(saitlər)

アゼルバイジャン語の母音は 9 個あります。これらは、発音するとき舌の盛り上がる位置を基準にして、2つのグループに分かれます。

後舌母音 (Qalın saıtlər)	a, ı, o, u
前舌母音 (İncə saıtlər)	e, ə, i, ö, ü

このグループ分けは、アゼルバイジャン語で語に接辞や付属語などを付加するときに重要になります。たとえば、次の語の変化するかたちを見てください。

baxmaq 「見る」 → baxıram 「私は見る」
 vermək 「あげる」 → verirəm 「私はあげる」

動詞の変化は第 10 課以降で触れることにしますが、ここでは変化した後のそれぞれの語の中にある母音に注目してみましょう。先ほどの表で示した、グループの中の母音だけで構成されていることがわかります。このように、ある母音があると、それに続く母音は原則として同じグループに属している母音が続くというのが、アゼルバイジャン語における語構造の大きな特徴です。この特徴については、第 1 課以降で詳細に見ていくことにしましょう。

母音の文字のおおまかな発音の仕方は以下のとおりです。実際に自分でも発音してみながら、発音のしかたをつかんでください。

- a 日本語の「ア」の音よりも、舌の盛り上がりを奥の方にするようにして発音します。
- e 日本語の「エ」とほぼ同じか、やや舌の盛り上がりを低くします。
- ə 「ア」と「エ」の間の音を出すようにして、舌の盛り上がりを「ア」よりやや前よりにし、舌の位置を低くして発音します。
- i 日本語の「イ」とほぼ同様に発音します。
- ı 日本語の「ウ」のように、唇を丸くすぼめないで口の形を横に広げるようにして発音します。
- o 日本語の「オ」よりも、唇の形をすぼめるようにして、唇を前に突き出すように発音します。
- ö 「オ」と「エ」の中間の音を出すようにして、上述の o と同じ発音のかたちで舌の盛り上がりを前にもってくるように発音します。
- u 唇を丸くすぼめ、前に突き出すようにしながら「ウ」と発音します。
- ü u と同じ口の形で、u よりも舌の盛り上がりを前にもってくるように発音します。

子音(samitlər)

子音は全部で 23 個あります。以下、発音についておおまかな説明をしておきます。

- b 日本語のバ行の子音と同じ発音で、上下の唇を閉じて発音します。
- c 日本語の「ジャ」「ジュ」「ジョ」の子音のように発音します。
- ç 日本語の「チャ」「チュ」「チョ」の子音のように発音します。
- d 日本語のダ行の子音と同じように発音します。
- f 上の歯を下唇に触れて、こすらせて発音します。

- g 日本語のガ行のうち、「ギ」のときの子音と同じように発音します。
- ğ 口蓋の後ろのほうの柔らかい粘膜あたりの部分に舌の面を近づけ、ガ行の子音のように発音します。
- k 日本語のカ行の子音と同じように発音します。
- q 日本語のガ行のうち、「グ」や「ゴ」のときの子音と同じように発音します。
- l 舌先を歯の裏側につけて、舌の両側面から空気の流れが出るように発音します。
- m 日本語のマ行の子音のように、上下の唇を閉じ、鼻から息が出るように発音します。
- n 日本語のナ行の子音のように、舌先を上歯の裏のほうにつけて、鼻から息が流れるように発音します。
- p 日本語のパ行の子音のように、上下の唇を閉じ、息を出して発音します。
- r 舌先を歯茎の後ろ側のでっばっているところに軽く触れるように発音します。
- s 日本語のサ行の子音のように、舌先を歯茎の後ろ側に近づけて発音します。
- ş 日本語の「シ」の子音に似ていますが、「シ」よりも歯茎のすぐ裏側に舌先を近づけるように発音します。
- t 日本語の「タ」行の子音のように、舌先を上あごの固い部分にそらせるように触れて発音します。
- v 上の歯を下唇に近づけて、隙間をつくってそこから発音します。bと違う音になっていることを確認してください。
- y ヤ行の子音のように、舌先を上あごの骨の固い部分に近づけて発音します。
- z ザ行の子音のように、舌先を歯茎の後ろ側に近づけて発音します。sのときと口の構えは同じですが、声帯が震える点が違います。

アゼルバイジャン語では、アクセントは基本的には語の最後の音節（母音と子音が組み合わさっている単位）に置きます。ただし、外来語や固有の地名などでは固有のアクセント位置が決まっています。

bacı	妹	ata	父
isti	熱い	danışmaq	話す

つづりと発音についての注意事項

アゼルバイジャン語では基本的には、つづりの通りに発音しますが、いくつか決まった環境では例外的な読み方をすることもあります。

(1) 母音の連続

aa, əə のように同じ母音が連続で出てくる場合は、その音を伸ばすように発音します。

語	意味	実際の発音
maaş	給料	/ma:f/
təəccüb	驚き	/tæ:dzyb/

2つの異なる母音が連続するときは、一方の母音が実際の発音で省略されることがあります。

語	意味	実際の発音
müəllim	先生	/mællim/
müasir	現代の	/ma:sir/
səadət	幸福	/sa:dæt/

また、実際の発音で y [j]が入るように発音するパターンもあります。

語	意味	実際の発音
ailə	家族	/a:jilæ/
müdafiə	防衛	/myda:fijæ/
daima	いつも	/da:jima/
zəif	弱い	/zæjif/

(2) 子音の無声化

いくつか例外となる語もありますが、原則としてアゼルバイジャン語では語末の子音、かつ b, c, d, などの有声閉鎖音（声帯の震えを伴い、さらに気流の流れを止めて発音するような音）が無声化します。

語	意味	実際の発音
kitab	本	/kitap/
çəkiç	金づち、ハンマー	/çəkiç/

kənd	村	/kənt/
süd	牛乳	/süt/

ただし、同音・同綴異義語（発音とつづりが同じだが意味は違う語）があり、それぞれを区別する必要がある場合は、語末の有声音はそのまま発音することになります。

ad	名前	⇒	at	馬
yad	(形) よその	⇒	yat(-maq)	眠る

(3) 二重子音の発音

(A) 規則通りに、それぞれの子音を発音するパターンがあります。

amma [amma]	しかし	əlli [ælli]	50
müəllim [mællim]	先生	millət [millæt]	人々

(B) 二重子音が b [b], p [p], d [d], g [ɟ]... のような閉鎖音の時には最初の子音を無声音で、2番目の子音を有声音で発音します。

doqquz [dokguz]	9	səkkiz [sækgiz]	8
yeddi [jetdi]	7	əlbəttə [ælbætdæ]	かならず、もちろん

(C) y が2つ重なるときには、単音の y のように発音します。

mədəniyyət [mædəniyæt]	文化	ədəbiyyat [ædəbijat]	文学
iqtisadiyyat [iktisadijat]	経済	ilahiyyat [ilahijat]	神学

(4) 語末の二重子音は、単音のように発音します。また、これらの語のあとにさらに接辞などが付加されるときは、つづりでも単子音に変化します。

xətt [xæt]	線	→	xətsiz	無線 (の) (lit. 「線のない」)
sirr [sir]	秘密	→	sirlər	秘密 (複数形)
fənn [fæn]	学問、科学；課題、科目	→	fənlər	(複数形)

※ただし、hiss「感覚」は例外で、欠如を表す接辞-sız（※第7課参照）を付加するときのみ語幹部分の-sが省略されます。それ以外の場合そのまま二重子音が残ります。

hiss → hissiz 「感覚がない」(×hissiz)
→ hissələr 「感覚」(複数形)(×hislər)

(5) 接辞が子音で始まり、また無声子音末の語にその接辞が付加されて二重子音ができる
とき、2番目の子音を発音しない場合があります。

dost (友人) + -luq (名詞化接辞) dostluq [doslug] 友好
neft (石油) + -çi neftçi [neftçi] 石油商

基本的なあいさつの表現

アゼルバイジャン語のあいさつの表現には、以下のようなものがあります。

Salam əleyküm! こんにちは
(ややフォーマルな表現。時間帯を問わず使用できます)
Salam! こんにちは
(時間帯を問わず使用できます。もっともよく用いられる表現です)
Sabahınız xeyir! おはようございます(午前の挨拶)
Günortanız xeyir! こんにちは(日中の挨拶)
Axşamınız xeyir!こんばんは(夕方、夜の挨拶)
Gecəniz xeyirə qalsın! おやすみなさい(就寝前の挨拶)

相手が親しい場合には、次のような表現を使います。

Sabahın xeyir! おはよう!
Günortan xeyir! こんにちは!
Axşamın xeyir!こんばんは!

このようなあいさつをされたときは、同じ表現で返す(たとえば、“Sabahın xeyir!”に対して同じく“Sabahın xeyir!”と応答する)ほか、次のような表現なども用いることがあります。

Hər vaxtınız xeyir! (フォーマルな表現です)

Hər vaxtın xeyir! (親しい相手に)

挨拶の表現に関連して、聞き手に対する安否を尋ねる表現なども覚えましょう。

İşləriniz necədir? (親しい相手には İşlərin necədir?)

(お) 仕事はどう (ですか) ?

Necəsiniz? (親しい相手には Necəsen?)

調子はどうですか。

Nə var, nə yox? 最近どうですか。

Nə təhərsən? 調子はどうですか。

Necə dolanırsən? 最近どうしていますか。

これらの表現に対する返答としては、次のような表現があります。

Qaydasındadır. (仕事などが) うまくいっています。

Hər şey qaydasındadır. すべてうまくいっています。

Pis deyil. 悪くないです。

Belə də. まあまあです。

最後に、相手に対する感謝を表す表現も見ておきましょう。

Təşəkkür edirəm. ありがとうございます。

(Çox) sağ olun (親しい相手には sağ ol.) (大変) ありがとうございます。

これらの返答には、次のような表現があります。

Dəyməz. どういたしまして。

Siz sağ olun. どういたしまして。

(Sağ olun. は、文字通りの意味としては「健康でいてください」なので、返事の意味としても「あなたこそ健康でいてください」ということになります。)

上記のあいさつの表現に加えて、その他の表現を覚えたい人は以下の表現も使ってみましょう。

さまざまな定型表現

以下についても、基本的な定型表現として身につけておきましょう。

Xoş gəldiniz.

ようこそ（来客等を迎える表現です）

Xoş gördük.

お邪魔します（上記に対する返答です）

Yaxşı yol!

よいご旅行を（これから出発する人に対しての表現です）

Mən getməliyəm.

もう行かないといけません。

Salamat qalın!

お元気で！（その場から立ち去る人が使うあいさつです）

Sağlıqla qalın!

お元気で！（上の例とほぼ同類の表現です）

Görüşənədək.

また会いましょう。

Sabaha qədər.

また明日。

Uğurlar!

ご幸運を！（相手の幸運を祈るという意味の表現です）

Əlvida!

さようなら！

Salam deyin (Salam söyləyin)

よろしく（お伝えください）

応答の表現

諾否の応答

Bəli / Hə

はい

Xeyr / Yox

いいえ

Düzdür / Doğrudur.

その通りです（正しいです）。

Düz deyirsən (Düz deyirsiniz).

君の（あなたの）言うとおりです。

依頼

Lütfən どうか（お願いします）。

Zəhmət olmasa どうか（お願いします）。

Xahiş edirəm. お願いします。

感謝

Təşəkkür edirəm. ありがとうございます。

Sağ olun. ありがとうございます。

出来事への評価

Əlbəttə. もちろん。

Yaxşı. いいですね。

Lap yaxşı. とてもいいですね。

Əla. すばらしいですね。

謝意

Bağışlayın. すみません。

Üzr istəyirəm. 申し訳ありません。

Üzrlü sayın. ご容赦ください。

第 1 課 母音調和

コピュラ語尾-dIr と、母音調和 I 型

アゼルバイジャン語で名詞や形容詞が述語になるときは、その述語の主体が誰であるかを表す語尾（付属語）を付加します。したがってこの語尾は、その述語が表す主体（ここでは、主語と考えてください）が誰かによって形式が変わります。この第 1 課では、述語の主体が「私、あなた」以外の第三者、たとえば、「彼」、「彼女」、「うちのネコ」 etc... のときの文の構造について確認しましょう。

「A は B だ」

主語(A) + 述語(B) + 付属語 =dIr (=dir, =dir, =dur, =dür)

※本書では、付属語が前の語と接続する部分をイコールの記号(=)で表します。

また、=dIr 語尾のうちの母音部分 (I の箇所) のように大文字で表す部分は、いくつかある変化の形を代表していることをあらわします。

これら 4 つの異なる形式の使い分けがどうなっているかを下の例で見てください。

Bu, kitab <u>dır</u> .	※これは本です。
Evim t <u>əmizdir</u> .	私の家はきれいです。
Sevil t <u>ürkdür</u> .	セヴィルはトルコ人です。
Takeşi yap <u>ındır</u> .	タケシは日本人です。

※指示代名詞（→第 4 課参照） bu 「これ」や o 「それ；あれ」を主語として用いるときは、直後にコンマを書き記します。これは、 bu kitab 「この本」や o kişi 「その（あの）男性」のように、指示詞が後に続く名詞を修飾するパターンとの使い分けをするためと考えとよいでしょう。

上の例から、それぞれ述語部分の語尾のところで、母音の部分が変化していることがわかります。これらに変化する法則は、次のようになっています。このように接辞の母音部

分が直前の母音の種類によって変化する現象を、**母音調和**と言います。

語尾が付加される前の部分の最後の母音が：

a, ɪ	なら	-dir	
e, ə, i	なら	-dir	
u, o	なら	-dur	
ü, ö	なら	-dür	となります。

母音調和には、大きく分けて2つのタイプがあります。本書では便宜的にそれぞれ「I型」と「A型」と呼ぶことにします。先ほどの「である」を表す接辞の母音調和はI型に属するもので、4種類の変化形があります。このタイプの母音の変化を表にまとめると、次のようになります。

母音調和 I タイプ

直前の母音部分が...	前舌母音		後舌母音	
	e, ə, i のとき	ü, ö のとき	a, ɪ のとき	u, o のとき
母音部分は...	i	ü	ɪ	u

前舌母音（アゼルバイジャン語では e, ə, i, ü, ö が相当します）とは、発音する時に舌の盛り上がり方が口腔の前の方にくる母音、後舌母音（アゼルバイジャン後では a, ɪ, u, o が相当します）は舌の盛り上がり方が口腔の後ろ寄りになる母音のことをあらわします。

本書ではこれらの変化を示すような母音の代表形を、大文字の I で表すことにします（I 型という名称は、これにちなんだものです）。最初は正確な母音調和を身につけることが難しく感じられるかもしれませんが、実践を多くこなして徐々に慣れていきましょう。

名詞の複数形(-lAr)と母音調和 A 型

アゼルバイジャン語の接辞の中には、文の述語に付加される -dir のような 4 種類に変化する（つまり、前項で導入した I 型）のものほかにもう一つ、母音部分が直前の母音の種類に応じて a か ə かのどちらかに変化するもの（A 型）があります。

A タイプの代表的なものは、名詞の複数形 -lAr です。

uşaq 子ども uşaqlar a に合わせて、複数形語尾は-lar となります。
 sürücü 運転手 sürücülər ü に合わせて、複数形語尾は-lər となります。

これらが変化する法則は、次のようになっています。

語尾が付加される直前の母音が		
a, ı, u, o	のときは	-lar
e, ə, i, ü, ö	のときは	-lər
		となります。

※e と ə は字形が似ていて混同しやすいかもしれませんが、一般的に e は接辞に含まれる母音として出てくることはありません。

A 型の母音調和を I 型と同様に表にまとめると、次のようになります。

母音調和 A タイプ

	前舌母音	後舌母音
直前の母音が...	e, ə, i, ü, ö のとき	a, ı, u, o のとき
母音部分は	ə	a

本書でもこれからいろいろな文法的意味を表す接辞が本書では出てきますが、いずれもそれらのすぐ前にある母音のタイプに調和するかたちで母音部分が変化する、ということを念頭に置いておくとよいでしょう。

第 1 課 練習問題

1 次の文に適切な-dlr 語尾を、母音部分に注意して書き加えてください。

- | | |
|--|---|
| (1) 地下鉄はとても清潔です。
Metro çox təmiz(). | (5) これはラジオです。
Bu, radio(). |
| (2) イムランは調理師です。
İmran aşpaz(). | (6) バクーは近代的な都市です。
Bakı müasir şəhər(). |
| (3) テーブルはまるいです。
Masa dəyirmi(). | (7) セヴィルは女性です。
Sevil qadın(). |
| (4) お金は大切です。
Pul vacib(). | (8) 仕事は順調です。
İşlərim qaydasında(). |

2 次の意味を表す語を、日本語で答えてください。

- | | | | |
|-----------|-----------------|--------------|-------------|
| (1) uşaq | (2) çörək | (3) pişik | (4) it |
| | | | |
| (5) körpü | (6) supermarket | (7) əczaxana | (8) avtobus |
| | | | |

3 空欄に適切な語または語尾を付加して、文を完成させてください。

- | | |
|----------------------|---|
| (1) おはようございます。 | Sabahınız ()! |
| (2) こんばんは。 | ()()! |
| (3) 調子はどうですか。 | Sən ()? |
| (4) アゼルバイジャン語は難しいです。 | Azərbaycan dili çətin..... |
| (5) タケシは日本人です。 | Takeşi (). |
| (6) ありがとうございます。 | () edirəm. |
| (7) どういたしまして。 | Siz () olun. |
| (8) 本が高い(baha)です。 | Kitab baha(). |

4 以下の文を日本語に訳してください。

- | | |
|-----------------------------|-------|
| (1) Gülşən azərbaycanlıdır. | |
| (2) Televizor yenidir. | |
| (3) Gülşən cavandır. | |

- (4) Azad uşaqdır.
- (5) Fidan qadındır.
- (6) Azərbaycan gözəldir.
- (7) Gecəniz xeyirə qalsın!
- (8) Nə var, nə yox?

5 以下の文をアゼルバイジャン語で表現してください。

- (1) こんにちは（日中のあいさつとして）:
- (2) こんにちは（一般的なあいさつとして）:
- (3) トフィグ(Tofiq)はアゼルバイジャン人です。:
- (4) ノートは（値段が）高いです。:
- (5) A: ありがとうございます。 B: どういたしまして。
 A:: B::
- (6) A: 調子はどうですか。 B: まあまあです。
 A:: B::
- (7) アゼルバイジャンは面白い(maraqlı)国(ölkə)です。
:

第2課 名詞述語文と述語の人称語尾、否定文、疑問文

名詞述語文と述語の人称語尾

名詞述語文で代名詞を主語にする場合、「私は...」(1人称)「君は(あなたは) ...」の代名詞(人称代名詞)は、以下の通りです。

	単数	複数
1人称	mən (私)	biz (私たち)
2人称	sən (君)	siz (あなた/君たち)
3人称	o (彼/彼女)	onlar (彼ら)

人称代名詞 mən「私は...」、sən「君は...」のように文の主語(動作や状態の主体)を表す場合、上の表にある語形のまま使うことができます。ただし、それ以外の文では他の名詞がそうであるように、文の中での役割が何かによって、様々な格語尾が付加されます。これらの代名詞に格語尾がついた形は、後の課で触れることにします。

またアゼルバイジャン語の名詞述語文では、文頭の代名詞と一致するように、述語にも主語を表す語尾を付加します。各人称・数に対応する語尾は、下の表に示す通りです。

	単数	複数
1人称	(私は...です) =(y)Am (=yam, =yəm)	(私たちは...です) =(y)IQ (=ıq, =ik, =uq, =ük)
2人称	(君は...です) =sAn (=san, =sən)	(君たちは/あなたは...です) =sInIz (=sınız, =siniz, =sunuz, =sünüz)
3人称	(彼は(彼女は) ...です) =dİr (=dır, =dir, =dur, =dür)	(彼らは...です) =dİr (=dır, =dir, =dur, =dür), =dİrIAr (-dırlar, -dırlər, -durlar, -dürlər)※

それぞれの語尾の母音調和のタイプが、A型かI型かに注意してください。また、1人称複数の付属語では、最終子音も q~k と変化していることに注意しましょう。アゼルバイジャン語では、kの音は前舌母音、qの音は後舌母音とそれぞれ相性がよい、と覚えておくといでしょう。

Mən tələbəyəm.	私は学生です。
Sən tələbəsən.	君は学生です。
O, tələbədir.	彼は（彼女は）学生です。
Biz tələbəyik.	私たちは学生です。
Siz tələbəsiniz.	君たちは／あなたは学生です。
Onlar tələbədir. (Onlar tələbədirlər).	彼らは学生です。

※名詞述語が3人称の場合は、単数・複数形ともに=dIr 付属語を付加します。複数形接辞-lAr は、主語が無生物の時には付加されません。

- Onlar kitabdır. (kitab=dır)
 × Onlar kitabdırlar.

※1 人称複数の人称付属語の最終子音の変化に注意しましょう。

Biz müəllimik.	(müəllim=ik)	私たちは教師です。
Biz acıq.	(ac=ıq)	私たちはお腹がすいています。
Biz müğənniyik.	(müğənni=yik)	私たちは歌手です。
Biz azərbaycanlıyıq.	(azərbaycanlı=yıq)	私たちはアゼルバイジャン人です。

(例文)

Qapı bağlıdır.	ドアは閉まっています。
Kitab maraqlıdır.	(その)本は面白いです。
Mən xəstəyəm.	私は具合が悪いです(私は病気です; xəstə「病気の」)。
Siz mehribansınız.	あなたは親切です(ね)。
Onlar qonşudurlar.	彼らのご近所さんたちです。

また、「～も」のように、前の要素と同じであるような意味を伝える時には、dA (da, də) という付属語を使います。書く時には前の語とは分かち書きしますが、母音調和はA型をとり、前の語の最後の母音に合わせて変化します。

- Mən yaxşıyam. Sən necəsən? 「元気です。君は？」
 - Mən də yaxşıyam. Sağ ol. 「私も元気です。ありがとう」

Tokio gözəl şəhərdir. Bakı **da** gözəl şəhərdir.

「東京はすばらしい街です。バクーもすばらしい街です」

-Sən **da** müəllimsən? -Xeyr, müəllim deyiləm. Mən həkiməm.

君も教師ですか? -いいえ、教師ではありません。私は医師です。

否定語 **deyil**

アゼルバイジャン語では名詞や形容詞が述語の場合、「～ではない」の意味を表す否定語 **deyil** を述語に後続させてあらわします。文の主語が「私」「君」のように1人称または2人称の場合は、人称を表す語尾は名詞または形容詞部分ではなく、否定語 **deyil** のほうに付加されます。

(例) 「教師です」 vs. 「教師ではありません」

Mən müəlliməm.

Mən müəllim deyiləm.

Sən müəllimsən.

Sən müəllim deyilsən.

O, müəllimdir.

O, müəllim deyil. (deyildir)

Biz müəllimik.

Biz müəllim deyilik.

Siz müəllimsiniz.

Siz müəllim deyilsiniz.

Onlar müəllimdirlər.

Onlar müəllim deyil. (deyillər/deyildirlər)

動詞を述語としない文の否定文で主語が3人称のときは、**deyil** に **-dirlər** 語尾は付加しなくてもよいです。付加された形式は、フォーマルあるいは文語的な表現となります。

名詞述語文・形容詞述語文の疑問文

(1) 諾否疑問文 (Yes-no 疑問文)

アゼルバイジャン語では相手に対する質問や疑問の意味を表すために、述語の最後に疑問の付属語=**mI** (=mı, =mi, =mu, =mü)を付加する方法と、文末の最後の母音を少し伸ばしながら、イントネーションを上げる方法があります。

ただし話し言葉では、=**mI** を付加しないでイントネーションを上げるタイプの疑問文のほうが圧倒的に多く用いられます。

Nicat müəllimdirmi? ニジャットは教師ですか。

Nicat müəllimdir? ニジャットは教師ですか。

(最後の母音を少し長めに発音しながら、イントネーションを上げます)

(2) 疑問語疑問文 (WH 疑問文)

下の例の kim (...?) 「誰」や nə (...?) 「何」のような、疑問詞 (疑問代名詞とも言います) を用いる疑問文の場合は、疑問助詞=mI が使われないことに注意しましょう。また、疑問文のときの文末のイントネーションも諾否疑問文とは少し異なり、それほど上昇調にはならないことに注意しましょう。疑問語疑問文では、疑問詞を強く発音します。

Kim müəllimdir? 誰が先生ですか?

O nədir? あれは何ですか?

Necəsiniz? お元気ですか?

Haralısınız? どちらのご出身ですか。

付加疑問文の表現

アゼルバイジャン語で、「そうですか」「そうじゃありませんか」などのように、聞き手の発言に対して確認をしたり、自分の発言に同意を求めたりするときの表現を確認しておきましょう。

(A) elədirmi? 「～ということですか?」

文の内容について話し手が新しく認識した、または想定と違う内容のことを聞き手に確認するときに使われます。名詞・形容詞述語文だけでなく、動詞述語文でも使うことができます。

(例文)

Bu, qələmdir. Bu, qələmdir, elədirmi?

これはペンです。 これはペン、ということですか?

O sənin anan deyil. O sənin anan deyil, elədirmi?

彼女は君の母ではない。 彼女は君の母ではない、ということですか?

Azərbaycanda Bakıdan daha böyük şəhər yoxdur, elədirmi?

アゼルバイジャンにはバクーより大きな都市はない、ということですか？

(B) *elə deyilmi?* 「～ではないですか、～ですよね」

話し手が文の内容について行った判断を、聞き手に確認するときにする表現です。同じく、名詞述語文だけでなく形容詞、動詞述語文にも使うことができます。

Bu tələbələr yaponlardır. *Bu tələbələr yaponlardır, elə deyilmi?*

この学生たちは日本人です。 この学生たちは日本人です、そうじゃないですか。

Siz artıq azərbaycanca danışa bilərsiniz, elə deyilmi?

君たちはもうアゼルバイジャン語が話せますよね。

語彙：職業、色彩、主な形容詞

名詞文、形容詞文による表現に関連して、日常的に使用する頻度が高い語彙を身につけましょう。

A. 職業(*peşə*)を表す名詞

alim 学者

aşpaz 料理人、コック

aktrisa 女優

aktyor 俳優

bərbər 美容師

çörəkçi パン屋さん

stomatoloq 歯医者

fəhlə 職工（工場などの工員）

həkim 医者

memar 建築士

katibə 秘書

mexanik 機械工

musiqiçi ミュージシャン

mühəndis 技師

ofisiant 給仕、ボーイ

polis 警官

rəqqas / rəqqasə ダンサー（女性は *rəqqasə*）

rəngsaz 塗装工

rəssam 画家

satıcı 販売員

pilot パイロット

yanğınsöndürən 消防士

B. 色彩(*rənglər*)を表す名詞（・形容詞）

色彩を表す語は形容詞としても名詞としても用いられます。以下の語彙リストは、形容詞として使われる場合の語形です。

(色彩語)

ağ	白 (い)	qəhvəyi	茶色 (の)
bənövşəyi	紫色 (の)	qırmızı	赤 (い)
boz	灰色 (の)	qızılı	金色 (の)
çəhrayı	ピンク (の)	narıncı	オレンジ色 (の)
firuzəyi	ターコイズブルー (の)	sarı	黄色 (い)
göy	青 (い)	yaşıl	緑 (の)
gümüşü	銀色 (の)	açıq	明るい; うすい
qara	黒 (い)	tünd	暗い

C. 基本的な形容詞

形容詞は実際にはここで挙げる以外にも数多くありますが、まずは基本的な意味を表す語のペアを中心に学習しましょう。

大きい	böyük / iri	小さい	kiçik / xırda
太い	yoğun / kök	細い	nazik / incə
高い	uca / hündür	低い	alçaq
長い	uzun	短い	qısa
新しい	yeni	古い	köhnə
よい	yaxşı	悪い	pis
冷たい	soyuq	熱い・暖かい	isti
(価格が) 高い	bahalı	安い	ucuz
美しい	gözəl / qəşəng	醜い	çirkin
硬い	bərk	柔らかい	yumşaq
多い	çox	少ない	az
若い	gənc / cavan	年をとった、老いた	qoca / yaşlı
速い	cəld	遅い	asta / yavaş
軽い	yüngül	重い	ağır
濡れた	yaş	乾いた	quru

第2課 練習問題

1. 以下の名詞に適切な複数形接辞を付加してください。

- (1) alma りんご (2) ananas パイナップル (3) portağal オレンジ
(4) çiyələk いちご (5) üzüm ぶどう (6) nar ざくろ
(7) limon レモン (8) kələm キャベツ

2. 主語に注意して、以下名詞述語に適切な人称語尾を付加してください。

- (1) Biz dilçi.....
私たちは言語学者です。
(2) Siz azərbaycanlı.....?
あなたはアゼルバイジャン出身ですか？
(3) O, sürücü.....
彼は運転手です。
(4) Biz qonşu.....
私たちは隣人どうしです。

3. 次の平叙文を、例を参考にして否定文に書き換えてください。

(例) Mən azərbaycanlıyam. → Mən azərbaycanlı deyiləm.

- (1) Mən rəqqasəyəm.
(2) Sən sürücüsən.
(3) O, yazıçıdır.
(4) Biz yaponuq.
(5) Siz uşaqsınız.
(6) Onlar həkimdirlər.

4. 次の否定文を、例を参考にして平叙文に書き換えてください。

- (1) Mən vəkil deyiləm.
(2) Sən çilingər deyilsən.
(3) Kitab maraqlı deyil.
(4) Biz tələbə deyilik.
(5) Siz katibə deyilsiniz.
(6) Onlar rəssam deyillər.

5. 以下の文について、諾否疑問文の場合は付属語(=mI)を適切な形で下線部に書き加えてください。また、疑問語疑問文であるかどうかも考えて、付加してはいけない場合はそのままにしてください。

(1) Sevil uşaqdır.....?

(2) Kim müğənnidir.....?

(3) Bakı təmiz şəhər.....?

(4) Bəs sən necəsən.....?

(5) Əli türkdür.....?

(6) Takeşi odur.....?

6. 次の文を完成させるために、適切な語を空欄部分に入れてください。必要に応じて、述語部分に付属語も付加してください。

(1) あなたは日本のご出身ということですか？

Siz yaponsunuz, () ()?

(2) つまり、あなたは先生ということですか？

Demək, () müəllimsiniz, ()?

(3) ドアは閉まっています。

Qapı ()dır.

(4) (あなたは) 歌手ですか。

Siz ()?

(5) ニジャットは技師です。

Nicat ().

(6) 彼らはとても(çox)若いです。

Onlar çox ()dır.

第3課 数詞、日時に関する表現

数詞

アゼルバイジャン語の数詞（数字を表す語）は、以下のとおりです。

0 sıfır	10 on	20 iyirmi	60 altmış
1 bir	11 on bir	21 iyirmi bir	70 yetmiş
2 iki	12 on iki	22 iyirmi iki	80 səksən
3 üç	13 on üç	23 iyirmi üç	90 doxsan
4 dörd	14 on dörd	30 otuz	100 yüz
5 beş	15 on beş	31 otuz bir	101 yüz bir
6 altı	16 on altı	32 otuz iki	110 yüz on
7 yeddi	17 on yeddi	39 otuz doqquz	400 dörd yüz
8 səkkiz	18 on səkkiz	40 qırx	1000 min
9 doqquz	19 on doqquz	50 əlli	1000000 milyon

まずは1の位、つまり1から9までの数詞を覚えましょう。

10以降も、1の位を表す数は bir から doqquz までの語をそのまま用います。さらに 20, 30...の十の位を表す数も、独自に覚える必要がありますが、アゼルバイジャン語の数詞はこれらの語をそのまま組み合わせるだけで表すことができます。以下、さらにいくつか例を挙げておきます。

1977 min doqquz yüz yetmiş yeddi

100000 yüz min

10000 on min

395872 üç yüz doxsan beş min səkkiz yüz yetmiş iki

30000 otuz min

- 数字に関連して、電話番号の読み方も確認しておきましょう。

051 890 23 46 Sıfır əlli bir səkkiz yüz doxsan iyirmi üç qırx altı

423 88 77 Dörd yüz iyirmi üç səksən səkkiz yetmiş yeddi

- 小数点以下の数え方は次のようになります。

1.8 bir tam onda səkkiz
0.37 sıfır tam yüzdə otuz yeddi
46.258 qırx altı tam mində iki yüz əlli səkkiz

小数点は、tam という語であらわします。小数点以下は、小数第 1 位で終わる場合は onda bir, onda iki... のように「10 分の X」のように表現します。同様に小数第 2 位なら、yüzdə bir, yüzdə əlli üç... のように、「100 分の X」のように表現します。

- 分数は、以下のようにあらわします。帯分数については、整数部分のあとに tam という語を付加します。それ以降の分数部分は、まず分母に -də か -da (位置格語尾、第 5 課で学習します) をつけ、その後に分子の数字をあらわします。

1/2 ikidə bir, yarım
1/4 dördə bir, çərək
3 1/8 üç tam səkkizdə bir

- 百分率 (パーセンテージ) は、faiz という語を使って、以下のように表すことができます。

15% on beş faiz
82% səksən iki faiz

- 四則計算については、以下のように表現します。

$2 + 3 = 5$ İki üstəgəl üç bərabərdir beş.
(İki (2) üstəgəl (+) üç (3) bərabərdir (=) beş (5).)

$6 - 1 = 5$ Altı çıx bir bərabərdir beş.
(Altı (6) çıx (-) bir (1) bərabərdir (=) beş (5).)

$3 \times 8 = 24$ Üç vur səkkiz bərabərdir iyirmi dörd.
(Üç (3) vur (×) səkkiz (8) bərabərdir (=) iyirmi dörd (24).)

$63 \div 7 = 9$ Altmış üç böl yeddi bərabərdir doqquz.
(Altmış üç (63) böl (÷) yeddi (7) bərabərdir (=) doqquz (9).)

序数

「1番目の」、「3番目の」などのように、順位や順位を表す数を序数と言い、それを表す語のことを序数詞と呼ぶことにします。アゼルバイジャン語の序数詞は、すでに学習した数詞に、序数を表す接辞-(I)ncı (-i)nci, -(i)ncı, -(u)ncü, -(ü)ncü)を付加してあらわします。数詞部分が母音で終わっている場合は、序数詞接辞と接辞の間に母音調和の規則に応じた母音が入っていることにも注意しましょう。

bir	1	birinci	最初の；1番目の
iki	2	ikinci	2番目の
üç	3	üçüncü	3番目の...
dörd	4	dördüncü	4番目の
beş	5	beşinci	5番目の
altı	6	altıncı	6番目の
...			

上記以外でも、どの数詞の場合も、母音調和のルールに則して-(I)ncı接辞を付加します。また序数詞語尾は、以下のように特定の名詞や代名詞にも付くことがあります。

son	最後の →	sonuncu	最終番の（一番最後の）
neçə	いくつ →	neçənci	何番目の（...?）

（例）

sonuncu şam yeməyi 「最後の晚餐」（レオナルド・ダ・ヴィンチの作品名）
Ofis neçənci mərtəbədədir? オフィスは何階にありますか。

曜日、月名、季節

前項の数字に関連して、時間を表す表現として以下のものを覚えましょう。

Q: Saat neçədir? 何時ですか？
A: Saat birdir. 1時です。
 Saat üçdür. 3時です。
 Saat ondur. 10時です。

「時刻」は、saat という語であらわします。neçədir という語は、neçə 「いくつ」（本課文法・解説 5.を参照）という疑問代名詞が述語として使われているので、付属語=dir が付加されています。なお、より詳しい時刻の表現の説明は、第 13 課で行います。

● 曜日

アゼルバイジャン語の曜日には 2 通りの系列があり、話し言葉では下に示した表のうち、パターン 2 のように助数詞を用いた表現のほうがよく使われます。ただし、この場合でも「日曜日」を表す yeddinci gün（直訳すると「7 番目の日」）の代わりに、パターン 1 と同様に bazar (günü) という表現のほうをよく使います。

曜日	パターン 1	パターン 2
月曜日	bazar ertəsi	birinci gün
火曜日	çərşənbə axşamı	ikinci gün
水曜日	çərşənbə	üçüncü gün
木曜日	cümə axşamı	dördüncü gün
金曜日	cümə	beşinci gün
土曜日	şənbə	altıncı gün
日曜日	bazar	(bazar)

曜日を尋ねるときには、以下のような表現を使います。

(例文)

Bu gün neçənci gündür?

今日は何曜日ですか。※

Bu gün cümə axşamıdır.

今日は木曜日です。

(Bu gün dördüncü gündür.)

※上記の例に見られる語、neçənci (...?) は「何番目の... (?)」という意味を表す疑問詞です。

● 月名

各月(aylar) は、以下の通りです。

1 月 yanvar	2 月 fevral	3 月 mart	4 月 aprel
------------	------------	----------	-----------

5月 may	6月 iyun	7月 iyul	8月 avqust
9月 sentyabr	10月 oktyabr	11月 noyabr	12月 dekabr

アゼルバイジャン語では、最初に日、その後に月名を言います。必要に応じて、さらにその後、年に表すこともできます。

9月25日 iyirmi beş sentyabr
2017年9月25日 iyirmi beş sentyabr iki min on yeddi

アゼルバイジャンの祝祭日の名称も覚えておきましょう。

日付	祝祭日の名称	日本語訳例
1 və 2 yanvar	Yeni il bayramı	新年
8 mart	Qadınlar günü	世界女性デー
9 may	Faşizm üzərində qələbə günü	対ファシズム勝利の日
28 may	Respublika günü	共和国記念日
15 iyun	Azərbaycan xalqının milli qurtuluş günü	国民解放の日
26 iyun	Azərbaycan Respublikasının Silahlı Qüvvələri günü	アゼルバイジャン共和国軍の日
18 oktyabr	Dövlət müstəqilliyi günü	共和国独立記念日
9 noyabr	Azərbaycan Respublikasının Dövlət bayrağı günü	アゼルバイジャン共和国国旗の日
12 noyabr	Konstitusiya günü	憲法記念日
17 noyabr	Milli Dirçəliş günü	国民復興の日
31 dekabr	Dünya azərbaycanlılarının həmrəyliyi günü	世界アゼルバイジャン人連帯の日

そのほか、イスラーム暦による次のような祝祭日もあります。以下は、2021年の場合を例にしてあります。

20-24 mart	Novruz bayramı	ノウルーズ祭
20 və 21 iyul	Qurban bayramı	犠牲祭

● 季節

最後に、季節 (fəsil) を表す語も確認しておきましょう。

春 yaz	夏 yay	秋 payız	冬 qış
-------	-------	---------	-------

Mart, aprel və may ayları yaz fəslidir.

İyun, iyul və avqust ayları yay fəslidir.

Sentyabr, oktyabr və noyabr ayları payız fəslidir.

Dekabr, yanvar və fevral ayları qış fəslidir.

※「季節」fəsil は、語尾や接辞が付く時に語の最終母音部分が脱落する語です。このようなタイプの語がアゼルバイジャン語にはいくつかあります。

(例)	ağız	口	ağzı (ağz-ı)	「(彼・彼女の) 口」
	burun	鼻	burnum (burn-um)	「(私の) 鼻」
	ağıl	頭	ağlı	「(彼・彼女の) 頭」
	sinif	教室	sinfim	「私の教室」

第3課 練習問題

1. 以下の問いに解答してください。

(A) アゼルバイジャン語の数詞をアラビア数字に書き換えてください。

- (1) bir (2) səkkiz (3) on bir (4) on beş
(5) sıfır (6) altmış dörd (7) yüz bir (8) iki yüz
(9) min (10) yeddi min

(解答)

- (1) (2) (3) (4)
(5) (6) (7) (8)
(9) (10)

(B) 次の数字をアゼルバイジャン語で表してください。

- (1) 2 (2) 4 (3) 8 (4) 9 (5) 21
(6) 32 (7) 47 (8) 55 (9) 67,3 (10) 78,99
(11) 1929 (12) 2018 (13) 10.812 (14) 20.000 (15) 1.000.000

(解答)

- (1) (2) (3) (4) (5)
(6) (7) (8) (9) (10)
(11) (12) (13) (14) (15)

2. 次の数詞に適切な接辞を付加して、序数詞に書き換えてください。

- (1) on bir (2) iyirmi (3) otuz iki
(4) qırx dörd (5) əlli (6) altmış yeddi
(7) yetmiş səkkiz (8) yüz (9) min doqquz yüz səksən bir
(10) on min iyirmi üç

(解答)

- (1) (2) (3)
(4) (5) (6)
(7) (8) (9)

(10)

3. 次の空欄に適切な語または語尾を入れ、文を完成させてください。

(1) Telefon nömrəniz ()? - Nömrəm 056 997 15 53-dür.

「電話番号は何番ですか?」「番号は 056-997-15-53 です」

(2) Bu ()? - (), ().

「これはなんですか」「これは ATM (bankomat)です」

(3) O ()? - Bu, naringi.....

「それ、なんですか」「みかんです」

(4) () gün () ()?

「今日は何曜日ですか」

(5) Bu gün () gündür.

「今日は土曜日です」

(6) Bu gün () ().

「今日は火曜日です」

(7) Siz də ()sünüz?

「あなたもトルコの方ですか?」

(8) Bir həftədə () gün var? —() gün var.

「一週間は何日ありますか」「7日間あります」

(9) Sən ()? —Xeyr, mən ().

「君、アゼルバイジャン出身?」「いいえ、私は日本人です」

第4課 指示詞、名詞の属格と所有の表現

指示詞

アゼルバイジャン語では「これ」「あれ」など、ある対象を指し示すときに、以下のような代名詞を使います。これらの語を、指示詞（または指示語、指示代名詞。アゼルバイジャン語では *işarə əvəzliləri*）と呼びます。

	単数	複数
近称（近くの事物に対して）	bu （これ・この）	bunlar （これら・これらの）
遠称（遠くの事物に対して）	o （あれ（それ）・あの（その））	onlar （それら・それらの）

話し手から近いものを指すときには **bu**、遠いものを指すときには **o** を使います。

複数の場合にはこれらの指示詞に複数形接辞 **-lar/-lər** を使って、それぞれ **bunlar**（これら）、**onlar**（あれら、それら）という形にします。

指示詞は、単独で代名詞としても、または別の名詞を修飾するときにも使うことができます。ただし、複数形の **bunlar**, **onlar** は別の名詞を修飾することはできません。その場合は、指示詞ではなく修飾される名詞の方に複数形接辞を付加します。

（例文）

Bu, zavoddur. これは工場です。 **o, lüğətdir.** あれは（それは）辞書です。

Bu, pəncərədir. これは窓です。 **o, qapıdır.** あれは（それは）ドアです。

Bu qadın Gülşəndir, o kişi isə İmrandır.

この女性はギュルシェンで、あの男性はイムランです。

Bu lüğət çox yaxşıdır. この辞書はとてもよいです。

O mağaza bu gün açıq deyil? あの店、今日は開いていないの？

※ **bu gün** は「今日」という意味で、発話したときの日のことを指します。

また、「ここ」「あそこ」など、場所を表す時は **bura, ora** という語形を使ってあらわします。「どこ」の意味を表す、質問を表すときには **hara** という語を疑問詞として用います。

Bura haradır? -Bura stansiyadır.
ここはどこですか。 ここは駅です。
Ora universitetdir? -Bəli, ora universitetdir.
あそこは大学ですか。 はい、あそこは大学です。

この他、以下のようなものもあります。

(A) *elə* 「そのように、あのように」のような副詞的に、または「そのような、あのよう」のように形容詞のようにも用いられます。

Əli elə tələbə deyil. アリはそのような学生ではありません。(形容詞的用法)
Sən dünən elə dedin. 君は昨日そう言いました。(副詞的用法)
(*dedin* は「君が言った」の意味；動詞形式については後の課で学習します)

(B) *belə* 「このように」の意味で使われます。

Həyat belədir. 人生はこういうものです。
Belə köynəklər mənim zövqümcədir. こういうシャツが私にとってはとてもよいです。

(C) *həmin* すでに会話や文脈で言及された事物に対して言及する際に、改めて聞き手の注意を引きつけるときに使われる指示詞です。

Həmin adam mənim dostumdur. 「この人は私の友人です」

属格名詞と名詞の所有接辞

アゼルバイジャン語では、名詞で表すものが誰のものか、または誰に(何に)属しているかを表すとき、所有者を表すほうの名詞に格語尾を付加します。この格語尾を、本書では属格語尾と呼ぶことにします。

アゼルバイジャン語の属格語尾は、子音で終わる名詞には *-In* (*-ın, -in, -un, -ün*)、母音で終わる名詞には *-nIn* (*-nın, -nin, -nun, -nün*) が付加されます。

müəllim 「先生」	müəllimin	「先生の」
gül 「花」	gülün	「花の」
maşın 「車」	maşının	「車の」
dost 「友人」	dostun	「友人の」
tələbə 「学生」	tələbənin	「学生の」
sürücü 「運転手」	sürücünün	「運転手の」
ata 「父」	atanın	「父の」
oyunçu 「(ゲームの) 選手」	oyunçunun	「選手の」

代名詞の属格形は、以下のようになります。

	単数	複数
1 人称	mənim 私の	bizim 私たちの
2 人称	sənin 君の	sizin 君たちの／あなたの／あなたがたの
3 人称	onun 彼の (彼女の)	onların 彼らの

ev 「家」

mənim evim	bizim evimiz
私の家	私たちの家
sənin evin	sizin eviniz
君の家	君たちの／あなたの家
onun evi	onların evi /evləri※
彼の／彼女の家	彼らの家

alma 「りんご」

mənim almam	bizim almamız
私のりんご	私たちのりんご
sənin alman	sizin almanız
君のりんご	君たちの／あなたのりんご
onun alması	onların alması / almaları
彼の／彼女のりんご	彼らのりんご

またアゼルバイジャン語では、ある名詞が所有されていることを表すために名詞の所有者を表す語尾を名詞につけるという特徴があります。所有者の人称によって、語尾の種類も変化します。以下の表は、人称ごとに所有語尾の種類をまとめたものです。

	単数	複数
1 人称	-Im (-im, -im, -um, -üm)	-Imlz (-ımız, -imiz, -umuz, -ümüz)
2 人称	-In (-in, -in, -un, -ün)	-Inlz (-ınız, -iniz, -unuz, -ünüz)

3 人称	-(s)I (-(s)ı, -(s)i, -(s)u, -(s)ü)
------	------------------------------------

所有者が3人称で名詞の語末が母音のとき、所有語尾に-sı, -si, -su, -süといったように、子音sが入ることに注意してください。

Məktəbin qapısı	(qapı-sı)	「学校の門」
oyunçunun çantası	(çanta-sı)	「(その) 選手のバッグ」
mənim dostum	(dost-um)	「私の友人」
sənin adı	(ad-ın)	「君の名前」
onun kitabı	(kitab-ı)	「彼の(彼女の) 本」
bizim müəllimimiz	(müəllim-imiz)	「私たちの先生」
sizin lüğətiniz	(lüğət-iniz)	「あなたの/君たちの辞書」
onların ataları	(ata-lar-ı)	「彼らの父」

なお、修飾される(つまり、後のほうの)名詞の語末がk, qのときには、所有語尾を付加したときに音形がそれぞれ変化するので、注意が必要です。

kはyに、qはğに変化していることに気をつけてください。

Əli	+	uşaq 「子ども」	→	Əlinin uşağı 「アリ(人名)の子ども」
Sevil	+	eynək 「めがね」	→	Sevilin eynəyi 「セヴィル(人名)のめがね」

アゼルバイジャン語では所有語尾に限らず、語末がq, またはkの語に母音で始まる接辞が付加されると、表記・発音ともに上記のようにkの部分はyに、qの部分はğにそれぞれ変化します。

この現象は所有語尾だけでなく、格語尾などが付加されるときにも見られます。ただし、格語尾の中でも母音ではじまるものでなければ、この子音変化は起こりません。つまり、語末のqやkが変化するのは、接辞が付加される際に母音が前後にあるときだけと考えるとよいでしょう。

なお、属格代名詞は実際の発話や文では省略されることがあります。その場合でも、人称語尾が所有される名詞に付加されることによって、誰が所有しているかがわかるようになっていきます。

təqvimim	「(私の) カレンダー」
dostun	「(君の) 友人」

kompüteri	「(その人(第三者)の) コンピューター」
pivəmiz	「(私たちの) ビール」
kağızımız	「(あなたの/君たちの) 紙」
cavabları	「(彼らの) 返事」

また、所有される名詞が複数形になることがあります。このときは、その所有されるものが複数あることをあらわします。

mənim evlərim	「私の家」(家は複数ある)
Əlinin maşınları	「アリの車」(アリが所有している車は複数ある)

「誰のものか」を相手に質問するときには、疑問代名詞 **kim** を属格形にします。

Bu maşın kimindir?	この車は誰のですか?
Bu kimin maşınıdır?	これは誰の車ですか?
— Bu maşın Nərgizindir.	この車はネルギズのです。
— Bu, Nərgizin maşınıdır.	これはネルギズの車です。

第4課 練習問題

1. 空欄部に適切な指示語あるいは接辞を入れて、文を完成させてください。

- (1) () qəhvədir. () isə çaydır.
これはコーヒーです。こちらのほうは紅茶です。
- (2) () tələbə kimdir? -İmrandır.
あの学生はだれですか? -イムランです。
- (3) () köynək yaxşıdır.
あのシャツ、いいな。
- (4) () ()? -Bura dəniz vağzalındır.
「ここはどこですか」「フェリーターミナルです」
- (5) () ()? -Ora xəstəxanadır.
「あそこはどこ(何)ですか」「あそこは病院です」
- (6) Hava liman..... yaxındır?-Bəli, yaxındır.
「空港は近いですか」「ええ、近いですよ」
- (7) Sevil və atası ()? -Onlar Nizami ().
「セヴィルとお父さんはどこにいるの?」「ニザーミー駅にいます」
- (8) O nədir? -Bu, ()().
「それ何?」「これは腕時計だよ」
- (9) Bakı ()().
バクーはアゼルバイジャンの首都です。
- (10) Uşaqların iki..... yapondur.
子供のうち2人が日本人です。

2. 次の語を属格形(「～の」を表す格)になおしてください。

- (1) qoca (2) müəllim (3) xəritə (4) şəhər (5) sual
(6) müğənni (7) rəssam (8) telefon (9) otaq (10) çörək

語彙

qoca: 老人 müəllim 教師 xəritə 地図 şəhər 都市 sual 質問
müğənni 歌手 rəssam 画家 telefon 電話 otaq 部屋 çörək パン

3. 次の語に3人称の所有語尾を付加してください。

- (1) oyun (2) hava (3) agentlik (4) ada (5) qanun

(6) əsas (7) həkim (8) mağaza (9) soba (10) gəmi

語彙：

oyun 遊び、ゲーム hava 天気、空 agentlik 代理店 ada 島 qanun 法律
əsas 基礎 həkim 医者 mağaza 店 soba 暖炉 gəmi 船、艦船

4. 次の日本語を、属格名詞と人称語尾をつけた名詞の組み合わせで表してください。

(例) 私の友人 → mənim dostum

- (1) 君のお父さん (2) 私の家 (3) セヴィル(Sevil)のペン
(4) 私たちの学校 (5) 君たちの目(göz) (6) 彼らの部屋

5. 以下のアゼルバイジャン語を日本語に直してください。

- (1) Bu, çörəkdir. O isə balıqdır.
(2) O nədir? -O, süddür.
(3) Bu sənin saatındır? -Xeyr, o mənim saatım deyil. O, Kəmalənin saatıdır.
(4) Bu gün oğlumun ad günüdür.
(5) Narita hava limanı uzaqdır?
(6) Qutab Azərbaycanın məşhur yeməyidir.

6. 次の日本語をアゼルバイジャン語に直してください。

- (1) これはチーズ(pendir)ですか。 —いいえ、これはバター(kərə yağı)です。
(2) あれはフォーク(çəngəl)ですか。 —いいえ、ナイフ(bıçaq)です。
(3) ここはどこですか。 —バクーです。
(4) 私の友人は歯医者(diş həkimi)です。
(5) 日本の首都(paytaxt)は東京です。では(Bəs)、ロシアの首都はどこですか。

第5課 複合語と複合語語尾、名詞の位置格

複合語と複合語語尾

アゼルバイジャン語では、2つ（または2つ以上）の語を連続して組み合わせることで、複合語をかなりの程度生産的に作り出すことができます。ポイントは、組み合わせの最後の名詞に、所有語尾を付加することです。

qol 「腕」 + saat 「時計」 → **qol saati** 「腕時計」
səhər 「朝」 + yemək 「食事」 → **səhər yeməyi** 「朝食」
Azərbaycan 「アゼルバイジャン」 + dil 「言語」
→ **Azərbaycan dili** 「アゼルバイジャン語」

əlifba sırası アルファベット順（アルファベット＋順序）
idman köynəyi スポーツ T シャツ（スポーツ＋シャツ）
diş həkimi 歯医者（歯＋医者）
dəniz qulduru 海賊（海＋盗賊）
xalq musiqisi 民俗音楽（民衆＋音楽）

このような名詞複合語の場合でも、語末が k や q で終わる語に所有語尾が付加されるときには、前節で見たように -y, -ğ に変化させることに注意しましょう。

名詞の複合は、3語（またはそれ以上）になる場合もあります。その場合は、基本的には最後の名詞に所有接辞がつきます。

Bakı Dövlət Universiteti 「バクー国立大学」
Azərbaycan Milli Elmlər Akademiyası 「アゼルバイジャン国立科学アカデミー」
Yapon Dövlət Dillər İnstitutu 「（日本）国立国語研究所」

なお、名詞複合語の所有者が 1 人称、2 人称の場合は、最後の名詞に付加する所有語尾をそれぞれの語尾に変更します。

idman köynəyim （私の）スポーツ T シャツ

futbol topun (君の) サッカーボール
 alma ağacımız (私たちの) 木
 Novruz bayramınız (君たちの／あなたの) ノヴルーズ祭

位置格語尾 -dA (-da, -də)

アゼルバイジャン語の名詞の格は、名詞に格語尾を付加することで表すことができます。ここでは、主に「空港で」「学校に」などのように、場所・時間を表す位置格の語尾を押しさえておきましょう。

位置格は、名詞に-dA (-da, də)を付加します。母音調和の法則は、第2課で学習した母音調和A型です。したがって、直前の母音が a, ı, u, o なら -da, e, ə, i, ö, ü なら -də となります。

muzey	博物館	muzeydə	博物館で
vağzal	駅	vağzalda	駅で
ev	家	evdə	家で
körpü	橋	körpüdə	橋で

なお、名詞が固有名詞のときも、特にアポストロフィーなどの記号は用いず、そのまま格語尾を付加します。

Bakı バクー Bakıda バクーで
 Gəncə ギャンジャ Gəncədə ギャンジャで

「どこで」「どこに」のように、疑問語は hara「どこ」に位置格語尾 da を付加して、harada という語であらわします。

(例)

Çantam haradadır? —Çantan evdədir.
 僕のかばんはどこ? —君のかばんは家にあるよ。
 Pişik stulun üstündədir? —Xeyr, pişik stulun üstündə deyil, masanın üstündədir.
 ねこは椅子の上にいる? —いや、ねこは椅子じゃなくてテーブルにいるよ。
 Takeşi indi haradadır? —O, Bakıdadır.

タケシは今どこにいる？ —彼はバクーにいます。

Tanaka bəy, sən haradasan? —Mən kafedəyəm.

田中さん、どこにいるの。—カフェにいますよ。

代名詞にも位置格語尾が付加されることがあります。特に指示代名詞の bu, o に位置格語尾を付加する時には、指示詞と格語尾の間に介入子音 n が挿入されることに注意しましょう。

mən	私	məndə	私に
sən	君	səndə	君に
o	彼／彼女；あれ	onda	彼／彼女／あれに
bu	これ	bunda	これに
biz	私たち	bizdə	私たちに
siz	君たち／あなた	sizdə	君たち／あなたに
onlar	彼ら	onlarda	彼らに

また、3 人称所有語尾がついた名詞の後にさらに位置格語尾が来る場合にも、所有語尾と位置格語尾の間に n を介入させます。

Mən "28 May" stansiyasındayam. 私は「5月28日」駅にいます。

Qızlar parkın ortasındadırlar. 女の子たちは、公園の真ん中にいます。

※位置についての表現は、第 15 課でも学習します。

第5課 練習問題

1. 次の各語を使って、名詞複合語を作ってください。

- (1) findıq ləpə
- (2) xidmət nöqtə
- (3) mətbəx kağız
- (4) tualet təmizləyici

※ləpə 「(ナッツ類の) 中身」、xidmət 「サービス；奉仕」、nöqtə 「ポイント、点」
mətbəx 「台所、キッチン」、kağız 「紙」、təmizləyici 「クリーナー」

2. 次の表現を、名詞複合語を使ってアゼルバイジャン語であらわしてください。

- (1) 腕時計 (腕：qol, 時計：saat)
- (2) アゼルバイジャン説話 (アゼルバイジャン：Azərbaycan, 説話：nağıllar)
- (3) 言語科学 (言語：dil, 科学：elm)
- (4) スポーツサロン (スポーツ：idman, サロン：zal)
- (5) 婦人バッグ (女性：qadın, バッグ：çanta)
- (6) 国歌 (国：dövlət, 聖歌：himn)
- (7) 誕生日 (名前：ad 日：gün)
- (8) ギャンジャ (Gəncə) 市 (市：şəhər)
- (9) ひまわり油 (ひまわり：günəbaxan, 油：yağ)

3. 次の名詞／代名詞に、適切な位置格語尾を付加してください。

- (1) gəmi (2) təyyarə (3) yer (4) pendir (5) yağ
- (6) süd (7) rəsm əsəri (8) aprel (9) bu (10) o

4. 下線部が複合名詞になっていることに注意しながら、カッコ内の語に適切な所有接辞を付加してアゼルバイジャン語を完成させてください。

- (1) Yapon [dil] asandır? ↑Əlbəttə, asandır. Amma Azərbaycan [dil] çətindir.
- (2) Bacın saç [usta]dır? -Xeyr, bacım rəqqasədir.
- (3) Bura uşaq [poliklinika]dır? -Xeyr, bura qadın [məsləhətxana]dır.
- (4) Dəmiryolu [stansiya] 300 metr irəlidədir.

第6課 所有表現

存在を表す述語 var, yoxdur

日本語では有生のものの存在を「いる」、無生の存在には「ある」という動詞でそれぞれ表現しますが、アゼルバイジャン語ではいずれも var という語を述語に用いて表現できます。また、所有の概念もこの述語を使ってあらわします。

(例文)

Mənim Azərbaycan dili kitabım var.

私はアゼルバイジャン語の本を持っています。

(≒私にはアゼルバイジャン語の本があります)

Mənim iki qardaşım və bir bacım var. 私には弟が二人と、妹が一人います。

Sənin maşının var? 車を持っていますか?

Tofiqin karandaşı var. トフィグはえんぴつを持っています。

Xahişim var. (私は) お願いしたいことがあります。

Bakıda çoxlu muzey var. バクーにはたくさん博物館があります。

Sizin Şekidə eviniz var? シェキ(地名)にご自宅がありますか。

Mənim qırx yaşı var. 私は40歳です。

存在すること、また所有することを表す var に対して、存在しないこと、所有していないことを表すときには、yox という語を代わりに使います。yox を文の述語として用いるときは、通常の名詞述語文・形容詞述語文と同様に、-dur が語尾に付加されます。

Mənim qardaşım yoxdur. 私には兄弟がいません。

Bu şəhərdə məscid yoxdur. この街にはモスクがありません。

Pulun yoxdur? お金ないんですか?

—Hal-hazırda yoxdur. —今はありません。

※この場合は"Hal-hazırda yox."という言い方もあります。

また、次のような言い方があります。上の似たような例と比較してみましょう。

Məndə pul var.

(私のところに) お金があります。

位置格による所有・存在を表す場合は、属格を用いる用法と異なり、その所有されているもの、あるいは存在しているものが一時的に所有されている（または存在している）ということを示します。

語彙：アゼルバイジャン語の親族名称

アゼルバイジャン語の親族名称は、日本語とは少し異なる親族名称の体系があります。ここでは、主要な親族名称を覚えておきましょう。

kişi 男性	qadın 女性	nənə 祖母	baba 祖父
qayınata 義理の父	qayınana 義理の母	dayı (母方の) おじ	
xala (母方の) おば	ata 父	ana 母	əmi (父方の) おじ
bibi (父方の) おば	qayın 義理の兄弟	baldız 義理の姉妹	
ər 夫	arvad 妻	qardaş 兄弟	bacı 姉妹
oğul 息子	qız 娘	nəvə 孫	
xalaqızı / xalaoğlu	いとこ (母方のおばの子ども)		
dayıqızı / dayıoğlu	いとこ (母方のおじの子ども)		
bibiqızı / bibioğlu	いとこ (父方のおばの子ども)		
əmiqızı / əmioğlu	いとこ (父方のおじの子ども)		

第6課 練習問題

1. 次の日本語をアゼルバイジャン語で表現してください。

- (1) 電子レンジ (mikrodalğalı soba)はもっていますか？
- (2) 私の部屋(otaq)の鍵(açar)がありません。
- (3) お子さまはいらっしゃいますか。-はい、娘が一人と息子が三人います。
- (4) 携帯電話(Mobil telefon)はもっていますか？

2. 次の語を、アゼルバイジャン語であらわしてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| (1) 父 | (2) 母 |
| (3) 弟 | (4) 姉 |
| (5) (父方の) おじ | (6) (父方の) おば |
| (7) 祖父 | (8) 祖母 |
| (9) 義理の母 | (10) 孫 |

3. 次の文を日本語に訳してください。

- (1) Bakıda məscid var? -Bəli, çox azdır, amma var.
- (2) Bu saatda avtobus yoxdur.
- (3) Sınıfdə lövhələr varmı? -Xeyr, lövhələr yoxdur, amma kompüterlər var.
- (4) O kitabxanada yapon dili kitabları və kseroks var.

4. 日本語を参考にして、下線部に適切な接辞や語尾を、カッコ部分には適切な語形を入れて文を完成させてください。

- (1) 車の免許(sürücülük vəsiqəsi)はお持ちですか。

Sürücülük vəsiqə..... var?

- (2) 私のいとこ(əmioğlu)は30歳です。

Mənim əmioğlu..... otuz yaş..... var.

- (3) サビール(Sabir)の小説はありますか？

Sabirin () var?

- (4) 机の上にケーキがあります。

()nın üst..... tort var.

- (5) 今日、父は家にいます。母は、工場にいます。

Bu gün () evdə..... () işə zavod.....

第7課 形容詞と副詞

副詞の用法

すでに前課までに、アゼルバイジャン語の形容詞をいくつかみてきました。形容詞は、そのままの形で、形容詞や動詞を修飾する語、つまり副詞としても使うことができます。

一方、形容詞としては使うことができず、副詞としてのみはたらく語もいくつかあります。そのうち、形容詞の修飾に関する表現で特に重要な語となる *daha*（「より、もっと」）、*ən*（「最も」）は、次節で扱います。ここでは、形容詞が副詞として使われるいくつかの例を確認しておきましょう。

Bu kişi yaraşlıqdır.	この男性はハンサムです。
Bu kişi lap yaraşlıqdır. (Bu kişi çox yaraşlıqdır.)	この男性はとてもハンサムです。 (※lap のほうが çox より強い程度を表します)
Bu gün hava soyuqdur.	今日は寒いです。
Bu gün hava çox soyuqdur.	今日はとても寒いです。

時間に関係する副詞も、いくつか代表的なものを覚えておきましょう。下の例文で、副詞の部分、また副詞が修飾している語を確認しておきましょう。

<u>İndi</u> saat neçədir?	<u>今</u> 何時ですか。
<u>Axşamlar</u> çox soyuqdur, elə deyilmi?	<u>夜</u> 、とても寒いですよ？
<u>Dünən</u> Tokioda hava yağışlı idi.	<u>昨日</u> 、東京は雨天でした。
Sevil <u>həmişə</u> nəzakətlidir.	セヴィルは <u>いつも</u> 礼儀正しいです。

形容詞に関連する表現：比較表現と最上級表現

アゼルバイジャン語の形容詞は、日本語の形容詞と違って語形変化(活用ともいいます)することがありません。ただし、他の語と一緒に様々な表現を表すことができます。

(1) 比較表現「より～」

「A よりも B」のような比較表現は、副詞 *daha* を使ってあらわします。

<i>böyük</i>	大きい	<i>daha böyük</i>	より大きい
<i>yeni</i>	新しい	<i>daha yeni</i>	より新しい
<i>soyuq</i>	冷たい	<i>daha soyuq</i>	より冷たい
<i>nazik</i>	細い	<i>daha nazik</i>	より細い

Mən İlqardan daha gəncəm.

私はイルガルより若いです。

Bu kitab o kitabdan daha ucuzdur.

この本はあの本より安いです。

Sənin bacın mənim qızımın daha hündürdür.

君の妹は私の娘より背が高いです。

※ここでは、比較される名詞に格語尾（奪格語尾）*-dAn* が付加されています。この格語尾については、第 11 課で扱います。

(2) 最上級表現「最も～」

最上級表現は、副詞 *ən* を使って表すことができます。

<i>ağır</i>	重い	<i>ən ağır</i>	最も重い
<i>təmiz</i>	清潔な	<i>ən təmiz</i>	最も清潔な
<i>az</i>	少ない	<i>ən az</i>	最も少ない
<i>yaxşı</i>	よい	<i>ən yaxşı</i>	最も良い、最良の
<i>yaxın</i>	近い	<i>ən yaxın</i>	最も近い

Səncə ən maraqlı kino hansıdır? 君にとって、一番面白い映画はどれですか。

Azərbaycanda ən soyuq ay hansıdır? アゼルバイジャンで、一番寒い月は何月ですか。

Məncə ən yaxşı müğənni Faiq Ağayevdir.

私にとって、一番すばらしい歌手はファイグ・アガイェフです。

Sizin aranızda ən zəhmətkeş Səkinədir. 君たちの中で一番まじめなのはセキネです。

(3) 否定表現「まったく～でない」

強制的に否定する表現として、*heç* という副詞があります。この副詞が否定表現に使われるときは、否定語とともに現れます。

Bu gün heç soyuq deyil. 今日はぜんぜん寒くないです。
Hava limanında heç kəs yoxdur. 空港には誰もいません。
Orada heç nə yoxdur. あそこには何もありません。

所属の有無を表す接辞-II (-lı, -li, -lu, -lü)、 -sİz (-sız, -siz, -suz, -süz)

形容詞に関連する表現で、所属を表す語尾があります。

名詞に所属を表す接辞、-II (-lı, -li, -lu, -lü)が付加されると、(1)その名詞が所属している場所、(2)その名詞を有していること、(3)その名詞を含んでいることなどをあらわします。

şəkər 「砂糖」	şəkərli 「砂糖入りの」
ailə 「家族」	ailəli 「結婚している（家族がある）」
ağıl 「知性」	ağıllı 「頭がいい（知性がある）」

この接辞を使用して、国籍を表すこともできます。国名の頭文字は大文字で書きますが、国籍を表す場合には小文字になることに注意しましょう。

Avstraliya	オーストラリア	avstraliyalı	オーストラリア人
Braziliya	ブラジル	braziliyalı	ブラジル人
Meksika	メキシコ	meksikalı	メキシコ人
İsveçrə	スイス	isveçrəli	スイス人

ただし、国籍を表す場合は常にこの-II 接辞を使うとは限らず、場合によっては国籍の名称を個別に覚える必要があります。

Bolqarıstan	ブルガリア	bolqar	ブルガリア人
Türkiyə	トルコ	türk	トルコ人
Yaponiya	日本	yapon	日本人
Yunanıstan	ギリシャ	yunan	ギリシャ人

-II と対照的に、名詞に-sİz を付加すると「～なしで」という、性質や所属、所有がないことをあらわします。

şəkər 「砂糖」	şəkərsiz 「砂糖なしの」
ağıl 「知性」	ağılsız 「頭がわるい、おろかな（知性がない）」
duz 「塩」	duzsuz 「塩がない」
dad 「味」	dadsız 「不味い；おいしくない」
bacarıq 「能力」	bacarıqsız 「能力がない；能力の乏しい」

形容詞の（部分）重複形

アゼルバイジャン語では形容詞の意味を強調する方法の一つに、形容詞の語幹部分のうち最初の音節を重複させ、子音 m, p, r, s のいずれか決まったものを介入するものがあります。以下に具体例を挙げます。どの形容詞のときに、上記のうちどの子音が介入するかはあらかじめ決まっています。以下のリストはいくつかの形容詞とその重複形です。

aydın	鮮明な	apaydın	とても鮮明な
başqa	他の	bambaşqa	全く別の
boş	空の	bomboş	すっからかんの
bütün	全ての	büsbütün	完全に※
dolu	いっぱい、満たされた	dopdolu	完全にいっぱいの
düz	平らな	dümdüz	真っ平らな
qaranlıq	暗い	qapqaranlıq	真っ暗な
sarı	黄色い	sapsarı	真っ黄色の
təzə	新鮮な	təptəzə	とても新鮮な
uzun	長い	upuzun	とても長い
yeni	新しい	yepyeni	真新しい

※büsbütün は実際には副詞として用いられますが、形式の上では形容詞 bütün の重複形です。しかし、実際には元の形容詞の強調を表すというよりは、別の語、あるいは派生した別の語として使用されると考えるほうが適切です。

その他の形容詞のパターン

前節の形容詞の意味を強める重複形以外の、いくつか主要な形容詞に関連する表現のパターンを見ておきましょう。

(1) 形容詞の意味に「小さい；少し；～目（め）の」という意味を付加する接辞（指小辞）を付加するパターンがあります。全ての形容詞に適用されるわけではなく、いくつかの特定の語に適用されます。

sarı	黄色い	sarımtıl	黄色っぽい
uzun	長い	uzunsov	長めの
yaşıl	緑色の	yaşılımtıraq	緑色がかった
qara	黒の	qaramtraq	黒ずんだ

(2) təhər, kəm, ala などの語を複合語の要素の一部にして、指小的な意味を付加するパターンがあります。

qoca	年老いた	qocatəhər	年寄りじみた
şirin	甘い	kəmşirin	かすかに甘い
çiy	生の	ala-çiy	生焼けの、生っぽい

-kI 語尾の用法

位置格名詞や「今日」「明日」などの時間に直接付加して、「～にある」「今日の」などの意味を表すことができます。ここでは、この2つの用法を見てみましょう。

(A) 時間を表す語 + -kI (-k/-ki/-ku/-kü)語尾

この組み合わせで、名詞を修飾する表現になります。

Dünənki	(dünən + ki) qəzet	昨日の新聞
Bugünkü	iclas	今日の会議
Sabahkı	səhər yeməyi	明日の朝食

また、gün「日」, həftə「週」, ay「月」, il「年」のような名詞とも併用されます。この場合、

指し示されている日時における物事を表すこととなります。

Bu ilki bayram	今年の祝祭日
Gələn həftəki dərslər	来週の授業
Keçən aykı maaş	先月の給料

(B) 名詞の位置格名詞に -ki 接辞が付加されると、「A における B」、「A にある B」のような意味をあらわします。

Evdəki uşaqlar	家にいる子どもたち
Bakıdakı dostlarım	バクーにいる (私の) 友人

Kitab rəfindəki lüğət kimindir?

本棚にある辞書は誰のですか。

Aşağıdakı cümlələri yapon dilinə tərcümə edin.

以下の文を日本語に訳してください。

Dünənki xəbəri eşitdin?

昨日のニュースを聞いた？

Yaponiyadakı ən dadlı meyvələr hansılardır?

日本で一番おいしい果物はなんですか。

(C) 名詞の属格形に -ki が付加されると、他の所有者との対比的な表現を表すことができます。

Sevilinki セヴィルの (もの) yoldaşımınkı 私の妻の (もの)

また、人称代名詞の属格形に -ki が付加される形式は、以下の通りになります。

mənim	私の	mənimki	私のもの
sənin	君の	səninki	君のもの
onun	彼 (女) の	onunku	彼 (女) のもの x
bizim	私たちの	bizimki	私たちのもの
sizin	君たちの / あなたの	sizinki	君たちの / あなたのもの
onların	彼らの	onlarınkı	彼らのもの

Sənin evin İstanbulda, bizimki isə Bakıdadır.

君の家はイスタンブールにあって、私たちの（家）はバクーにあります。

※代名詞の属格形に-kI 接辞が付加された形に、さらに格語尾が付加されることもあります。その場合、介入子音-n が付加されることに注意しましょう。

mənimki	mənimkindən	私のもの <u>より</u>
onunku	onunkuna	彼（女）のもの <u>に</u>

Əlinin kitabları bizimkindən daha çoxdur.

アリの（もっている）本は私たちのよりもっと多いです。

Şəhərimizin mərkəzindəki Arxeologiya Muzeyi Bakıdakından daha böyükdür.

私たちの町の中心にある考古学博物館は、バクーにあるの（＝バクーにある博物館）より大きいです。

第7課 練習問題

1. 次の名詞に -II 接辞、-sIz 接辞をそれぞれ付加して、派生語を完成させてください。

- (1) duz 塩 (2) su 水 (3) ağıl 知性 (4) səs 声
 (5) pul お金 (6) daş 石 (7) külək 風 (8) rəng 色

2. 次の形容詞の意味に最も近いものを以下の選択肢から選んでください。

- (1) tərbiyəli (2) xeyirxah (3) ağıllı (4) pis (5) səmimi

 (6) kobud (7) cəsur (8) kədərli (9) hiyləgər (10) səbirli

- a. 行儀のよい b. 勇敢な c. 悲しい d. 我慢強い e. 誠実な、率直な
 f. 粗い、雑な g. 頭のよい h. 悪い i. 善意の j. ずるい、狡猾な

3. 日本語訳を参考にして、次の文の空欄部を埋めてください。

- (1) O şəkillər () yaxşıdır. あの写真はとてもいいです。
 (2) () ucuz ayaqqabı hansıdır? 一番安い靴はどれですか。
 (3) Mənim çantam sənin çantandan () ().
 私のかばんは君のかばんより安いです。

4. 副詞に注意して、次の文を日本語に直してください。

- (1) İndi hava işıqlıdır.
 (2) Məktəbdə həmişə müəllimlər var.
 (3) Əlibəy çox cavandır.
 (4) Dünən hava lap sərin idi.

5. 以下の語は、なんの形容詞の重複形ですか。また、意味をそれぞれ確認してください。

- (1) dopdolu (2) qıpqırmızı (3) tərtemiz
 (4) gömgöy (5) bomboş (6) apaydın
 (7) bömböyük (8) upuzun (9) sapsarı

第 8 課：名詞述語文・形容詞述語文で過去を表す表現

助動詞形式 **idi** 「～だった」

これまで、アゼルバイジャン語で名詞や形容詞が述語になる文を見てきましたが、これらの文であらわされる出来事や状態が過去のものであること、または完了していることを表すときには、助動詞 **idi** を使います（助動詞 **idi** は、助動詞 **imək** の語幹部分に過去を表す接辞-**di** が付加されたものと分析できます）。この助動詞は、名詞・形容詞述語のすぐ後に来ます。

Fərman keçən həftə xəstə idi. フェルマン（人名）は先週病気でした。
Onlar keçən həftə xəstə idi. idilər. 彼らは先週病気でした。

なお、主語の人称にあわせて、**idi** には人称語尾が付加されます。人称語尾のタイプは、以下の通りです。

	単数	複数
1 人称	idim	idik
2 人称	idin	idiniz
3 人称	idi	idilər

助動詞部分の人称語尾に注意して、以下の例を確認してください。

Mən keçən həftə xəstə idim. 私は先週病気でした。
Sən keçən həftə xəstə idin. 君は先週病気でした。
Biz keçən həftə xəstə idik. 私たちは先週病気でした。
Siz keçən həftə xəstə idiniz. 君たちは（あなたは）先週病気でした。

文頭の代名詞は省略されることが多いですが、助動詞部分の人称語尾は省略されません。

「私は学生だった」「花がとてもきれいでした」のように、述語が動詞ではなく名詞や形容詞の場合で、過去のできごとを表す場合には、それぞれの名詞あるいは形容詞の述語の後に、idi (imək という助動詞に、過去を表す di 接辞が付いたものと考えるとよいでしょう) という語を使います。

Yusif müəllimdir. ユスフは先生です。
 Yusuf müəllim idi. ユスフは先生でした。

述語の主語が 1 人称や 2 人称のときには、人称語尾は実質的な述語である名詞・形容詞ではなく、助動詞部分の idi のほうに付加されます。そのため、人称語尾のタイプは動詞の過去形のもと同じで、現在形などのときのタイプとは異なることに注意しましょう。

Mən həkiməm. 私は医者です。
 Mən həkim idim. 私は医者でした。

代名詞	名詞・形容詞述語	idi 「～だった」	人称語尾	例文
mən	xoşbəxt	idi	-m	Mən xoşbəxt idim.
sən	həkim	idi	-n	Sən həkim idin.
o	rəngsaz	idi	-	O, rəngsaz idi.
biz	polis	idi	-k	Biz polis idik.
siz	rəqqasə	idi	-niz	Siz rəqqasə idiniz.
onlar	müğənni	idi	-lər	Onlar müğənni idilər.

※以下の語句を使って、過去を表す文を作ってみましょう。

xoşbəxt	幸運な	həkim	医者	rəngsaz	ペインター、塗装工
polis			警察	rəqqasə	(女性の) ダンサー
				müğənni	歌手

Mən diş həkimi idim. 私は歯医者でした。
 Sən uşaq ikən şirin idin. あんた、子どものころは可愛かったんだよ。
 ※ikən 「～のとき」
 Dostum çox səmimi idi. 友人はとても親切でした。

また、「～ではなかった」のように否定形にする場合は、否定語 deyil に過去を表す付属語

idi を後続させるか、あるいは否定語に直接-di を付加して deyildi のように表します。人称語尾のパターンは、以下の表の通りになっています。動詞の過去形に付加される人称語尾と同じタイプになっていることに注目してください。

代名詞	名詞・形容詞述語	deyildi 「～ではなかった」	人称語尾	例文
mən	xoşbəxt	deyil idi / deyildi	-m	Mən xoşbəxt deyildim.
sən	həkim	deyil idi / deyildi	-n	Sən həkim deyildin.
o	rəngsaz	deyil idi / deyildi		O, rəngsaz deyildi.
biz	polis	deyil idi / deyildi	-k	Biz polis deyildik.
siz	rəqqasə	deyil idi / deyildi	-niz	Siz rəqqasə deyildiniz.
onlar	müğənni	deyil idi / deyildi	(-lər)	Onlar müğənni deyildi. / Onlar müğənni deyildilər.

Biz nəzakətli deyildik.

私たちは礼儀正しくありませんでした。

Siz bir saat əvvəl kitabxanada deyildiniz?

君たち、1時間前に図書館にいなかった？

Tələbələr dünən günorta məktəbdə deyildilər.
た。

生徒たちは昨日の昼は学校にいませんでした。

存在を表す var, 否定の yox を用いる存在文の過去形でも、同様に idi を使って過去の状態を表すことができます。

Parkda çoxlu uşaqlar var idi.

公園には子どもたちがたくさんいました。

Sevilin yanında kim var idi?

セヴィルのそばに誰がいましたか。

Ağacın ətrafında gözəl güllər var idi.

木の周りにはきれいな花がありました。

Stolun üstündə meyvə yox idi.

テーブルの上に果物はありませんでした。

Keçən ay universitetdə heç kim yox idi.

先月大学には誰もいませんでした。

第8課 練習問題

1. 空欄を埋めて、文を完成させてください。

(1) () çox soyuq idi.

昨日はとても寒かったです。

(2) Kino çox yaxşı ().

映画はとてもよかったです。

(3) Onun atası orta məktəbdə ()().

彼のお父さんは高校の先生でした。

(4) Dünən çox yorğun ().

私たちは昨日とても疲れていました。

2. 次のアゼルバイジャン語を日本語に直してください。

(1) Tələbələr imtahana hazır idi.

.....

(2) Onlar çox nəzakətli idilər.

.....

(3) Yemək dadlı deyil idi.

.....

(4) Biz 1996-cı ildə Gəncədə idik.

.....

(5) Xəlil bəy o gün qara köynəkdə olan idi.

.....

※köynəkdə olan→シャツを着ている

3. 次の日本語をアゼルバイジャン語に直してください。

(1) 授業は面白かったですか。

.....

(2) 妹は友達の家に行きました。

.....

(3) ここにヤシャールさん(Yaşar bəy)がいましたか。

.....

第9課 動詞の不定形（辞書形）と主な活用形式（予告編）

動詞の不定形（辞書形）

動詞は、意味的には名称が示す通り「話す」「寝る」などの動作、または「ある（いる）」などの状態などの出来事を表す語で、他の言語と同じくアゼルバイジャン語でも重要な役割を果たします。誰がその状態や動作の主体なのか形式的には定まっていない形として、動詞の不定形と呼ばれる形があります。これは辞書に載っている形でもあるので、辞書形とも呼ばれます。

辞書形とは、動詞語幹に-mAQ (-maq, -mæk)という接辞を付加した形のことを指します。この接辞は、A型の母音調和をすること、また母音の種類に応じて、各辞書形の最後の子音も q あるいは k に変化していることに注意しましょう。下の表に、いくつか動詞の不定形の例を示します。カッコの中の形式は、それぞれ語幹と辞書形接辞の境界をハイフンで区切ったものです。

-maq	-mæk
yatmaq (yat-maq) 「寝る（こと）」	üzmæk (üz-mæk) 「泳ぐ（こと）」
oxumaq (oxu-maq) 「読む（こと）」	göndərmæk (göndər-mæk) 「送る（こと）」
fırçalamaq (fırçala-maq) 「(ブラシで)磨く(こと)」	istəmək (istə-mæk) 「望む；～したい（こと）」
oyanmaq (oyan-maq) 「起きる（こと）」	gəlmək (gəl-mæk) 「来る（こと）」
yorulmaq (yorul-maq) 「疲れる（こと）」	görmək (gör-mæk) 「見る（こと）」

※動詞-mæk の最後の子音 k は、実際の発音では y[j]（硬口蓋接近音）が無声化したような発音になります（本書では便宜的に[y]という記号で表します）。アゼルバイジャン語の文献ではしばしばこの音を[x]のような記号で表しますが、一般にアゼルバイジャン語においては、外来語を除く固有語において語末の k の発音は[y]となります。

çiçək [tʃitʃæy] (名詞) 花
üzmək [yzmæy] (動詞) 泳ぐ

動詞の不定形は、別の動詞の主語や目的語として使われることがあります。

Azərbaycana **gəlmək** çətin deyil.

アゼルバイジャンに来ることは難しくありません。

Mən gödəkçə **almaq** istəyirəm.

私はジャケットを買いたいです。

否定形式は、動詞語幹に否定接辞-mA (-ma, -mə)を付加して、その後に不定形接辞-mAQを付加します。

-ma-maq	-mə-mək
yatmamaq (yat-ma-maq) 「寝ない (こと)」	üzməmək (üz-mə-mək) 「泳がない (こと)」
oxumamaq (oxu-ma-maq) 「読まない (こと)」	göndərməmək (göndər-mə-mək) 「送らない (こと)」
fırçalamamaq (fırçala-ma-maq) 「 (ブラシで) 磨かない (こと)」	istəməmək (istə-mə-mək) 「望まない / ~したくない (こと)」
oyanmamaq (oyan-ma-maq) 「起きない (こと)」	gəlməmək (gəl-mə-mək) 「来ない (こと)」
yorulmamaq (yorul-ma-maq) 「疲れない (こと)」	görməmək (gör-mə-mək) 「見ない (こと)」

不定形 (-mAQ) の名詞的用法

※第12課の「名詞の格語尾」の内容も含みますので、該当箇所を参照してください。

不定形の形式は、そのまま動名詞としても使われることを確認しました。ここでは、さらにその応用例を見ていきましょう。

接辞-mAQを伴う不定形には人称語尾、さらに格語尾が付加されることがあります。まずは、人称語尾が付加される時のかたちから見てみましょう。動詞語幹に続く接辞-mək, -maqのk, qの部分がそれぞれy, ğに変わっていることに注意しましょう。

görmək 「見る」

görməyim (gör-məy-im) 私が見ること

görməyin (gör-məy-in) 君が見ること

görməyi	(gör-məy-i)	彼・彼女が見ること
görməyimiz	(gör-məy-imiz)	私たちが見ること
görməyiniz	(gör-məy-iniz)	あなたが／君たちが見ること
görməyi/ görməkləri	(gör-mək-ləri)	彼らが見ること

almaq 「もらう、受け取る」

almağım	(al-mağ-ım)	私がもらうこと
almağın	(al-mağ-ın)	君がもらうこと
almağı	(al-mağ-ı)	彼が（彼女が）もらうこと
almağımız	(al-mağ-ımız)	私たちがもらうこと
almağınız	(al-maq-ınız)	あなたが／君たちがもらうこと
almağı/ almaqları	(al-maq-ları)	彼らがもらうこと

これらの形に、さらに必要に応じて格語尾が付加されることもあります。いくつか例を見てみましょう。

oxumağımı	(oxu-mağ-ım-ı)	私が読む <u>こと</u> を
gəlməyinə	(gəl-məy-in-ə)	君が来る <u>こと</u> に
istəməyindən	(istə-məy-i-ndən)	彼（彼女）が望んでいることから

(例文)

Yaponiyada da Azərbaycan dili **öyrənməyə** davam edin.

日本でもアゼルバイジャン語を習い続けてください。

Anam mənim Türkiyəyə **getməyimi** istəyir.

母は、私がトルコに行くことを望んでいます。

(=母は、私のトルコに行くことを望んでいます)

Tofiq şahmat **oynamağı** çox sevir.

トフィグはチェスを指すのがとても好きです。

Bir gün Gəncədəki evimə də **gəlməyinizi** ümid edirik.

(私たち) いくつかギャンジャにある私の家にも (あなたが) いらっしゃることを望んでいます。

動詞の活用（予告編）

次課以降では、アゼルバイジャン語における動詞のさまざまな変化形を見ていきます。動詞は、現在形や過去形などの時制、動詞によって表される動作の達成度（完了形など）などを表すアスペクト形式、またモダリティ（動詞の表す出来事に対する話し手の態度を表す形式）といった意味にしたがって、さまざまな語形に変化します。いずれも動詞語幹の後ろに、これらの時制やアスペクトを表す様々な語尾がついて文法的な意味を表すという特徴があります。さらに、誰がその動作を行ったか（または誰がその状態にあるのか）を表す、いわゆる人称語尾が必要に応じてさらに後に付加されます。

gəlmək	来ること	oyanmaq	起きること	（不定形）
gəlir	来る	oyanır	起きる	（現在形）
gəldi	来た	oyandı	起きた	（過去形）
gələcək	来る予定だ	oyanacaq	起きる予定だ	（未来形）
gələr	来るだろう	oyanar	起きるだろう	（不定未来形）
gəlmiş	来ていた	oyanmış	起きていた	（完了形）
gəlməli	来なければならない	oyanmalı	起きなければならない	（義務形）
gəl	来い	oyan	起きろ	（命令形）

第9課 練習問題

1. 次の語幹をもつ動詞の意味を調べてください。また、接辞-maq, -məkのうち適切なものを付加して、不定詞形を完成させてください（なお、ハイフンはこの後に接辞が続くことを便宜的に表しています。）。

- | | | | |
|------------|-------------|-----------|------------|
| (1) kəs- | (2) ver- | (3) ağrı- | (4) işlə- |
| (5) qur- | (6) görüş- | (7) aç- | (8) keçir- |
| (9) üzləş- | (10) barış- | | |

2. 次の動詞の意味に対応するものを、以下の選択肢から選んでください。

- | | | | |
|------------|--------------|--------------|-------------|
| (1) qaçmaq | (2) yemək | (3) yumaq | (4) oyanmaq |
| (5) batmaq | (6) tanıتماq | (7) dəyişmək | (8) itirmək |

- | | | | |
|--------|----------|---------|---------|
| (a) 走る | (b) 食べる | (c) 洗う | (d) 起きる |
| (e) 沈む | (f) 紹介する | (g) 変わる | (g) 失う |

3. 次の日本語に相当するアゼルバイジャン語の動詞を答えてください。

- | | |
|---------|---------|
| (1) 上げる | (2) 下げる |
| (3) 寝る | (4) 来る |
| (5) 行く | (6) 投げる |
| (7) 働く | (8) 開ける |

第 10 課 動詞の現在形

動詞の現在形

アゼルバイジャン語では動詞の現在時制形に、大きく 2 つの用法があります。その 1 つは、話し手が発話する時に同時進行で起こっているできごとを表す用法、もう 1 つは、発話時点に関係なく一般的に行われている動作や状態などを表す用法です。

どちらの用法のときも、現在時制形として動詞語幹に-(y)Ir (-ır, -ir, -ur, -ür)を付加します。動詞語幹が母音で終わるものには、-y を語幹と現在時制接辞の間に介入させます。また、動詞が表す動作・状態の主体の人称に応じて、さらに人称語尾を付加します。

almaq	「もらう」	→	al	+ır	+ 人称語尾
oxumaq	「読む」	→	oxu	+ yur	+ 人称語尾

動詞現在形にさらに付加される各人称の語尾は、以下のとおりです。1 人称複数語尾の最終子音が母音のタイプによって 2 種類あることにも注意してください。

	単数	複数
1 人称	-Am (-am, -əm)	-IQ (-ıq, -ik, -uq, -ük)
2 人称	-sAn (-san, -sən)	-sInIz (-sınız, -siniz, -sunuz, -sünüz)
3 人称	(なし)	-lAr (-lar, -lər)

なお、このタイプの人称語尾のうち 3 人称複数接辞-lAr を除く語尾は、その他いくつかの動詞時制形式で出てきますが、いずれの場合も人称語尾部分の母音にではなく、その直前の母音部分を高く発音する（アクセントが与えられる）ことに注意しましょう。

Mən gedirəm. 私は行きます。 Biz görürük. 私たちは見ます。
Sən yatırsan? 君は寝ますか。 Siz qorxursunuz? 君たち、怖いんですか。

動詞／人称	getmək 「行く」	görmək 「見る」	almaq 「買う」	oxumaq 「学ぶ」
-------	----------------	----------------	---------------	----------------

1 人称単数	gedirəm	görürəm	alırım	oxuyuram
2 人称単数	gedirsən	görürsən	alırsan	oxuyursan
3 人称単数	gedir	görür	alır	oxuyur
1 人称複数	gedirik	görürük	alırıq	oxuyuruq
2 人称複数	gedirsiniz	görürsünüz	alırsınız	oxuyursunuz
3 人称複数	gedirlər	görürlər	alırlar	oxuyurlar

※getmək「行く」、boşaltmaq「空にする」、böyütmək「大きくする」、yaratmaq「生み出す」、etmək「する」のように、動詞語幹が/t/で終わるものは、現在時制接辞が付加されると母音に挟まれることとなります。その際、tがdに変化していることに注意してください。一方、satmaq「売る」、batmaq「沈む」、yatmaq「寝る」などの動詞のように、語幹が/t/で終わっていても変化しないものもあります。

変化する例：səhv etmək 「間違ふ（＝ミスをする）」

※この動詞は正確に言えば名詞と動詞が組み合わさったパターンで、「する」の意味を表す動詞部分 etmək の語幹部分の t が d に変化します。

Mən səhv edirəm.

Biz səhv edirik.

Sən səhv edirsən.

Siz səhv edirsiniz.

O səhv edir.

Onlar səhv edirlər.

変化しない例：satmaq 「売る」

Mən satırım.

Biz satırıq.

Sən satırsan.

Siz satırsınız.

O satır.

Onlar satırlar.

※この動詞は本来目的語を必要としますが、ここでは便宜上省略してあります。

(例文)

Mən zavodda işləyirəm.

私は工場で働いています。

Sən harada yaşayırsan?

君はどこに住んでいるの。

Əli Sevili gözləyir.

アリはセヴィルを待っています。

Biz o müəllimdən qorxuruq.

私たちはあの先生が怖いです。

Siz azərbaycanca başa düşürsünüz?

アゼルバイジャン語はわかりますか？

※2人称複数の語尾は、このように簡略化されることがあります。

Onlar ingilis dilini öyrənirlər. 彼らは英語を勉強しています。

否定文にする場合は、動詞語幹に否定接辞-m を付加して、その後に現在時制接辞-İr を付加します。下の例からわかるように、否定接辞に続く現在時制接辞は子音(m)に続くことになるので、-yir, -yur のように y が入ることはありません。

	語幹	否定	現在	
almaq 「もらう」	→ al	+m	+ır	+ 人称語尾
oxumaq 「読む」	→ oxu	+m	+ur	+ 人称語尾

以下、4つの動詞を例に否定接辞を含んだ現在形の形式を確認してください。

動詞／人称	getmək 「行く」	görmək 「見る」	almaq 「買う」	oxumaq 「学ぶ」
1人称単数	getmirəm	görmürəm	almıram	oxumuram
2人称単数	getmirsən	görmürsən	almırsan	oxumursan
3人称単数	getmir	görmür	almır	oxumur
1人称複数	getmirik	görmürük	almırıq	oxumuruq
2人称複数	getmirsiniz	görmürsünüz	almırsınız	oxumursunuz
3人称複数	getmirlər	görmürlər	almırlar	oxumurlar

肯定・否定形いずれの場合も、疑問文にする場合は疑問を表す語尾=ml (=mı, =mi, =mu, =mü) のうちいずれか、母音調和の規則に従って母音部分を変化させます) を付加するか、あるいは実際に発音する際に文末のイントネーションを上げます。

疑問の語尾=ml を付加する場合は、直前の語の最終母音に合わせて母音調和することに気をつけて下さい。なお口語では、=ml を付加しないで、イントネーションを上げて質問することが多いです。

また、書き言葉で疑問文であることを=ml で表す場合でも、文末はクエスチョン・マークにします。ただし、実際には=ml がなくても、クエスチョン・マークを使えばもちろん疑問文であることを示すことができます。なお、これまで学習してきたとおり、諾否疑問文ではなく疑問語疑問文 (nə (...?), kim (...?), necə (...?) などの疑問語を使う疑問文) のときにはこの疑問の語尾=ml は出てこないことも確認しておきましょう。

動詞／人称	getmək 「行く」	görmək 「見る」	almaq 「買う」	oxumaq 「学ぶ」
1 人称単数	gedirəmmi? gedirəm?	görürəmmi? görürəm?	alırımı? alırım?	oxuyurammı? oxuyuram?
2 人称単数	gedirsənmi? gedirsən?	görürsənmi? görürsən?	alırsanmı? alırsan?	oxuyursanmı? oxuyursan?
3 人称単数	gedirmi? gedir?	görürmü? görür?	alırımı? alır?	oxuyurmu? oxuyur?
1 人称複数	gedirikmi? gedirik?	görürükmü? görürük?	alırıqmı? alırıq?	oxuyuruqmu? oxuyuruq?
2 人称複数	gedirsinizmi? gedirsiniz?	görürsünüzü? görürsünüz?	alırsınızmı? alırsınız?	oxuyursunuzmu? oxuyurusunuz?
3 人称複数	gedirlərmi? gedirlər?	görürlərmi? görürlər?	alırlarmı? alırlar?	oxuyurlarmı? oxuyurlar?

否定疑問の形も、否定接辞と疑問の語尾=mi を付加するか、あるいは疑問の語尾を使わずにイントネーションを上げることで表すことができます。

動詞／人称	getmək 「行く」	görmək 「見る」	almaq 「買う」	oxumaq 「学ぶ」
1 人称単数	getmirəmmi? getmirəm?	görmürəmmi? görmürəm?	almırımı? almırım?	oxumurammı? oxumuram?
2 人称単数	getmirsənmi? getmirsən?	görmürsənmi? görmürsən?	almırsanmı? almırsan?	oxumursanmı? oxumursan?
3 人称単数	getmirmi? getmir?	görmürmü? görmür?	almırımı? almır?	oxumurmu? oxumur?
1 人称複数	getmirikmi? getmirik?	görmürükmü? görmürük?	almırıqmı? almırıq?	oxumuruqmu? oxumuruq?
2 人称複数	getmirsinizmi? getmirsiniz?	görmürsünüzü? görmürsünüz?	almırsınızmı? almırsınız?	oxumursunuzmu? oxumurusunuz?
3 人称複数	getmirlərmi? getmirlər?	görmürlərmi? görmürlər?	almırlarmı? almırlar?	oxumurlarmı? oxumurlar?

(例文)

Mən bazar günü işləmirəm.	私は日曜日は仕事をしません。
Sən bu gün yemək yemirsən?	君は今日ごはんを食べないの？
O, Sumqayıtda yaşamır.	彼は（彼女は）スムガイトに住んでいません。
Biz yapon dilini bilmirik.	私たちは日本語がわかりません。
Siz gəlirsiniz?	あなたは来ますか。
Onlar (yuxudan) oyanmırlar.	彼らは起きません。
Həftəsonu nə edirsiniz?	週末は何をしていますか。

意志・希望を表す表現

動詞の不定形（語幹に-mAQ 接辞を付加した語形）と動詞 *istəmək* 「～したい、～（することを）望む」を使って、動作主の現時点での意志や希望を表すことができます。

Hər gün qəzet oxumaq istəyirəm. 毎日新聞を読みたいです。
Bu gün nə etmək istəyirsiniz? 今日は何をしたいですか。

Yemək yemək istəmirsən? ごはんを食べたくないの？
-Xeyr, mən bu axşam şərab içmək istəyirəm. うん、私、今日の晩はワインを飲みたい。

※*istəyir* の部分の発音は、綴りどおりというよりは、[istijir]のような発音になります。

「～したかった」のように、過去の時点での希望を表す場合や、「～したいだろう」のような未来の時点での希望の予測を表すときには、動詞 *istəmək* の部分を過去形や未来系に変化させます（なお、動詞の過去形については続く第8課、未来形については第10課で学習します）。

頻度を表す副詞的表現

動詞の現在形を使った表現とあわせて、普段どの程度その動作を行うか（またはそのよう

な状態になるか) を表現することもできます。

hər vaxt, daima, həmişə	いつも
adətən	普段は、通常は
tez-tez	よく、しょっちゅう
bəzən, arabilir	ときどき
hərdən	たまに
nadir halda	ごくたまに (めったにない)
nadir hallarda, gec-gec	ほとんど (ない)
heç	まったく...ない

上記の副詞または副詞句のうち、heç は後続する述語表現に否定を表す語 (動詞の場合は否定を表す接辞) が含まれることに注意しましょう。

(例文)

Sevil həmişə kitab oxuyur.	セヴィルはいつも本を読んでいます。
Mən adətən saat yeddidə oyanıram.	私は普段は7時に起きます。
Sən tez-tez ailənə zəng edirsən.	君、しょっちゅう家族に電話しているね。
Uşağım bəzən velosipedlə parka gedir.	私の子どもはときどき自転車で公園に行く。
Biz bəzən restoranda türk yeməyi yeyirik.	
私たちは時々レストランでトルコ料理を食べます。	
Nadir halda pivə içirəm.	ごくたまにビールを飲みます。
Yapon dilini heç bilmirik.	日本語はまったくわかりません。



Gəlirik 「（私たちは）やってきます」

第 10 課 練習問題

1. 次の動詞を現在形 3 人称単数の形に直しましょう。

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| (1) ayrılmaq 別れる | (2) bitirmək 終える | (3) yemək 食べる |
| (4) yatmaq 寝る | (5) artmaq 増える | (6) bilmək 知っている |
| (7) getmək 行く | (8) istəmək 望む | (9) yazmaq 書く |
| (10) salamlamaq | あいさつする | |

2. カッコ内の動詞を適切な現在形になおし、文の意味を答えてください。

- (1) Leyla həmişə müəllimə sual (vermək)
- (2) Mən bir dənə alma (istəmək).
- (3) Siz Azərbaycan dilində başa (düşmək)?

3. 次のアゼルバイジャン語を日本語に直してください。

- (1) Mən yeni pulqabı almaq istəyirəm.
-

- (2) Çips yemək istəyirsən?
-

- (3) Əli kitabxanada kitab oxumaq istəyir.
-

4. 以下の日本語に従って、空欄に適切な語を埋めてください。

- (1) Yeməkdən əvvəl əllərimizi () istəyirik.
(私たちは) 食事の前に、手を洗いたいです。
- (2) Siz nə vaxt vanna () () istəyirsiniz?
(あなたは) いつ入浴をご希望ですか。
- (3) Onlar da Azərbaycan dilini () ().
彼らもアゼルバイジャン語を勉強したいと思っています。

※ 語句

pulqabı 財布、	çips (ポテト) チップス、	-dAn əvvəl ~の前に
əl 手、	nə vaxt いつ、	vanna 風呂
vanna qəbul etmək	入浴する	öyrənmək 学ぶ、勉強する

第 11 課 名詞の格

動詞の目的語と名詞の目的語格語尾：-(n)I (-**(n)**ı, -**(n)**i, -**(n)**u, -**(n)**ü)

第 5 課で場所や時間を表す位置格語尾について学習しましたが、ここでは動詞の目的語のあらわし方についても確認しておきましょう。

アゼルバイジャン語では、通例動詞の直前に格語尾をつけずに目的語(*təsirlik hal*)を表すことができます。ただしその場合、目的語となっている名詞は特定の事物を指しているわけではありません。

Mən məktub oxuyuram. 私は手紙を読みます。

その場に見えている特定の事物、話題に上がっている事物、また指し示されている事物を表す場合に、名詞に目的語格語尾-(n)I を付加します。上の例と下の例の違いを確認しましょう。

Mən məktubu oxuyuram. 私は（その）手紙を読みます（読んでいます）。

※目的語格語尾が義務的なのは、以下の場合であると覚えておくと便利でしょう。

(1) 固有名詞

Siz Gülşəni yaxşı tanıyırsınız? あなたはギュルシェンをよくご存知ですか？

Aysel Teymurzadəni çox sevirəm. アイセル・テイルムザーデがとても好きです。

(2) 代名詞

Bunu tezliklə oxuyun. これをいそいで読んでください。

Mən onu sevmirəm. 私はあれが好きではありません。

(3) 人称語尾を伴う語の後

Mən anamı çox sevirəm. 私は母が大好きです。（*anam* = *ana* + *m* 「私の母」）

Anam hər gün ailəmin paltarlarını yuyur. 母は毎日家族の服を洗っています。

※名詞に 3 人称単数形の所有語尾があり、その後に目的語格語尾が来る場合は、常に間に

n が挟まれることに注意してください。

(4) 指示代名詞で修飾を受ける名詞のとき

Bu balığı bişirirəm. この魚を料理します。
O kitabı sənə verirəm. その本を君にあげるよ。

名詞の方向格 **-(y)A (-(y)a, -(y)ə)**

方向格 (yönlük hal)は、名詞に-(y)A 語尾(-(y)a, -(y)ə)を付加してあらわします。大まかにいうと日本語の「に、へ」のような、ある事物のある場所・目的への移動を表す時に使われます。

qardaş 「兄弟（兄か弟のいずれかを指します）」 qardaşa 「兄弟に」
bacı 「妹」 bacıya 「妹に」

なお方向格語尾について、名詞の語末が-q, -k で終わる場合は語末の子音部分も変化します。

köynək 「シャツ」 köynəyə 「シャツに」
uşaq 「子ども」 uşağa 「子どもに」

また、複合名詞に方向格が付加される場合は、所有を表す接辞と方向格語尾の間に子音 n が入ります。

yapon dili kitabı 日本語の本 yapon dili kitabına 日本語の本に
Bakı Dövlət Universiteti バクー国立大学 Bakı Dövlət Universitetinə バクー国立大学に

奪格 **-dAn (-dan, -dən)**

奪格 (çıxışlıq hal)は、名詞に-dAn 語尾を付加してあらわします。動作や出来事の出発点や原材料、比較の対象、原因などのさまざまな意味をあらわします。

・ある場所・出発点・時間などからの動作・出来事

Tofiq Gəncə**dən** gəlir. トフィグがギャンジャ（地名）からやってきます。

Onlar saat doqquz**dan** sonra işə başlayırlar. 彼らは9時から仕事を始めます。

・全体の一部、あるいはある集合体の中の1単位

Üç qutud**an** birini seçirsən. （君は）3つの箱の中から1つを選ぶんだ。

Bu almalar**dan** birini alıram. このリンゴの中から1つもらいます。

・比較

Qardaşım s**əndən** daha gəncdir. 弟は君より若いよ。

Bacımın boyu m**əndən** daha hündürdür. 妹の身長は私より高いです。

・材料・原料

Bu köynək yund**andır**. このシャツはウールでできています。

・理由、原因

Tənbəllik**dən** bu hala düşmüşdür. 怠慢のため、こんな状態に陥ってしまった。

また、一部の動詞の補語として用いられる場合に注意しましょう。日本語で目的語に相当するように見えても、アゼルバイジャン語では奪格で表すような場合があることに注意してください。

Mən it**dən** qorxuram. 私は犬が怖いです。

Milli kitabxanad**an** istifadə edirik. （私たちは）国立図書館を利用します。

なお奪格語尾は子音で始まっているため、直前の名詞が母音で終わっている場合でも語末子音の変化は起こらないことに注意しましょう。

qayıq ボート qayıq**dan**

çiçək 花 çiçək**dən**

※名詞に3人称単数形の所有語尾があり、その後にさらに奪格語尾が来る場合は、常に間にnが挟まれることに注意してください。

yapon dili kitabı 日本語の本 yapon dili kitabından 日本語の本から
 Bakı Dövlət Universiteti バクー国立大学
 Bakı Dövlət Universitetindən バクー国立大学から

共格を表す ilə

手段や、一緒に動作などを行う人などを表す格を本書では共格と呼ぶことにします。アゼルバイジャン語では共格を表す語尾 *ilə* は、前の名詞と分かち書きするか、母音調和を伴って名詞に付加するかいずれかの方法であらわします。この *ilə* を接続詞や後置詞とみなす立場もありますが、本書では広い意味での格の一部として扱うことにします。

母音調和を伴って語尾として接続する場合、介入子音 *y* を伴うことに注意しましょう(下の *süfrəylə* などが該当します)。なお、複数形接辞 *-lAr* が付加される場合、格語尾はいずれも複数形接辞に後続します。

qaşığıq	スプーン	qaşığıq ilə (qaşığıqla)	スプーンで
çəngəl	フォーク	çəngəl ilə (çəngəllə)	フォークで
bıçaq	ナイフ	bıçaq ilə (bıçaqla)	ナイフで
ailə	家族	ailəm ilə (ailəmlə)	家族と (いっしょに)
maşın	車	maşınlarımız ilə (maşınlarımızla)	私たちの車で
süfrə	テーブルクロス	süfrə ilə (süfrəylə)	テーブルクロスで
sırğa	イヤリング	sırğa ilə (sırğayla)	イヤリングで

共格であらわされる名詞にともなって、*bərabər* や *birlikdə* という「一緒に」という意味の副詞的な役割を担う語が使われることもあります。

Sabah yoldaşım ilə birlikdə kinoteatra gedirəm. 明日、妻といっしょに映画館へ行きます。
 Yeməyi yemək çubuqları ilə yeyirik. ごはんを箸で食べます。

名詞の格語尾のまとめ

ここまで学習した、アゼルバイジャン語における名詞の格語尾を整理しておきましょう。

主格（ゼロ格）	主語や特定のでない目的語を表す格語尾
属格	所有者を表す格語尾
方向格	動作の方向や着地点を表す格語尾
目的格	動作の影響を受けるものを表す格語尾
位置格	動作や状態の位置や時間を表す格語尾
奪格	動作や状態の出発点や出どころなどを表す格語尾

これに加えて、本書では以下のように「共格」も格の一種とひとまずみなしておきます。

共格	動作や状態の手段、または一緒におこなう人などを表す格語尾（接続詞または後置詞とみなす立場もある）
----	--

これらが名詞の格語尾で、母音調和のルールに従って母音部分や子音部分が変化します。共格については、上述の通り分かち書きせずに前の名詞の一部として表すとき、母音調和のルールに従います。

以下、いくつかの名詞を例に、それぞれに格語尾がついたあとの語形を確認してください。なお、以下の表で su「水」に属格・方向格・目的格といった格語尾が付く場合は、例外的に n のかわりに y が来ることに注意してください。

また名詞の語末が k, q で終わる場合、属格、方向格、目的格のときに子音がそれぞれ y, ğ に変化していることにも注意してください。ただし、外来語の中には最後の子音部分が変わらないものもあります（下記の表の ittifaq「組合；同盟」などがそれにあたります）。

	kitab「本」	yemək「食事」	balıq「魚」	hava「空」
主格 (ゼロ格)	kitab	yemək	balıq	hava
属格	kitabın	yeməyin	balığın	havanın
方向格	kitaba	yeməyə	balığa	havaya
目的格	kitabı	yeməyi	balığı	havanı
位置格	kitabda	yeməkdə	balıqda	havada
奪格	kitabdan	yeməkdən	balıqdan	havadan
共格	kitabla	yeməklə	balıqla	havayla

	ittifaq「組合；同盟」	bağ「庭」	su「水」
--	----------------	--------	-------

主格（ゼロ格）	ittifaq	bağ	su
属格	ittifaqın	bağın	suyun
方向格	ittifaqa	bağa	suya
目的格	ittifaqı	bağı	suyu
位置格	ittifaqda	bağda	suda
奪格	ittifaqdan	bağdan	sudan
共格	ittifaqla	bağla	suyla

名詞に所有を表す人称語尾が付加された後、さらに格語尾が付加される場合についても確認しておきましょう。これらのケースでは、人称語尾による最終母音または最終子音が k や q になることはないのです、そのまま格語尾を付加すると考えて良いでしょう。ただし、3 人称単数、および 3 人称複数の所有語尾は母音で終わるので、これに続く目的格、位置格、奪格語尾は介入子音 n を伴うことになります。

göz 「目」

	gözüm 「私の目」	gözün 「君の目」	gözü 「彼の・彼女の目」
主格 (ゼロ格)	gözüm	gözün	gözü
属格	gözümün	gözünün	gözünün
方向格	gözümə	gözünə	gözünə
目的格	gözümü	gözünü	gözünü
位置格	gözümdə	gözündə	gözündə
奪格	gözümdən	gözündən	gözündən
共格	gözümlə	gözünlə	gözüylə

人称語尾が複数形の際は、以下の通りになります。

	gözümüz 「私たちの目」	gözünüz 「君たちの目・ あなたの目」	gözləri 「彼らの目」
主格 (ゼロ格)	gözümüz	gözünüz	gözləri

属格	gözümüzün	gözünüzün	gözlərinin
方向格	gözümüzə	gözünüzə	gözlərinə
目的格	gözümüzü	gözünüzü	gözlərini
位置格	gözümüzdə	gözünüzdə	gözlərində
奪格	gözümüzdən	gözünüzdən	gözlərindən
共格	gözümüzlə	gözünüzlə	gözləriylə

第 11 課 練習問題

1. 次の名詞の意味を確認してください。さらに、それぞれの名詞に目的語格語尾を付加してください。

- (1) ayaq (2) qıç (3) qol (4) omba
(5) əl (6) barmaq (7) boyun (8) baş
(9) çiyin (10) dirsək

2. 次の文を日本語に直してください。

- (1) Mən Azərbaycan dilini yaxşı bilirəm.
(2) Səni evdə gözləyirik.
(3) Turistlər Azərbaycan mətbəxini sevirlər.

3. 以下の名詞の意味を確認し、方向格語尾を付加した語形に書き換えてください。

- (1) qələm (2) məktəb çantası (3) pozan
(4) dəftər (5) atlas (6) karandaş
(7) dərslik (8) xətkəş (9) lövhə
(10) çanta

4. 以下の名詞・複合名詞の意味を確認し、奪格語尾を付加した語形に書き換えてください。

- (1) ev (2) məktəb (3) supermarket
(4) stadion (5) mehmanxana (6) idman mərkəzi
(7) ofis binası (8) metro (9) avtobus
(10) teatr

5. 以下の名詞・複合名詞の意味を確認し、共格を表す *ilə* を語尾とする語形に書き換えてください。

- (1) açar (2) lent (3) pul (4) salfet (5) qayçı
(6) dərman (7) balta (8) fırça (9) çəkiç (10) bazarlıq çantası

第 12 課 代名詞のタイプと格変化

代名詞には人称代名詞、指示代名詞などのタイプがありますが、格語尾の付加に関するルールは他の名詞と基本的に変わりません。

人称代名詞

第 2 課で人称代名詞が文の主語として使われた形を確認しましたが、ここでは人称代名詞に格語尾が付加された各形式を、以下の表で確認してみましょう。

動作主格 (ゼロ格)	目的語格	属格	位置格	方向格	奪格
mən	məni	mənim	məndə	mənə	məndən
sən	səni	sənin	səndə	sənə	səndən
o	onu	onun	onda	ona	ondan
biz	bizi	bizim	bizdə	bizə	bizdən
siz	sizi	sizin	sizdə	sizə	sizdən
onlar	onları	onların	onlarda	onlara	onlardan

これら人称代名詞の共格（～と、～で；第 11 課参照）の形式は、以下の通りです。

mən	mənimlə	biz	bizimlə
sən	səninlə	siz	sizinlə
o	onunla	onlar	onlarla

それぞれの格語尾が代名詞に付加される場合でも母音調和していることに注意しましょう。

指示代名詞

指示代名詞は bu, o の 2 種類を基本的に使用します。遠称代名詞の o に格語尾が付加され

る場合、上記3人称代名詞のoと同様の格語尾付加になります（指示代名詞と人称代名詞oは、同一の語彙と考えることもできます）。

また、指示代名詞に関連して場所を表す場合は、bura「ここ」、ora「そこ（あそこ）」であらわします。疑問代名詞はhara「どこ」を使用します。これらにも格語尾の付加ができます。

主格	目的語格	属格	位置格	方向格	奪格
bu	bunu	bunun	bunda	buna	bundan
o	onu	onun	onda	ona	ondan
bura ここ	buranı	buranın	burada	buraya bura	buradan
ora そこ；あそこ	oranı	oranın	orada	oraya ora	oradan
hara どこ	haranı	haranın	harada	haraya hara	haradan

Bura haradır? ここはどこですか。

Bura bizim ofisimizdir. ここは私たちのオフィスです。

İçərişəhər Bakı şəhərinin ortasındadır. Mən **oranı** çox sevirəm.

イチャリシャハルはバクー市の中心部にあります。私はそこがとても好きです。

疑問代名詞

疑問代名詞には nə(...?)「何」、kim(...?)「誰」、necə(...?)「どのように」、hansı(...?)「どの」、そして hara(...?)「どこ(に)」などがあります。これらも、必要に応じて格語尾を付加します。

	目的語格	属格	位置格	方向格	奪格
nə	nəyi	nəyin	nədə	nəyə	nədən
kim	kimi	kimin	kimdə	kimə	kimdən

上の表では、nə(...?)の目的語格語尾が-niではなく、-yiとなっていることに注意しましょ

う。

※**nə, kim** に共格を表す付属語-(y)lA が付加された形は、それぞれ

nə **nəylə** (「何によって；何を使って」 etc.)

kim **kimlə (kiminlə)** (「誰と」)

となります。

疑問代名詞も、格語尾をとって疑問文の主語や目的語、補語などになることができます。また、すでに第2課の文法・解説3でも述べたように、疑問代名詞を使って疑問文にする場合は、疑問を表す助詞=**ml** を使わないことに気をつけてください。

(1) **nə** 「何」

A: Bu nədir? 「これは何ですか」

B: Bu, kitabdır. 「これは本です」

A: Soyadınız nədir? 「名字は何ですか」

B: Soyadım Fuciidir. 「名字は藤井です」

(2) **kim** 「誰」

A: O kimdir? 「彼女はどなたですか」 B: O, Mehdi müəllimdir. 「彼女はメフディ先生です」

A: Kim tələbədir? 「どなたが学生ですか」

B: Sərdar tələbədir. 「セルダルが学生です」

(3) **necə** 「どのように」

Ata və ananız necədir?

お父さまとお母さま（のご様子）はいかがですか。

Necəsiniz?

（調子は）いかがですか。

(4) **neçə** 「いくつ；いくら」（数量を尋ねるときの疑問詞）

Neçə yaşınız var?

おいくつですか？

Universitetinizdə neçə tələbə oxuyur?

あなたの大学では何名學生が勉強していますか。

(5) **hansı** 「どの、どちら」（選択肢を提示する疑問詞）

Hansı roman növlərini sevirsiniz?

どの小説のジャンルが好きですか。

Hansı sənin yeni kitabındır?

どちらが君の新しい本ですか。

(6) **hara** 「どこ（に）」（場所を尋ねるときの疑問詞）

Sən haradasan?

（君）どこにいるの。

Pişiyn haradadır?

君のねこはどこにいるの。

相手に出身や国籍を訪ねるときは、haralı(...?)という語を使います。

A: Siz haralısınız?

B: Mən azərbaycanlıyam.

「どこのご出身ですか?」 「アゼルバイジャンです」

A: Sən azərbaycanlısan? B: Bəli, mən azərbaycanlıyam.

「君、アゼルバイジャン人?」 「ええ、私はアゼルバイジャン人です」

A: Haralısan?

B: Mən yaponam.

「お国は?」

「日本人です」

参考：国名、国籍名

アゼルバイジャン語で国名や国籍を表す場合は、以下のような語彙になります。以下は、一部の国について挙げています（巻末のリスト、または辞書なども参照してください）。

国名	日本語	国籍	国名	日本語	国籍
Almaniya	ドイツ	alman	İspaniya	スペイン	ispan
Çin	中国	çinli	İsveç	スウェーデン	isveçli
Fransa	フランス	fransız	İtaliya	イタリア	italyan
Ermənistan	アルメニア	erməni	Kanada	カナダ	kanadalı
Gürcüstan	ジョージア	gürcü	Rusiya	ロシア	rus
İngiltərə	イギリス	ingilis	Türkiyə	トルコ	türk
İran	イラン	iranlı	Yaponiya	日本	yapon

再帰代名詞

アゼルバイジャン語には、「～自身」という意味を表す再帰代名詞 öz ("öz əvəzliyi")があります。該当する人物と、そのあとに続く事物との関係を表すのに用いられます。再帰代名詞に後続する名詞には、以下の例のように所有接辞が付加されます。所有接辞は、これまで見てきたのと同じく、名詞などに付加される所有接辞と同じものです。

	単数	複数
1 人称	-(I)m (-ım, -im, -um, -üm)	-(I)mİz (-(ı)miz, -(i)miz, -(u)muz, -(ü)müz)
2 人称	-(I)n (-ın, -in, -un, -ün)	-(I)nİz (-(ı)niz, -(i)niz, -(u)nuz, -(ü)nüz)
3 人称	-(s)İ (-(s)ı, -(s)i, -(s)u, -(s)ü)	-lArİ (-lari, -ləri)

maşın「車」、ailə「家族」という名詞を例にとって再帰代名詞を伴いながら、名詞部分に所有接辞を付加すると、それぞれ以下のような意味になります。

öz maşınım	私自身の車	öz maşınımız	私たち自身の車
öz maşının	君自身の車	öz maşınıınız	君たち・あなた自身の車

öz maşını

彼・彼女自身の車

öz maşınları

彼ら自身の車

öz maşınları には、上記の意味の他に「彼・彼女自身の車」という解釈も可能です。この解釈の時は、車が複数ある（つまり、彼または彼女が車を複数所有しているという意味を表す）ということになります。

öz ailəm	私自身の家族	öz ailəmiz	私たち自身の家族
öz ailən	君自身の家族	öz ailəniz	君たち・あなた自身の家族
öz ailəsi	彼・彼女自身の家族	öz ailələri	彼ら自身の家族

(例文)

Mən (sizin yox) öz kitabımı istəyirəm.	私は（あなたのでなく）自分の本が欲しい。
Sən öz boş vaxtında nə edirsən?	君は（自分の）暇な時間に何をしているの。
O öz pasportunu itirib.	彼はパスポートを無くしてしまった。
Biz öz dilimizə əhəmiyyət veririk.	私たちは自分たちの言語を重視しています。
Sizin öz eviniz haradadır?	あなた（ご自身）の家はどこですか。
Onlar öz uşaqlarını çox sevirlər.	彼らは、子どもをととても愛しています。

また、以下のように再帰代名詞に直接所有接辞を付加することで、「私自身」「君自身」...のように、人物を指し示すこともできます。さらに以下の例のように、所有接辞のあとに動詞などの要請によって格語尾を付加することもできます。

(mən) özüm	私自身	(biz) özümüz	私たち自身
(sən) özün	君自身	(siz) özünüz	君たち・あなた自身
(o) özü	彼・彼女自身	(onlar) özləri	彼ら自身

所有語尾・格語尾を付加した場合の語形は、以下の表のようになります。

格	人称・数					
	1 人称単数	2 人称単数	3 人称単数	1 人称複数	2 人称複数	3 人称複数
主格	özüm	özün	özü	özümüz	özünüz	özləri
属格	özümün	özünün	özünün	özümüzün	özünüzün	özlərinin
対格	özümü	özünü	özünü	özümüzü	özünüzü	özlərini

方向格	özümə	özünə	özünə	özümüzə	özünüzə	özlərinə
位置格	özümdə	özündə	özündə	özümüzdə	özünüzdə	özlərinədə
奪格	özümdən	özündən	özündən	özümüzdən	özünüzdən	özlərindən
(共格)	özümlə	özünlə	özüylə	özümüzlə	özünüzlə	özləriylə

また、人称代名詞と同時に文中に出て、代名詞そのものを強調する用法もあります。その場合、再帰代名詞は人称代名詞に呼応するかたちで、必要な人称語尾を伴います。

(例文)

Özümüz nəticədən çox razıyıq.

私たち自身、結果にとっても満足しています。

Özünüzü təqdim edərsiniz?

自己紹介していただけますか。

Erkin **özünə** bir hədiyyə aldı.

エルキンは自分自身にプレゼントを買いました。

Niyə kişilər **özlərindən** cavan qadınları sevirlər?

なぜ男たちは自分たちより若い女性が好きなのか。

Mən **özüm** məktəbə gedib müəllim ilə danışacağam.

私が自ら学校に行って、先生と話します。

Fərhad **öz-özünə** fikirləşdi və Türkiyəyə getməyə qərar verdi.

フェルハドは自分自身で考えて、トルコに行くことに決めた。

İcazə verin **özümü** təqdim edim.

自己紹介させてください（自己紹介します）。

Bu işi siz **özünüz** etdiniz?

この仕事を、あなた自らがやったのですか。

Yaxşı, sağ olun. **Özün** yaxşısan?

元気です。ありがとう。君のほう（君自身）は元気？

Bazardan **özləri** üçün tərəvəz və meyvə aldılar.

彼らは市場で野菜と果物を自分たちのために買いました。

否定を表す代名詞表現

「誰も (...ない)」など、代名詞を使いつつ否定の意味を加える場合は否定語 heç を用いて、heç nə「何も (...ない)」、heç kim「誰も (...ない)」などのようにします。以下、格変化を表にしてみましょう。

	heç nə	heç kim
主格 (ゼロ格)	heç nə	heç kim
属格	heç nəyin	heç kimin
方向格	heç nəyə	heç kimə
目的格	heç nəyi	heç kimi
位置格	heç nədə	heç kimdə
奪格	heç nədən	heç kimdən
共格	heç nəylə	heç kimlə

(例文)

Heç kim məktəbə gəlmədi. 誰も学校に来なかった。

Heç nə yemirəm, amma kökəlirəm!

私、何も 食べてないです。それなのに、太っています！

İndi evimdə heç kim yoxdur. 今、私の家には誰もいません。

第 12 課 練習問題

1. 次の代名詞を、カッコ内の指示に従って適切な語形になおしてください。

(例) bu (属格) → bunun

- (1) mən (方向格) (2) sən (目的語格) (3) o (奪格)
(4) biz (属格) (5) siz (位置格) (6) onlar (位置格)

2. 日本語を参考にして、アゼルバイジャン語の各文の空欄を埋めてください。

(1) 昨晚、どこにいたの。

Dünən axşam () idin?

(2) 夏に何をしましたか。

Yayda () etdiniz?

(3) 昨日は(月の)何日でしたっけ。

Dünən () gün idi?

(4) あなたご自身のご自宅はどこですか。

Sizin () eviniz haradadır?

(5) 誰が君の先生なの？

() sənin müəllimindir?

(6) セヴィルのそばに誰がいましたか。

Sevilin yanında ()() idi?

(7) 君、昨日誰と映画館に行ったの？

Sən dünən () kinoteatra getdin?

(8) どの小説のジャンルが好きですか。

() roman növlərini sevirsiniz?

3. 下線部に注意して、次のアゼルバイジャン語を日本語に直してください。

(1) Mən sənin kitabını yox, özümünkünü istəyirəm.

私はあなたではなく、()が欲しいんです。

(2) Sizin öz eviniz haradadır?

.....
(3) Onlar öz uşaqlarını çox sevirlər.
.....

第13課 動詞の過去形

動詞の過去形と人称語尾形式

話し手が直接経験した過去の出来事を表すには、動詞語幹に-dI (-dI, -di, -du, -dü)を付加します。このタイプの過去形を、本書では定過去形と呼びます。さらに必要に応じて、動詞の表す動作・状態の主体を表す人称語尾を付加します。定過去形の人称語尾は、下の表の通りです。

	単数	複数
1 人称	-m	-Q (-k, q)
2 人称	-n	-nİz (-nız, -niz, -nuz, -nüz)

※3 人称を示す接辞はありません。3 人称複数形の場合、-lar/-lər 接辞が付加される場合がありますが、その場合でもこの接辞付加は必須ではありません。

現在形に付加される人称語尾と似ていますが、わずかに異なることに注意しましょう。また、1 人称複数の語尾にも注意してください。前舌母音に続く場合は-k, 後舌母音に続く場合は-q という形になります。

	göndərmək 「送る」	öpmək 「キスする」	qalmaq 「滞在する」	oturmaq 「座る」
1 人称単数	göndərdim	öpdüm	qaldım	oturdum
2 人称単数	göndərdin	öpdün	qaldın	oturdun
3 人称単数	göndərdi	öpdü	qaldı	oturdu
1 人称複数	göndərdik	öpdük	qaldıq	oturduq
2 人称複数	göndərdiniz	öpdünüz	qaldınız	oturdunuz
3 人称複数	göndərdi / göndərdilər	öpdü / öpdülər	qaldı / qaldılar	oturdu / oturdular

(例文)

Mən bazardan kartof aldım.

私は市場でジャガイモを買いました。

Sən dünən kiminlə kinoteatra getdin? おまえ、昨日誰と映画館に行ったの？
 Qatar gecə saat birdə yola düşdü. 列車は夜 1 時に出発した。
 Biz yeni məktəb binasını çox bəyəndik. 私たちは新しい学校の建物がとても気に入りました。
 Siz nə vaxt işə başladınız? いつ仕事を始めたのですか？
 Onlar tənəffüsdə siqaret çəkdilər. 彼らは休憩中にたばこを吸った。

過去形の否定形と疑問の形式

否定形は、動詞語幹の後に -mA (-ma, -mə) を付加します。過去形接辞は否定接辞の後に続きます。否定接辞の母音部分、-a/-ə に従って過去形接辞の母音部分も母音調和することに注意しましょう（したがって、結果的には否定接辞のあとの過去形接辞は -dı か -di のいずれかになります）。

	göndərmək 「送る」	öpmək 「キスする」	qalmaq 「滞在する」	oturmaq 「座る」
1 人称単数	göndərmədim	öpmədim	qalmadım	oturmadım
2 人称単数	göndərmədin	öpmədin	qalmadın	oturmadın
3 人称単数	göndərmədi	öpmədi	qalmadı	oturmadı
1 人称複数	göndərmədik	öpmədik	qalmadıq	oturmadıq
2 人称複数	göndərmədiniz	öpmədiniz	qalmadınız	oturmadınız
3 人称複数	göndərmədilər	öpmədilər	qalmadılar	oturmadılar

(例文)

Mən bu gün məktəbə getmədim. 私は今日学校に行かなかった。
 Sən bu gün məktəbə getmədin. 君は今日学校に行かなかった。
 O bu gün məktəbə getmədi. 彼は（彼女は）今日学校に行かなかった。

疑問を表す形式は、動詞現在形のとおりと同じく、動詞に疑問を表す語尾 =mİ を付加するか、あるいは付加せずに最後の母音を伸ばすように発音しながらイントネーションを上げることであらわします。否定疑問形式でも、イントネーションは同様に表示します。

	göndərmək 「送る」	öpmək 「キスする」	qalmaq 「滞在する」	oturmaq 「座る」
1 人称単数	göndərdimmi? göndərdim?	öpdümmü? öpdüm?	qaldımmı? qaldım?	oturduğumu? oturduğum?
2 人称単数	göndərdinmi? göndərdin?	öpdünmü? öpdün?	qaldınımı? qaldın?	oturduğunmu? oturduğun?
3 人称単数	göndərdimi? göndərdi?	öpdümü? öpdü?	qaldımı? qaldı?	oturduğumu? oturdu?
1 人称複数	göndərdikmi? göndərdik?	öpdükmü? öpdük?	qaldıqımı? qaldıq?	oturduğumuzu? oturduğunuz?
2 人称複数	göndərdinizmi? göndərdiniz?	öpdünüzümü? öpdünüz?	qaldınızımı? qaldınız?	oturduğunuzmu? oturduğunuz?
3 人称複数	göndərdilərmi? göndərdilər?	öpdülərmi? öpdülər?	qaldılarımı? qaldılar?	oturduğularımı? oturduğular?

否定疑問の動詞形式は、以下ようになります。

	göndərmək 「送る」	öpmək 「キスする」	qalmaq 「滞在する」	oturmaq 「座る」
1 人称単数	göndərmədimmi? göndərmədim?	öpmədimmi? öpmədim?	qalmadımımı? qalmadım?	oturmadımımı? oturmadım?
2 人称単数	göndərmədinmi? göndərmədin?	öpmədinmi? öpmədin?	qalmadınımı? qalmadın?	oturmadınımı? oturmadın?
3 人称単数	göndərmədimi? göndərmədi?	öpmədimi? öpmədi?	qalmadımı? qalmadı?	oturmadımı? oturmadı?
1 人称複数	göndərmədikmi? göndərmədik?	öpmədikmi? öpmədik?	qalmadıqımı? qalmadıq?	oturmadıqımı? oturmadıq?
2 人称複数	göndərmədinizmi? göndərmədiniz?	öpmədinizmi? öpmədiniz?	qalmadınızımı? qalmadınız?	oturmadınızımı? oturmadınız?
3 人称複数	göndərmədilərmi? göndərmədilər?	öpmədilərmi? öpmədilər?	qalmadıllarımı? qalmadıllar?	oturmadıllarımı? oturmadıllar?

(例文)

Bu gün nə etdiniz? 今日は何をしましたか。

Biz onu düz başa düşmədik.

私たちは彼（のいうこと）を正確に理解しませんでした。

Hər gün qəzet oxuyursunuz dediniz. Bəs bu gün oxudunuz?

毎日、新聞を読んでいると言いましたね。では今日は読みましたか？

Yoruldun? 疲れた？

—Xeyr, yorulmadım. いや、疲れてないよ。

—Bəli, mən çox yoruldum. うん、とても疲れた。

※heç vaxt... と過去形の組み合わせで、「～したことがない」という意味をあらわします。

O heç vaxt yalan danışmayıb. 彼は嘘をついたことはありません。

Mən Azərbaycanlı dostlarımı heç vaxt unutmadım.

私はアゼルバイジャンにいる友人たちを忘れたことはありません。

第 13 課 練習問題

1. 次の動詞の意味を確認し、2 人称単数過去形に書き換えてください。

- (1) qaytarmaq (2) çıxmaq (3) ağılamaq (4) qaçmaq (5) baxmaq
(6) gözləmək (7) ölçmək (8) demək (9) fikirləşmək (10) bişirmək

2. 1. の(1)から(10)までの動詞を使って、3 人称単数否定過去形に書き換えてください。

- (1) qaytarmaq (2) çıxmaq (3) ağılamaq (4) qaçmaq (5) baxmaq
(6) gözləmək (7) ölçmək (8) demək (9) fikirləşmək (10) bişirmək

3. 日本語訳を参考にして、カッコ内の動詞を適切な形に書き換えてください。

- (1) Biz dünən idman zalına (getmək)

私たちは昨日、スポーツサロンに行きました。

- (2) Siz dostlarınızla (görüşmək)?

友達とは会いましたか。

- (3) Bu gün mən kitabxanada dərs (etmək), restoranda yemək (yemək) və televizora (baxmaq).

今日私は図書館で勉強して、レストランでごはんを食べて、テレビを見ました。

4. 日本語訳に注意して、空欄に適切な語を入れてください。

- (1) Mən kitabları evə ().

私は本を家に送りました。

- (2) () düşbərə ().

(私たちは) 昨日デュシュベレ (アゼルバイジャンの料理の一種) を作りました。

- (3) Ülkər dadlı südlü aş ().

ウルケル (人名) は、おいしいミルクピラフを食べました。

- (4) () məktəbə ().

彼らは学校に行きました。

- (5) () masanın üzərində tapdım.

(私は) めがねをテーブルの上で見つけました。

※めがね eynək →めがねを

- (6) Həkim () gözlərini ().

お医者さんは子供の目を検査しました。

※検査する yoxlamaq

(7) Atam () maşın ().

私の父は私に車を買ってくれました。

(8) Birdən arxa..... qardaşımın səsi ().

突然後ろから弟の音がしました。

(9) Gülşənin anası bizə ().

ギュルシェンのお母さんが私たちに呼びかけました。

(10) Onlar stul..... ().

彼らは椅子に座りました。

第 14 課 動詞の完了形

動詞の完了形

第 13 課で学習した動詞の過去形は、出来事が発話時より後に起こったこと、また基本的にはその出来事を話し手が直接経験しているということをあらわします。アゼルバイジャン語には過去についての出来事に言及するもう一つの形式 (-mİş 形式) があり、本書では過去形(-DI 過去形) と区別して、完了形と呼ぶことにします。

完了形は、(i)話し手が直接経験していない過去を表す場合、また(ii)ある出来事が完了して、その状態が発話時に至るといような、完了的な意味を表す場合、(iii)発話しているその時に話し手が気づいたこと、などを表す形式です。動詞語幹に-mİş 接辞 (-mış, -miş, -muş, -müş)を付加してその意味をあらわします。この接辞も、I タイプの母音調和により変化します。

gəl- 「来る」	gəl-miş 「来た；来たらしい」
al- 「もらう」	al-miş 「もらった；もらったらしい」
gör- 「見る」	gör-müş 「見た；見たらしい」
qorx- 「恐れる」	qorx-muş 「恐れた；恐れたらしい」

完了形に用いられる人称語尾は以下のとおりで、動詞現在形などのものと同じタイプです。第 8 課で学習した動詞定過去形の人称語尾のタイプとは違っていることに注意してください。

	単数	複数
1 人称	-Am (-am, -əm)	-IQ (-ıq, -ik, -uq, -ük)
2 人称	-sAn (-san, -sən)	-sİnİz (-sınız, -siniz, -sunuz, -sünüz)
3 人称	-dİr (-dır, -dir, -dur, -dür)	-lAr (-lar, -lər), -dİrlAr

肯定形の例は、以下の表の通りです。

	göndərmək 「送る」	öpmək 「キスする」	qalmaq 「滞在する」	oturmaq 「座る」
1 人称単数	göndərmişəm	öpmüşəm	qalmışam	oturmuşam
2 人称単数	göndərmişsən	öpmüşsən	qalmışsan	oturmuşsan
3 人称単数	göndərmişdir	öpmüşdür	qalmışdır	oturmuşdur
1 人称複数	göndərmişik	öpmüşük	qalmışıq	oturmuşuq
2 人称複数	göndərmişsiniz	öpmüşsünüz	qalmışsınız	oturmuşsunuz
3 人称複数	göndərmişlər göndərmişdirlər	öpmüşlər öpmüşdürlər	qalmışlar qalmışdırlar	oturmuşlar oturmuşdurlar

※2 人称の単数・複数では、完了を表す接辞-mış の最後の子音(ş)が口語・文語ともに脱落する傾向があります。この場合、発音だけでなく綴り上でも ş の部分が抜けます。

göndərmişsən → göndərmisən
qalmışsınız → qalmısınız

否定形は、語幹と完了形接辞の間に-mA(-ma, -mə)接辞を付加します。

	göndərmək 「送る」	öpmək 「キスする」	qalmaq 「滞在する」	oturmaq 「座る」
1 人称単数	göndərməmişəm	öpməmişəm	qalmamışam	oturmamışam
2 人称単数	göndərməmişsən	öpməmişsən	qalmamışsan	oturmamışsan
3 人称単数	göndərməmişdir	öpməmişdir	qalmamışdır	oturmamışdır
1 人称複数	göndərməmişik	öpməmişik	qalmamışıq	oturmamışıq
2 人称複数	göndərməmişsiniz	öpməmişsiniz	qalmamışsınız	oturmamışsınız
3 人称複数	göndərməmişdirlər	öpməmişdirlər	qalmamışdırlar	oturmamışdırlar

疑問文にする場合はこれまでと同様に、疑問の付属語=mI を付加するか、あるいはイントネーションを上げます。

göndərmişsənmi? göndərmişsən? (↗) 「(君は) 送ったのですか」
qalmışdırmı? qalmışdır? (↗) 「(彼/彼女は) 残ったのですか」

görməmişsənmi?	görməmişsən? (↗)	「(君は) 見なかったのですか」
oturmamışlarmı?	oturmamışlar? (↗)	「(彼らは) 座らなかったのですか」

また、「今まで一度も～したことがない」というように、過去の経験がないことを表す時には、完了形の否定形式とともに、heç vaxt という語句を一緒に使います。

(例文)

Mən heç vaxt şahmat oynamamışam.	私はチェスをしたことはありません。
Sən heç vaxt ingilis dilini öyrənməmişən?	君は英語を勉強したことがないの？

Mən Osaka Xarici Dillər Universitetini bitirmişəm.

私は大阪外国語大学を卒業しました。

Siz tətildə harada istirahət etmişiniz?

休暇はどこですごしたのですか。

Xoş gəlmişsiniz. (Xoş gəlmisiniz).

ようこそ (定型表現になっていますが、文法的には完了形が用いられています)

※口語では、2 人称単数・複数形式で-miş の ş の部分が脱落することがあります。

なお、完了を表す接辞には、上記-miş 接辞のほかに-(y)İb 接辞もあります。これらの形式はフォーマルでない文章や口語などで使われますが、2 人称と 3 人称にだけしか使われません。

oturmaq (「座る」) という動詞を例にすると、以下のようになります。

× mən oturubam (こうはなりません!)	×biz oturubuq (こうはなりません!)
○ mən oturmuşam (こうなります)	○ biz oturmuşuq (こうなります)
○ sən oturmuşsan (oturmusan)	○ siz oturmuşsunuz (oturmusunuz)
○ sən oturubsan	○ siz oturubsunuz
○ o oturmuşdur	○ onlar oturmuşlar (oturmuşdurlar)
○ o oturub (oturubdur)	○ onlar oturublar (oturubdurlar)

-(y)İb 形式について、3 人称単数形、複数形では-dİr が付加されることもあります。

(例文)

Hiroyuki yenə birincilik qazanıb.

ヒロユキはまた優勝したらしいです。

A və B söz mübahisəsinə girib.

A と B は、論争に突入した。

Universitetdə beynəlxalq konfrans keçirilib.

大学で国際会議が開催されました。

時刻の表現 (II)

時刻に関する表現で、「6時です」「12時です」のような比較的簡単な表現は、すでに前課までにみてきました。動詞の現在形、完了形の学習に合わせて、より細かい時刻の表現についても学習しましょう。

まず、次のように「～時半」のような、30分ちょうどの時刻を表すときには、次のように、30分後の時刻の数字を属格で標示して、「半」を表す語 *yarı* に所有語尾を付加した形、*yarısı* で属格に対応させます。以下の例を参考にしてください。

Saat neçədir?	今何時ですか。
-Saat dördün yarısıdır.	3時半です。
-Saat yeddinin yarısıdır.	6時半です。

その他の時刻に関する表現として、以下のようなものを覚えておきましょう。

Saat düzdür.	時計はあっています。
Saat səhvdir.	時計（の時間）がまちがっています。
Vaxtınız var?	お時間ありますか。
Vaxtım yoxdur.	（私は）時間がないです。
yarım saat	30分（半時間）

1:15, 5:20 のように、時刻の分の部分が1時間の前半のときは、以下のように表現します。動詞に完了形が使われていることに注目してください。また、時刻のとらえ方についての日本語との感覚の違いにも注意しましょう。

	(次の時刻)	(分)	動詞	<i>işləyib</i> (<i>işləmək</i> 「進む」の完了形)
1: 15	<i>İkiyə</i>	<i>on beş</i>	<i>dəqiqə</i>	<i>işləyib.</i>
	2時に	15	分	進んでいる
	「2時に向かって15分進んでいます (=1時15分です)」			
5: 20	<i>Altıya</i>	<i>iyirmi</i>	<i>dəqiqə</i>	<i>işləyib.</i>
	「6時に向かって20分進んでいます (=5時20分です)」			

また 3:40, 7:50 のように、時刻が1時間の後半（つまり、31分から59分）の分については、以下のように表現します。

	(次の時刻)	(次の時刻までに残った分)	動詞 qalıb または qalır
3: 40	Dördə	iyirmi dəqiqə	qalıb (qalır).
	4時に	20分	残っている
	「4時まであと20分残っています（=3時40分です）」		
7: 50	Səkkizə	on dəqiqə	qalıb (qalır).
	8時に	10分	残っている
	「8時まで10分残っています（=7時50分です）」		

時刻や時間帯を聞き手に尋ねるときの表現も覚えておきましょう。また、午前・午後の区別には、時刻の前に以下のような語を付け加えて表すことができます。

Saat neçədə (...?)	何時
Nə vaxt (...?)	いつ
səhər	朝、午前
gündüz	昼、午後（昼の時間帯）
axşam	夕方、午後（夕方、夜の時間帯）
gecə	夜（深夜の時間帯）

17:45	Axşam saat altıya	on beş dəqiqə	qalıb (qalır).	
	夕方	6時に	15分	残っている
	「18時（夕方6時）まであと15分残っています（=（午後）17時45分です）」			
23:30	Gecə saat on ikinin	yarısıdır.		
	夜	12時の	半分です	
	「夜12時の半分です（=（午後）11時半です）」			

（例文）

—Saat neçədir? —Gündüz saat dördə beş dəqiqə işləyib.

何時ですか。午後3時5分です。

第 14 課 練習問題

1. 次の動詞を、例にならって -miş 完了形 1 人称単数の形式に書き換えてください。

- (1) saxlamaq (2) getmək (3) gülmək (4) aparmaq (5) tapmaq
(6) yaratmaq (7) danışmaq (8) süzmək (9) qızartmaq (10) uçurmaq

※ saxlamaq 「保持する」、tapmaq 「見つける」、yaratmaq 「作り出す」、süzmək 「濾過する」、qızartmaq 「焼く」、uçurmaq 「飛ばす」

2. 次の動詞を、例にならって -(y)ib 完了形 2 人称複数の形式に書き換えてください。動詞の中には否定接辞 -mA が含まれているものもあることに注意しましょう。

- (1) gülmək (2) istəmək (3) görməmək (4) gözləmək (5) sakitləşdirmək
(6) imzalamaq (7) olmamaq (8) oyanmaq (9) qusmaq (10) islanmamaq

※ sakitləşdirmək 「落ち着かせる」、imzalamaq 「サインする；調印する」、qusmaq 「吐く」、islanmaq 「濡れる」

3. カッコ内の動詞を -miş 完了形に書き換えて、アゼルバイジャン語を完成させてください。

- (1) Mən əvvəllər yapon universitetində (oxumaq)
わたしは以前日本の大学で勉強したことがあります。
- (2) Sən nə vaxt Bakıya (gəlmək)?
君、いつバクーに来ていたの。
- (3) Gülnar artıq işdən (qayıtmaq).
ギュルナルはもう仕事から戻っています。
- (4) Biz texnikumu yox, universiteti (bitirmək)
私たちは職業学校ではなくて、大学を卒業しています。

4. カッコ内の時刻を使って時刻を答えてください。

—İndi saat neçədir?

- (1) 5: 30 (2) 8: 15 (3) 10: 30 (4) 12: 00
(5) 13: 25 (6) 15: 37 (7) 20: 43 (8) 23: 59

第 15 課 後置詞と後置詞的表現

名詞が文の中でどのような役割を果たすかを表すものに格語尾がありました。第 10 課からそれらの格語尾について見てきましたが、アゼルバイジャン語にはそれ以外にも独立した語として名詞のすぐ後に置くことで、他の語との関係を表す語があります。本書ではこれを後置詞と呼ぶことにします。

後置詞は限られた数しかありませんが、少ないというわけでもありません。本課では、まず主要な後置詞のうち、いくつか主要なものを学習しましょう。

(1) **görə** 「～によると；～のわりに」

Narahatlığa görə üzr istəyirik. ご迷惑をおかけして申し訳ありません。
Mənə görə yapon dili çətin deyil. 私に言わせれば、日本語は難しくありません。
Yaşınıza görə çox cavan görünürsünüz. 年齢のわりにととても若く見えるよ。

(2) **kimi** 「～のような、～のように；～までに」

Yaponiya Azərbaycan kimi gözəl bir ölkədir.
日本はアゼルバイジャンのように素晴らしい国です。
Həmişəki kimi saat 7-də səhər yeməyini yeyirəm. いつものように 7 時に朝食をとります。
Yoldaşım anası kimi çox tez danışır. 妻は、義母のようにとても早く話します。

(3) **qədər** 「～まで；～くらい」

Bazar gününə qədər işinizi qurtaracaqsınız. 日曜日までに仕事を終わらせなさい。
時間や場所の限界点をあらわします。この時は、その前に来る名詞に方向格語尾がつきます。また、この後置詞の前にある名詞に方向格語尾がつかない場合は同等の比較の対象をあらわします。

Sabah saat doqquza qədər mağaza bağlıdır.
明日 9 時まで、店は閉まっています。

Tokioya qədər təyyarə ilə, Tokiodan Osakaya qədər isə qatar ilə getdik.
東京までは飛行機で、そして東京から大阪までは列車で行きました。

Hədiyyə üçün 200 manata qədər xərclədim.

プレゼントのために 200 マナトまで使いました。

Musa Akira qədər gənc deyil.

ムサ（人名）はアキラほど若くないです。

(4) **üçün** 「～のために」；

この後置詞は、理由や目的をあらわします。

Bilmək üçün oxumaq lazımdır.

知るためには学ばねばならない。

Mənim üçün (mənimçün) çox şirin keks alıblar.

（彼らは）私のためにとっても甘いケーキを買ってくれたようです。

Narahat etdiyimiz üçün üzr istəyirik.

ご迷惑をおかけし、申し訳ございません。

※etdiyimiz は動詞の分詞の形式です。分詞については、第 25 課で学習します。

Yaponiyaya getmək üçün təyyarə biletini almalıyıq.

日本に行くために、飛行機のチケットを買わないといけません。

※動詞の辞書形に後置詞 **üçün** を伴うと、「～するために」という意味を表すことができます。また、動詞の辞書形を否定形にすることで、「～しないために」という意味をあらわします。

oyanmaq üçün 起きるために

məktub yazmaq üçün 手紙を書くために

itdən qorxmamaq üçün 犬を怖がらないために

（例文）

Təyyarəyə minmək üçün bilet lazımdır.

飛行機に乗るためにはチケットが必要です。

Azərbaycan dilini öyrənmək üçün Bakıya gəldim.

アゼルバイジャン語を勉強するためにバクーに来ました。

Şahmatda güclü olmaq üçün nə etmək lazımdır?

チェスが強くなるためには何をする必要がありますか。

(5) **barədə** 「～についての」

この後置詞の前の名詞には何も格語尾を付加しません。ただし、「私について」「君について」などのように、後置詞の直前の語が代名詞の場合は、属格語尾を伴います。

Sənin barədə ailəmlə danışdıq.

君（のこと）について家族と話しました。

Qrammatika barəsində bir şey soruşmaq olar?

文法について一つ質問してもいいですか。

Bu barədə danışmaq istəyirəm.

このことについて話したいです。

(6) **başqa** 「～のほかに」

この後置詞の前の名詞には、奪格語尾を付加します。

Sinifdə səndən başqa kimlər var?

教室には君の他に誰がいるの。

Bundan başqa köynək yoxdur?

これ以外にシャツはないですか。

Dilçilik kitablarından başqa ədəbiyyat kitabları və jurnalları da aldım.

言語学の本のほかに、文学の本や雑誌も買いました。

(7) **bəri** 「～以来」

奪格名詞を伴い、できごとの開始時点をあらわします。

2010-cu ildən bəri Osakaya getməmişəm.

2010 年以来、大阪に行っていません。

İlham yemək yeyəndən bəri dərslər oxuyur.

イルハムはごはんを食べてからずっと勉強しています。

Keçən ildən bəri tennis oynamamışam.

去年以来、テニスはやっていません。

(8) **doğru** 「～にむかって」

方向格名詞を伴い、動作の方向をあらわします。

Evə doğru gedək.

家に向かっていきましょう。

Bu həftənin sonuna doğru Bakıya qayıdacağım.

今週末にかけてバクーに戻ります。

(9) **əvvəl** 「～の前に」

奪格名詞を伴い、あるできごとが、起点となる別のできごとの前に起こることをあらわします。

İyirmi il bundan əvvəl universitet tələbəsi idim.

今から 20 年前は大学生でした。

İki il bundan əvvəl bu qrammatika kitabını yazmağa başladım.

今から 2 年前に、この文法書を書き始めました。

(10) **haqqında** 「～について」

主格名詞を伴い、あるものごとについて関連するできごとをあらわします。

İngilis ədəbiyyatı haqqında kitablar var?

英文学についての本はありますか。

Onun haqqında çox gözəl sözlər eşitmişəm.

彼について、とてもよいこと（評判）を聞いたことがあります。

(11) **qabaq** 「～より前に」

主格名詞を伴い、時間的な先行関係を表すのに用います。

Dörd il qabaq Osakada olmuşam.

4 年前に大阪にいました。

Mən dərsə müəllimdən qabaq gəlmişəm.

私は先生より先に授業に来ました。

(12) **sarı** 「～に向かって」

方向格を伴い、動作の方向を表すのに用います。

Evimə sarı gələ bilərsən?

私の家に向かってこれる？（※動詞の可能形は、第20課でも学習します）

Təcili məktəbə sarı getdim.

私はいそいで学校に向かって行きました。

(13) **sonra** 「～のあとで」

あるできごとが、起点となる別のできごとの後に起こることをあらわします。

Yeməkdən sonra şahmat oynayaq.

食事のあとでチェスをしましょう。

İki saat sonra hər kəs ofisdən çıxdı.

2時間後に、全員オフィスを出た。

Bir müddət keçəndən sonra biz də yola düşdük.

少し時間をおいたあと、私たちも出発した。

(14) **tərəf** 「～に向かって」

この後置詞も前項(8)と同じく、動作の方向をあらわします。

Qaçışçılar məqsədə tərəf qaçdılar.

ランナーたちはゴールに向かって走った。

O tələbə dərstdə həmişə pəncərədən çölə baxır.

あの学生は授業中いつも窓から外を見ている。

(15) **üzrə** 「～にしたがって、～に関して」

この後置詞は主格名詞を伴い、「～によって、～に従って」のように、参照をあらわします。また、「～しているところ」のように、動作が今ちょうど行われていることなどを表すこともできます。

Yaponiyada konstitusiyaya üzrə komissiya yaradıldı.

日本で、憲法にしたがって委員会が組織された。

Ailəm də buraya gəlmək üzrədir.

私の家族もここに向かっていているところです。

また、後置詞に近い性質をもつ、以下の2種の語尾も覚えておきましょう。これまでの後置詞と異なり、分かち書きをせずに前の語にくっつけて表記します。

(16) **-cAn** (-can, -cən) 「～まで」

この語尾は、ある動作や出来事がおよぶ時間や空間の境界を表すのに用いられます。また、この語尾と名詞の前には方向格語尾-A (-a, -ə)を付加します。

Eviməcən on kilometr olar.

私の家まで10キロメートルあります。

(17) **-dək** 「～まで」

この語尾の意味も、上記の-cAn とほぼ同じです。

Dükənımız saat 08:00-dan 20:00-dək açıqdır.

弊店は8時から20時まで開いています。

Xəstəxanayadək dostlarımla birgə getdim.

病院まで友人たちと一緒にいった。

副次的後置詞

属格名詞と所有語尾を伴う位置格名詞あるいは奪格名詞を用いて、「～の上に」「～のそばに」など、ある事物を起点にして位置を表す表現があります。ここでは、主要なものを覚えておきましょう。

axır, son	おわり	axırında/ sonunda	おわりに；最後の方に
alt	下	altında	下に
ara	間	arasında	間に
arxa	うしろ	arxasında	後ろに
bayır/ çöl	外側	bayırında/ çölündə	外側に
iç/ içəri	内側	içində / içərisində	内側に
qabaq	前	qabağında	前に
qarşı	向かい	qarşısında	向かい側に
orta	真ん中、中央	ortasında	真ん中に
ön	前	önündə	前に
üst	上	üstündə	上に

yan 横；そば

yanında

横に；そばに

このほか、位置関係を表す副詞もあります。

aşağıya 下に yuxarıya 上に
içəriyə 中に；内側に çölə 外に

(例文)

İlin axırında doğma şəhərimizə qayıdacağam.

年末には故郷に戻ります。

Stulun altında pişiyim var.

いすの下に私の猫がいます。

Bu şəkildə mən və atamın arasında anam və bacım var.

この写真には、私の父の間に母と妹がいます。

Qutunun içində çox qiymətli daşlar var.

箱の中にとっても高価な宝石があります。

Kitabxananın qarşısında evimiz var.

図書館の向かいに私たちの家があります。

Taksi mehmanxananın yanında dayandı.

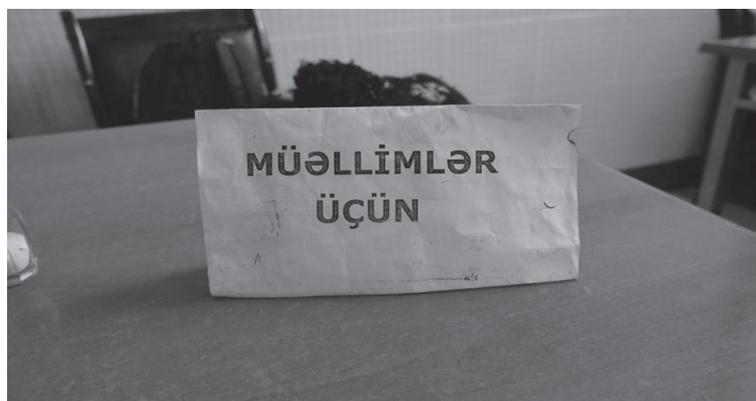
タクシーがホテルのそばに停車した。

Problemləri üç gün içində həll etdik.

わたしたちは（それらの）問題を3日のうちに解決した。

Kərimov harada əyləşdi? -O, Leylanın önündə əyləşdi.

ケリモフはどこに座った？ -彼はレイラの前に座りました。



「教員用」 (座席)

第 15 課 練習問題

1. 次のカッコの中に、適切な後置詞を入れてください。

- (1) Azərbaycan dili () kitablar var?
アゼルバイジャン語についての本はありますか。
- (2) Səndən () kim gəlib?
君のほかに誰が来ていますか。
- (3) Keçən aydan () tez-tez qar yağır.
先月以来、しょっちゅう雪が降っています。
- (4) Hər şeydən () sağlamlığınıza diqqət edin.
なによりもまず、健康に注意してください。
- (5) Beş il () Almaniyaya getmişəm.
5年前にドイツに行きました。
- (6) Oradan Elmlər Akademiyası stansiyasına () gəlin.
そこから、科学アカデミー駅に向かって来てください。

2. 例にならって、空欄に適切な所有語尾を埋めてください。

(例) mən..... arxa.....da 「私の後ろに」 → mənim arxamda

- (1) sən..... yan.....da 君の横(側)に
- (2) o..... ön.....də 彼の前に
- (3) biz..... qarşı.....da 私たちの向かいに
- (4) siz..... arxa.....da あなたの後ろに
- (5) onlar..... ara.....da 彼らの間に

3. 次の日本語を参考にして、アゼルバイジャン語を完成させてください。

(1) 私たちは、なんのために働いているのでしょうか。

(üçün / biz / nə / işləyirik /?)

(2) 私もウゼイル・ハジベヨフ(Üzeyir Hacıbəyov)のようなすばらしい作曲家(bəstəkar)になりたいです。

(bəstəkar / olmaq istəyirəm/ kimi / mən də / Üzeyir Hacıbəyov / gözəl / .)

(3) この電車はイチャリ・シャハル駅("İçərişəhər" stansiyası)まで行きますか。

(gedir / bu qatar / "İçərişəhər" stansiyasına / qədər /?)

コラム：アゼルバイジャン語の定型表現(II)

文法に関する様々な知識と並行して、アゼルバイジャン語の定型的な表現で知っておくと役に立つものは数多くあります。ここでは、相手に祝福・なぐさめの気持ちを表す表現をいくつか覚えておきましょう。

(1) _____ **mübarək olsun.** 「～おめでとう（ございます）」

Ad gününüz mübarək olsun!

お誕生日おめでとう！

Yeni iliniz mübarək olsun.

新年あけましておめでとうございます。

(2) _____ **təbrik edirəm/edirik** 「（～を）祝福いたします」

Qurban Bayramınızı təbrik edirəm.

犠牲祭を祝福いたします。

Novruz Bayramınızı təbrik edirik.

ノウルーズ祭おめでとうございます。

(3) **Xoşbəxt olsunlar!** 「幸せになりますように！」

この表現は、結婚する予定の（または、結婚した）人たちに向けての表現です。

(4) **Nuş olsun!**

食事をこれからする人、または終えた人に向けて使われる表現です。

(5) **Sağlam ol!**

くしゃみをした人に対する表現です。健康でいてください、という意味を含んでいます。

これに対してくしゃみした側は、"Sağ ol."と返答します。

(6) **Sizin sağlığınıza!**

乾杯するときの表現です。

(7) **Maşallah, göz dəyməsin! / Allah pis gözdən saxlasın!** 「すばらしいですね！」

特定の人を賞賛するとき用いる表現です。

(8) **Allah şəfa versin!** 「お大事に！」

（直訳的には「アッラーが癒しを与えてくださいますように」となります）

病気を患った人に対する回復を願う表現です。

(9) **Allah rəhmət eləsin.** 「お悔やみ申し上げます」
(直訳的には「アッラーがお恵みをくださいますように」となります)
人の訃報に接したときに用いる表現です。

第 16 課 動詞の未来形

動詞の未来形

動詞の未来形とは、「発話のときにはまだ行われていないが、将来行われる予定であり、かつ話し手はそれが確実に行われると考えている出来事」を表す形式を指します。

動詞の未来形には、動詞語幹に**-(y)AcAQ (-acaq, -əcək)**のどちらかの接辞を付加します。どちらが付加されるかはこれまでの母音調和のパターンと同様に、動詞語幹の最終母音が何かによって決まります。また、動詞語幹が母音で終わる場合は、動詞語幹と未来形接辞の間に *y* を挿入します。

al- 「買う」 → alacaq (al-**acaq**)
 gör- 「見る」 → görəcək (gör-**əcək**)

上記の例の通り実際の発音・表記ともに、未来形接辞は**-acaq, -əcək** と最後の子音部分がそれぞれ *q, k* と異なっていることに注意しましょう。

未来形に使われる人称語尾は、次の通りです。

	単数	複数
1 人称	-Am (-am, -əm)	-IQ (-ıq, -ik, -uq, -ük)
2 人称	-sAn (-san, -sən)	-sInIz (-sınız, -siniz, -sunuz, -sünüz)
3 人称	(なし)	-lAr (-lar, -lər)

動詞未来形で否定を表す時には、動詞語幹と未来形接辞の間に接辞**-ma, -mə**のうち母音調和に即して適切なほうを付加します。この否定接辞に続く未来形接辞も、否定接辞の母音に合わせて母音調和します。

	gəl- 「来る」	danış- 「話す」	istə- 「望む」	oxu- 「読む」
1 人称単数	gələcəyəm	danışacağıam	istəyəcəyəm	oxuyacağıam
2 人称単数	gələcəksən	danışacağısan	istəyəcəksən	oxuyacağısan
3 人称単数	gələcək	danışacaq	istəyəcək	oxuyacaq
1 人称複数	gələcəyik	danışacağıq	istəyəcəyik	oxuyacağıq

2 人称複数	gələcəksiniz	danışacaqsınız	istəyəcəksiniz	oxuyacaqsınız
3 人称複数	gələcəklər	danışacaqlar	istəyəcəklər	oxuyacaqlar

疑問を表す=ml を付加して疑問文にする場合は、人称語尾のさらに後に付加します。これまでと同様、=ml を付加せずに最後の母音部分を伸ばしながら文末イントネーションを上げて疑問の形にすることもできます。

	gəl- 「来る」	danış- 「話す」	istə- 「望む」	oxu- 「読む」
1 人称単数	gələcəyəmmi? gələcəyəm?	danışacağammı? danışacağam?	istəyəcəyəmmi? istəyəcəyəm?	oxuyacağammı? oxuyacağam?
2 人称単数	gələcəksənmi? gələcəksən?	danışacaqsanmı? danışacaqsan?	istəyəcəksənmi? istəyəcəksən?	oxuyacaqsanmı? oxuyacaqsan?
3 人称単数	gələcəkmi? gələcək?	danışacaqmı? danışacaq?	istəyəcəkmi? istəyəcək?	oxuyacaqmı? oxuyacaq?
1 人称複数	gələcəyikmi? gələcəyik?	danışacağım? danışacağım?	istəyəcəyikmi? istəyəcəyik?	oxuyacağım? oxuyacağım?
2 人称複数	gələcəksinizmi? gələcəksiniz?	danışacaqsınız? danışacaqsınız?	istəyəcəksinizmi? istəyəcəksiniz?	oxuyacaqsınız? oxuyacaqsınız?
3 人称複数	gələcəklərimi? gələcəklər?	danışacaqlarımı? danışacaqlar?	istəyəcəklərimi? istəyəcəklər?	oxuyacaqlarımı? oxuyacaqlar?

否定形は、未来形接辞と語幹の間に、-mA (-ma, -mə)を付加します。その際、未来形接辞は必ず介入子音-y が付加されていることに注意してください。

	gəl- 「来る」	danış- 「話す」	istə- 「望む」	oxu- 「読む」
1 人称単数	gəlməyəcəyəm	danışmayacağam	istəməyəcəyəm	oxumayacağam
2 人称単数	gəlməyəcəksən	danışmayacaqsan	istəməyəcəksən	oxumayacaqsan
3 人称単数	gəlməyəcək	danışmayacaq	istəməyəcək	oxumayacaq
1 人称複数	gəlməycəyik	danışamayacağım	istəməycəyik	oxumayacağım
2 人称複数	gəlməyəcəksiniz	danışmayacaqsınız	istəməyəcəksiniz	oxumayacaqsınız
3 人称複数	gəlməyəcəklər	danışmayacaqlar	istəməyəcəklər	oxumayacaqlar

最後に、否定疑問形も見ておきましょう。動詞語幹に否定接辞、未来接辞、人称語尾の順

番で接辞と語尾を付加していき、疑問を表す mI を付加して否定疑問文の語形になります。
または、=mI を付加せずに文末のイントネーションを上げ、最後の母音を伸ばすように発音することで疑問を表すこともできます。

	gəl- 「来る」	danış- 「話す」	istə- 「望む」	oxu- 「読む」
1 単	gəlməyəcəyəmmi? gəlməyəcəyəm?	danışmayacağammı? danışmayacağam?	istəməyəcəyəmmi? istəməyəcəyəm?	oxumayacağammı? oxumayacağam?
2 単	gəlməyəcəksənmi? gəlməyəcəyən?	danışmayacaqsanmı? danışmayacaqsan?	istəməyəcəksənmi? istəməyəcəksən?	oxumayacaqsanmı? oxumayacaqsan?
3 単	gəlməyəcəkmi? gəlməyəcək?	danışmayacaqmı? danışmayacaq?	istəməyəcəkmi? istəməyəcək?	oxumayacaqmı? oxumayacaq?
1 複	gəlməyəcəyəikmi? gəlməyəcəyəik?	danışmayacağıqmı? danışmayacağıq?	istəməyəcəyəikmi? istəməyəcəyəik?	oxumayacağıqmı? oxumayacağıq?
2 複	gəlməyəcəksinizmi? gəlməyəcəksiniz?	danışmayacaqsınızmı? danışmayacaqsınız?	istəməyəcəksinizmi? istəməyəcəksiniz?	oxumayacaqsınızmı? oxumayacaqsınız?
3 複	gəlməyəcəklərimi? gəlməyəcəklər?	danışmayacaqlarmı? danışmayacaqlar?	istəməyəcəklərimi? istəməyəcəklər?	oxumayacaqlarmı? oxumayacaqlar?

未来形の用法には、聞き手に対する命令のニュアンスを含むものもあります。聞き手に対する文になるので、主語は2人称の単数か複数のどちらかであらわされます。

Sən gecikməyəcəksən.

遅れないように。

Saat 5-də evdə olacaqsınız.

5時には家にいてね。

(例文)

"İçərişəhər" stansiyasında metroya minəcəyəm.

「イチャリシャハル」駅で地下鉄に乗る予定です。

Sabah Əli, Sevil və Səkinə ilə kinoteatra gedəcəyik.

明日アリ、セヴィル、セキネと映画館に行く予定です。

Qatar saat on ikidə vağzala çatacaq.

列車は12時に駅に到着する予定です。

Uşaqlara analar və atalar kömək edəcəklər.

子どもたちを、父母のみなさんが手伝ってくださる予定です。

第 16 課 練習問題

1. 次の動詞を、カッコ内の人称・数に従って-(y)AcAQ 未来形の語形に直してください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| (1) çağırmaq (1 人称単数) | (2) vermək (2 人称単数) |
| (3) əkmək (3 人称単数) | (4) ödəmək (1 人称複数) |
| (5) almaq (2 人称複数) | (6) dayanmaq (3 人称複数) |
| (7) sevilmək (1 人称複数) | (8) tələsmək (2 人称複数) |
| (9) atmaq (1 人称単数) | |

2. 次のアゼルバイジャン語の文を日本語に直してください。

- (1) Sabah məktəbə getməyəcəyik.
- (2) İmtahan saat onda başlayacaq.
- (3) Gələn həftə nə edəcəyik?

3. 以下の過去形の文を、時間を表す副詞の部分と動詞の時制に注意して、確定未来時制を用いた文に書き換えてください。なお、時間を表す表現の部分は、カッコ内の語を使用してください。

(例) Dünən saat yeddidə oyandım. (sabah) → Sabah saat yeddidə oyanacağam.

- (1) Keçən il Almaniyaya getdik. (gələn il)
- (2) Mən 1980-ci ildə universiteti bitirdim. (üç il sonra)
- (3) Keçən həftə universitetdə Əli ilə görüşdüm. (Gələn həftə)
- (4) Sırağagün o restoranda nahar etdik. (ertəsi gün)
- (5) Dünən saat 10-da yatdım. (sabah)

4. 次の日本語を、カッコの中の語彙を参考にして、動詞の未来形を使って表現してください。

- (1) 明日、ともだちと一緒にアブシェロン国立公園(Abşeron Milli Parkı)に行く予定です。
- (2) 来週までに先生に E メールを送り(elektron məktub göndərmək)ます。
- (3) どなたが私たちを手伝ってくれますか(kömək etmək)。
- (4) 明日(sabah)、雨は(yağış) 降らない(yağmaq)でしょう。
- (5) アイスクリーム(dondurma)を食べますか(食べる予定ですか)。

5.日本語を参考にして空欄を埋めて、文を完成させてください。

- (1) A: どのバスに乗る(min-)予定ですか。
Hansı avtobusa ()?
—3番のバスに乗る予定です。
3 nömrəli avtobusa ().
- (2) この会議はいつ終わるでしょうか?
Bu iclas nə vaxt qurtar.....?
- (3) あなたはこの本を気に入るでしょう。
Bu kitab sizin xoşunuz..... gəl.....
- (4) 来週は気温が下がるでしょう。
Gələn () temperatur düş.....
- (5) 明日の朝食のために、パンが必要(lazım)になるでしょう。
Sabah..... səhər yeməyi üçün çörək () ol.....

第 17 課 動詞の中立形

動詞の中立形

アゼルバイジャン語には第 10 課で学習した現在形とは別に、(i) 発話時より後でおそらく起こるであろうと想定される出来事、(ii) 習慣的・普遍的な出来事を表す中立形接辞があります。この接辞は、アゼルバイジャン語の伝統的な文法用語では「不定未来時制」(qeyri-qəti gələcək zaman)接辞とも呼ばれることがあります。本書では「中立形」と呼ぶことにします。

(i)の用法については、聞き手に対する疑問文に使うことで、ていねいな依頼を表すことがあります。また、(ii)については、ことわざや説話、なぞかけなどでよく使われる形式です。これまで見てきたように、この接辞も動詞語幹のすぐ後に付加します。

動詞語幹が母音で終わるときには、中立形接辞は-(y)ar, -(y)ər のどちらかになります。子音で終わる場合は、そのまま-ar, -ər が中立形接辞になります。

oxu-	読む	→	oxuyar
istə-	望む	→	istəyər
al-	手に入れる	→	alar
öyrən-	学ぶ	→	öyrənər

中立形に使われる人称語尾は、次の通りです。

	単数	複数
1 人称	-Am (-am, -əm)	-IQ (-ıq, -ik, -uq, -ük)
2 人称	-sAn (-san, -sən)	-sInIz (-sınız, -sınız, -sunuz, -sünüz)
3 人称	—————	-lAr (-lar, -lər)

下の表で、動詞中立形の人称・数ごとの語形を確認してください。

	ver- 「あげる」	gül- 「笑う」	al- 「得る」	qoru- 「守る、保持する」
--	---------------	--------------	-------------	--------------------

1 人称単数	verərəm	gülərəm	alaram	qoruyaram
2 人称単数	verərsən	gülərsən	alarsan	qoruyarsan
3 人称単数	verər	gülər	alar	qoruyar
1 人称複数	verərik	gülərik	alarıq	qoruyarıq
2 人称複数	verərsiniz	gülərsiniz	alarsınız	qoruyarsınız
3 人称複数	verərlər	gülərlər	alarlar	qoruyarlar

((i)の用法)

Mən Yaponiyaya gedərəm.

私は（おそらく）日本に行きます。

İnşallah gələn il Almaniyadakı kafedralları ziyarət edərik.

願わくば、来年ドイツの大聖堂を訪問しましょう。

Bizi gözləyərsiniz?

私たちを待ってくれますか。

Kitabın otuz ikinci səhifəsini açarsınız və oradakı mətnləri oxuyarsınız.

本の 32 ページを開いて、そこにある文章を読んでください。

(※中立形を用いて、聞き手に対する命令を表す用法もあります)

この用法に関連して、確信の度合いを表す副詞もあわせて学習しておきましょう。

inşallah おそらく

bəlkə たぶん

əlbəttə きっと、必ず

((ii)の用法)

Dost sirrini dosta deyər.

(諺) 親友は秘密を親友に打ち明けるものだ。

Günəş şərqdən çıxar, qərbdə batar.

太陽は東からのぼり、西へ沈む。

諺の他に、以下のようななぞかけにも使われます。

Əzəli dörd ayaqlı,	最初は4つの足、
Sonra iki ayaqlı,	そのあと2つの足、
Aylar keçər, illər keçər,	月が経ち、年が経ち、

Dolanar üç ayaqlı.

歩き回るよ、3つの足で。

※ 動詞の辞書形-mAQ (-maq, -mək)に続いて olmaq が中立形で用いられる時(olar)は、「～が可能である」という、(状況的に)可能であるという意味をあらわします。

Burada siqaret çəkmək **olar**?

ここでたばこを吸うことは可能ですか。

Metro ilə Yaponiya səfirliyinə getmək **olar**?

地下鉄で日本大使館に行けますか。

中立形の否定形

中立形の否定を表す接辞形式は、人称ごとに異なることに注意しましょう。

1人称のときには、動詞語幹に否定接辞-mをまず付加し、その後に Ar (-ar, -ər)接辞を付加します。それ以外、つまり2人称・3人称のときには、動詞語幹に-mAz (-maz, -məz)接辞を付加します。その後に付加される人称語尾のタイプは、中立形で共通しています。

	ver- 「あげる」	gül- 「笑う」	al- 「得る」	qorx- 「怖がる」
1人称単数	verməyəm	gülməyəm	almayam	qorxmayam
2人称単数	verməzsən	gülməzsən	almazsan	qorxmazsan
3人称単数	verməz	gülməz	almaz	qorxmaz
1人称複数	vermərik	gülmərik	almarıq	qorxmarıq
2人称複数	verməsiniz	gülməsiniz	almazsınız	qorxmazsınız
3人称複数	verməzlər	gülməzlər	almazlar	qorxmazlar

(例文)

Dağ dağa qovuşmaz, insan insana qovuşar.

(諺) 山は山にめぐり合うことはないが、人は人にめぐり合うものである。

Meşəyə girən ayıdan qorxmaz.

(諺) 林に入るものは熊を恐れない。

Əlbəttə, müəllim dərsə gecikməz.

ぜったいに先生は授業に遅れません。

また、これまでに見てきた動詞形式と同じく、中立形の諾否疑問文は動詞形式の最後に疑問を表す mI 語尾を付加するか、または実際の発音でイントネーションを上げてあらわします。

Mənə qəhvə gətirərsiniz? (gətirərsinizmi?)

コーヒーをもってきてくださいますか。

Bir az ucuz verərsiniz? (verərsinizmi?)

少し安くしてくれますか。

Zəhmət olmasa, mənə elektron məktub göndərərsən?

私に E メールを送ってくれる?

中立形の否定疑問文による表現もあります。この場合も、否定形のあとに疑問を表す mI を付加するか、または mI を使わずに文末のイントネーションを上げて表現します。

Gələn ay Bakıda Əzizəylə görüşməzsən?

来月、バクーでアジザと会ってくれませんか?

Deməzsəniz saat neçədir?

(今) 何時か教えてくださいませんか。

第 17 課 練習問題

1. 次の動詞を、例にならって中立形 1 人称単数形に書き換えてください。

(例) gəlmək → gələrəm

(1) oyanmaq (2) dincəlmək (3) qurtarmaq (4) eşitmək (5) baxmaq

.....
.....

(6) öyrətmək (7) aparmaq (8) istirahət etmək (9) başlamaq (10) dəyişmək

.....
.....

2. 次の動詞を、例にならって中立形否定形 1 人称複数形に書き換えてください。

(例) gəlmək → gəlmərik

(1) basmaq (2) içmək (3) qaytarmaq (4) göstərmək (5) yumaq

.....
.....

(6) fikirləşmək (7) dırmanmaq (8) geyinmək (9) çəkmək (10) olmaq

.....
.....

3. 以下のカッコ内の動詞を、適切な動詞中立形に書き換えてください。

(1) Mən onlara kömək (et-).

(2) Sən uşaqlara topu (ver-)?

(3) İmran axşama qədər (gəl-).

(4) Biz saat ikiyə qədər poçta (get-).

(5) Siz bu dərmanı gündə 3 dəfə (iç-).

(6) Bəlkə də sabah yağış (yağ-).

4. アゼルバイジャン語を見て、日本語の空欄に適切な語を埋めて完成させてください。

(1) Dost yaman gündə tanınar. (tanınmaq 「明らかになる」)

友人は辛い日に () 。

(2) Mənə elektron məktub yazarsınız?

私に E メールを () 。

(3) Ofisiant, bir şüşə daha pivə verə bilərsiniz?

ウェイターさん、() をもう 1 本 () 。

(4) Deməzsiniz Qız Qalası haradadır?

『乙女の塔』(Qız Qalası)はどこか () 。

(5) Çantamdakı pul kisəsini mənə verə bilərsən?

かばんの中にある財布を私に ()

5. 日本語を参考にして、アゼルバイジャン語を完成させてください。

(1) 私にお手伝いをなさってくださいませんか?

Mənə () ()? (kömək etmək = 「手伝う」)

(2) (私たち)、来年、アゼルバイジャンか日本で会えるといいですね。

İnşallah gələn il Azərbaycan ya da Yaponiyada () .

(3) ニジヤト先生はおそらく明日大学に来るでしょう。

Nicat müəllim () də sabah universitetə () .

(4) ここでたばこを吸ってもいいですか。-いいえ、だめです。

Burada siqaret () ()? -Xeyr, () .

(5) バクーからナヒチェヴァンへはバスで行くことができます。

Bakıdan Naxçıvana avtobusla () () .

第 18 課 動詞の義務形と義務を表す表現

動詞の義務形 (feilin vacib şəkli)

「～しなければならない」のように、動詞で表される動作や状態が義務的であることを表すときには、動詞語幹に **-malı, -məli** という接辞を付加します。必要に応じて、さらに人称を表す語尾を付加します。

danış- 話す danış +malı 話さなければならない
gör- 見る gör +məli 見なければならない

これらのような動詞のかたちを、動詞の義務形 (feilin vacib şəkli) と呼ぶことにします。「～しなければならない」という意味を表すには、**lazım, vacib** といった述語を使う文もこれまでみてきましたが、それらと類似した意味をこの動詞形式で表すことができます。動詞語幹に付加される各接辞の順番は、以下の通りです。

動詞語幹 + (否定接辞 **-mƏ**) + 義務形接辞 **-mAlI** + 人称語尾

人称語尾のタイプは、以下の通りです。

	単数	複数
1 人称	-Am (-am, -əm)	-IQ (-ıq, -ik, -uq, -ük)
2 人称	-sAn (-san, -sən)	-sİnİz (-sınız, -siniz, -sunuz, -sünüz)
3 人称	-dİr	-dİrlAr (-lar, -lər)

	eşit- 「聞く」	üz- 「泳ぐ」	dırmaş- 「登る」	yu- 「洗う」
1 人称単数	eşitməliyəm	üzməliyəm	dırmaşmalıyam	yumalıyam
2 人称単数	eşitməlisən	üzməlisən	dırmaşmalısən	yumalısən
3 人称単数	eşitməlidir	üzməlidir	dırmaşmalıdır	yumalıdır
1 人称複数	eşitməliyik	üzməliyik	dırmaşmalıyıq	yumalıyıq
2 人称複数	eşitməlisiniz	üzməlisiniz	dırmaşmalısınız	yumalısınız

3 人称複数	eşitməlidirlər	üzməlidirlər	dırmaşmalıdırlar	yumalıdırlar
--------	----------------	--------------	------------------	--------------

Mən getməliyəm. 私は行かなければなりません。
 Sabah saat beşdə oyanmalısən. 明日は朝 5 時に起きなければいけないよ。
 Müəllim hər gün məktəbdə dərs keçməlidir. 先生は毎日学校で授業をしなければなりません。
 Metroya minmək üçün bilet almalıyıq. 地下鉄に乗るために、切符を買わなければなりません。
 Dərhal xəstəxanaya getməlisiniz. すぐに病院にいかなければなりませんよ。
 Tələbələr gələn həftəyə qədər məruzə yazmalıdırlar. 学生たちは来週までにレポートを書かなければなりません。

否定形にする場合は、やはり動詞語幹と義務形接辞の間に、否定接辞-mA (-ma, -mə)を入れます。この形式は、「～するべきではない、～しないほうがよい」という意味を表します。「～してはいけない」の意味を表す場合は、動詞語幹を不定形にして、olmaz を後続させて表すなど、別の形式を用いることになります。

Burada siqaret çəkmək olar? ここでたばこを吸ってもいいですか。
 Burada siqaret çəkmək olmaz. ここでたばこを吸ってはいけません。

	eşit- 「聞く」	üz- 「泳ぐ」	dırmaş- 「登る」	yu- 「洗う」
1 人称単数	eşitməməliyəm	üzməməliyəm	dırmaşmamalıyam	yumamalıyam
2 人称単数	eşitməməlisən	üzməməlisən	dırmaşmamalısan	yumamalısan
3 人称単数	eşitməməlidir	üzməməlidir	dırmaşmamalıdır	yumamalıdır
1 人称複数	eşitməməliyik	üzməməliyik	dırmaşmamalıyıq	yumamalıyıq
2 人称複数	eşitməməlisiniz	üzməməlisiniz	dırmaşmamalısınız	yumamalısınız
3 人称複数	eşitməməlidirlər	üzməməlidirlər	dırmaşmamalıdırlar	yumamalıdırlar

諾否疑問の形式にする場合は、他の動詞形式と同様に=mI 接辞を述語形式の最後に付加するか、述語部分のイントネーションを上げます。

oxumalıyammi? oxumalıyam? 「(私は) 読まないといけませんか」
 getməlisənmi? getməlisən? 「(君は) 行かないといけませんか」

Sən bu axşam nə etməlisən?

(君は) 今晚、何をしなければならぬの。

Mən bu gün ailəm üçün yemək bişirməliyəm.

僕は、今日家族にごはんを作らないといけないんだ。

Azərbaycan dilini yaxşı öyrənmək üçün nələrə fikir verməliyik?

アゼルバイジャン語をよく学ぶために、何に気をつけなければいけないですか。

Kitabları yaxşı oxumalı və müəllimlərə çox sual verməlisiniz.

本を読み、そして先生たちにたくさん質問をしなければなりません。

動詞の必要形(feilin lazım şəkli) : -(y)AsI 形式「～が必要である」

前項の-mAll 接辞を使う動詞形式に関連して、「必要である」「当然…する」といった意味を表す形式があります。その場合は以下に示すように、動詞の語幹に-(y)AsI (-ası, -əsi) を用います。なお動詞語幹が母音で終わるときは、y を介入させます。

動詞語幹 + -(y)AsI 接辞 (「～する必要がある、当然…する」) + 人称語尾

	almaq	göndərmək	oxumaq	görmək
	「もらう」	「送る」	「読む」	「見る」
(mən)	alasıyam	göndərəsiyəm	oxuyasıyam	görəsiyəm
(sən)	alasısan	göndərəsisən	oxuyasısan	görəsisən
(o)	alasıdır	göndərəsidir	oxuyasıdır	görəsidir
(biz)	alasıyıq	göndərəsiyik	oxuyasıyıq	görəsiyik
(siz)	alasısınız	göndərəsisiniz	oxuyasısınız	görəsisiniz
(onlar)	alasıdırlar	göndərəsidirlər	oxuyasıdırlar	görəsidirlər

(例文)

Sabah da universitetdə dərs deyəsiyəm.

私は明日も大学で(当然)授業をする。

25 noyabra qədər bu sənədi Yaponiyaya göndərəsisiniz.

(君は) 11月25日までにこの文書を日本に送る必要があります。

過去について言及する場合には、過去の付属語 *idi* を用いて表します。

	<i>almaq</i>		<i>göndərmək</i>	
	「もらう」		「送る」	
(<i>mən</i>)	<i>alası idim</i> /	<i>alasıydım</i>	<i>göndərəsi idim</i> /	<i>göndərəsiydim</i>
(<i>sən</i>)	<i>alası idin</i> /	<i>alasıydın</i>	<i>göndərəsi idin</i> /	<i>göndərəsisiydin</i>
(<i>o</i>)	<i>alası idi</i> /	<i>alasıydı</i>	<i>göndərəsi idi</i> /	<i>göndərəsiydi</i>
(<i>biz</i>)	<i>alası idik</i> /	<i>alasıydıq</i>	<i>göndərəsi idik</i> /	<i>göndərəsiydik</i>
(<i>siz</i>)	<i>alası idiniz</i> /	<i>alasıydınız</i>	<i>göndərəsi idiniz</i> /	<i>göndərəsiydiniz</i>
(<i>onlar</i>)	<i>alası idi</i> /	<i>alasıydı</i>	<i>göndərəsi idi</i> /	<i>göndərəsiydi</i>
	(<i>alası idilər</i>) /	(<i>alasıydılar</i>)	(<i>göndərəsi idilər</i>)/	(<i>göndərəsiydilər</i>)

この形式で否定文にするときは、否定語 *deyil* を用います。その際、人称語尾は *deyil* のほかに付加されることに注意しましょう。

Onun bu məsələyə aidiyyəti yoxdur, gələsi deyildir.

彼はこの問題には関係がないので、来る必要はありません。

O, evlidir, yoxsa subaydır, biz biləsi deyilik.

彼女が既婚者かそれとも独身か、私たちは知らなくてもよいです。

この他に、*gərək*（「～なければならない」）という語を伴って、動詞の希求形（第 21 課）とともに義務的な意味を表す用法があります。

「～が必要だ」の表現

アゼルバイジャン語で「（名詞）が必要です」という表現をする際には、以下の形容詞述語を述語とする方法があります。

lazım 「～が必要だ、～しなければならない」

vacib 「～が重要だ、（急いで）～するべきである」

いずれも類義の述語と言えますが、*vacib* は *lazım* と少しニュアンスが異なることに注意

しましょう。また、いずれも形容詞述語なので、文の述語にする際には-dIr 語尾を付加します。

これらの述語は名詞や動名詞と一緒に文に現れて、それらの事物や動作が必要であることをあらわします。この時、名詞や動名詞が文の主格になり、必要とする人物や事物には方向格語尾(-(y)A)が付加されます。以下の例を見て、格語尾を確認してください。

Mənə özbək dili kitabı lazımdır. 私（に）はウズベク語の本が必要です。

Plov bişirmək üçün nə lazımdır? ピラフを作るためには何が必要ですか。

Bizim indi gətməyimiz vacibdir. 私たち、もう行かなければなりません。

O pul Takeşiyə lazımdır. あのお金はタケシに必要です。

否定文は、述語の後に否定語 deyil を付加します。

Mənə bu pul lazım deyil. 私にこのお金は必要ではありません。

Məktəbdə oyuncaq lazım deyil. 学校ではおもちゃは必要ありません。

Yemək yediyin zaman televizora baxmaq vacib deyil. 食事中にテレビを見る必要はありません。

第 18 課 練習問題

1. 次の動詞の意味を確認し、カッコ内の人称・数に合う義務形を書いてください。

(例) getmək (1 人称単数) → 「行く」 ; getməliyəm

- | | | | |
|----------------|----------|-----------------|----------|
| (1) hazırlamaq | (1 人称単数) | (2) danışmaq | (2 人称単数) |
| (3) başlamaq | (3 人称単数) | (4) oyanmaq | (1 人称複数) |
| (5) susmaq | (2 人称複数) | (6) izləmək | (3 人称複数) |
| (7) işləmək | (1 人称単数) | (8) davam etmək | (3 人称単数) |

2. 次のアゼルバイジャン語を日本語に訳してください。

- (1) Mən çoxlu işləməliyəm.
- (2) Artıq baqaja görə nə qədər ödəməliyəm?
- (3) Xətti hansı stansiyada dəyişməliyik?
- (4) Azərbaycan dilini yaxşı öyrənmək üçün çoxlu kitab oxumalıyıq.

※çoxlu たくさん、artıq 余分な、baqaj 荷物、nə qədər どれくらい、xətt 路線 dəyişmək 変える、変更する

3. 日本語を参考にして、アゼルバイジャン語を完成させてください。

- (1) Sizdən üzr istəyirəm, mən
申し訳ありません、私は行かないといけません。
- (2) qədər bu işi
(私たち) 明日までにこの仕事を終わらせないといけません。
- (3) Pişik də hər gün yemək
ねこも毎日ごはんを食べなければならないのです。

4. 以下の語または語句を使い、必要に応じて格語尾や時制・人称語尾などを書き加えて適切な文を完成させてください。

(例) görmək Qız qalası mütləq Bakı

→ Bakıda mütləq Qız qalasını görməlisiniz.

- (1) (mən / gözləmək / burada / dəqiqə / beş)
- (2) (sinif / yeməmək / yemək)
- (3) (çox / biz / çalışmaq)
- (4) (Azərbaycan / iki / qalmaq / il / iş / üçün)

第 19 課 動詞の命令形

動詞の命令形

「起きろ」「仕事しろ」のような命令を表すときは、命令形(*əmr şəkli*)という形を用います。命令形には、上記のように聞き手に対する命令を 2 人称命令形で表すほかに、1 人称、3 人称のものもあります。これらは話し手の要求、要望、助言などを表すのに用いられます。

人称・数	動詞語幹	命令形接辞	具体例
1 人称単数	əyləş-	-Im (-ım, -im, -um, -üm)	Mən əyləşim. 「(私) 座りましょう」
2 人称単数	al-	(なし)	Sən al. 「(君) 受け取りなさい」
3 人称単数	göstər-	-sIn (-sın, -sin, -sun, -sün)	O göstərsin. 「(彼・彼女が) 見せるといい」
1 人称複数	get-	-AQ (-aq, -ək)	Biz gedək. 「(私たち) 行きましょう」
2 人称複数	oxu-	-(y)In (-(y)ın, -(y)in, -(y)un, -(y)ün)	Siz oxuyun. 「(君たちが・あなたが) 読んでください」
3 人称複数	bişir-	-sInlAr (-sınlar, -sınlər, -sunlar, -sünlər)	Onlar bişirsınlər. 「(彼らが) 料理するといい」

(例文)

Olar gəlim?

(そちらに) 行ってもいいですか？

Qoyun bir az istirahət edim.

少し休ませてください。

(注：Qóyun のように、ここでは最初の o にアクセントが付与されます)

Şəkil haqqında danış.

絵について話しなさい。

Ana, mənə alma al.

お母さん、(私に) リンゴを買って。

Bir az asta danışın, zəhmət olmasa.

どうか、少しゆっくり話してください。

Əyləşin, zəhmət olmasa.

どうぞ、お座りください。

また、日常的によく使われる表現でも、文法的には命令形となっているものが多くあります。

Bağışlayın.	すみません。（謝罪、または呼びかける時の表現）
Gecəniz xeyirə qalsın.	おやすみなさい。
Buyurun.	どういたしまして（お礼を言われた時の返事として）

聞き手に禁止（「～するな」の意味で）の意図を伝える場合は、命令形の否定形であらわします。否定接辞は-mA (-ma, -mə)で、直前の母音のタイプに従って母音調和します。以下の表で、命令・否定形を確認してみましょう。

人称・数	動詞 語幹	否定接辞	命令形接辞	具体例
1 人称単数	əyləş-	mə-	-İm (-ım, -im, -um, -üm)	Mən əyləşməyim. 「（私）座りません」
2 人称単数	al-	ma-	（なし）	Sən alma. 「（君）受け取らないで」
3 人称単数	göstər -	mə-	-sİn (-sın, -sin, -sun, -sün)	O göstərməsin. 「（彼・彼女が）見せないでほしい」
1 人称複数	get-	mə-	-AQ (-aq, -ək)	Biz getməyək. 「（私たち）行かないようにします」
2 人称複数	oxu-	ma-	-(y)İn (-(y)ın, -(y)in, -(y)un, -(y)ün)	Siz oxumayın. 「（君たちは・あなたは）読まないでください」
3 人称複数	bişir-	mə-	-sİnlAr (-sınlar, -sinlər, -sunlar, -sünlər)	Onlar bişirməsinlər. 「（彼らが）料理しないでほしい」

(例文)

Tələt, məni itələmə. テレト (人名)、私を押さないで。
Səs salma. Uşaqlar yatır. 声を出さないで。子どもたちが寝ているから。
Ağıllı düşməndən qorxma, dəli dostdan qorx.
賢い敵を恐れるな、愚かな友を恐れよ。(諺)

動詞の命令形に関連して、アゼルバイジャン語を使用する際に用いられる定型表現をいくつか学習しておきましょう。なお、日本語訳を便宜上あててはいますが、実際には日本語の使用場面とは異なるところで使われるなど、きまった場面で使用される表現です。表現を覚えると同時に、アゼルバイジャン語の文化背景も学習していきましょう。

Sağlıqla geyin! (新しい衣服を買った人への表現)
Mübarək olsun! おめでとうございます！(他人を祝福する表現)
Sağlam ol! お大事に！(くしゃみをした人への表現)
Nuş olsun! めしあがれ(食事をする人への表現)
Allah bağışlasın! 神様が許してくださいように(失敗したひとへのなぐさめ)
Allah şəfa versin! お大事に(病気になった人へのお見舞いの表現)
Allah rəhmət eləsin. お悔やみ申し上げます
 (ある人が亡くなったのを聞いたときの表現)
Axır qəminiz olsun! 最後の悲しみでありますように
 (病気の友人や知り合いへのお見舞いの表現)

第 19 課 練習問題

1. 以下の動詞を、2 人称単数命令形に書き換えてください。

- | | | | |
|---------------|---------------|------------|-------------|
| (1) başlamaq | (2) kəsmək | (3) içmək | (4) vermək |
| (5) gizlətmək | (6) yandırmaq | (7) qoymaq | (8) qalxmaq |
| (9) cırmaq | (10) ağlamaq | | |

2. 以下の動詞を、2 人称単数否定命令形に書き換えてください。

- | | | | |
|--------------|------------|------------|--------------|
| (1) örtmək | (2) üzmək | (3) görmək | (4) eşitmək |
| (5) itirmək | (6) asmaq | (7) almaq | (8) soyutmaq |
| (9) saxlamaq | (10) öymək | | |

3. 次のアゼルバイジャン語を日本語に直してください。

- (1) Bağışlayın, burada siqaret çəkməyin.
- (2) Zəhmət olmasa, kağıza adınız və soyadınızı yazın.
- (3) İcazə verin özümü sizə təqdim edim.
- (4) Diskussiyalardan qaçma.

4. 日本語を参考に、アゼルバイジャン語を完成させてください。

- (1) Yolda ehtiyatlı və diqqətli
道中は用心して、注意しなさい。
- (2) Ofisiant, zəhmət olmasa, bir ədəd qaşığıq
給仕さん、スプーンを 1 セットもってきてください。
- (3) Dildə yox, işdə özünü
(諺) 言葉ではなくて、実行することで自らを示しなさい。
- (4) Məni şəhərin mərkəzinə
市街中心地まで（私を）送ってください。

第 20 課 動詞の可能形と可能表現

動詞による可能表現：助動詞 **bilmək**

アゼルバイジャン語で「～できる」「～れる（られる）」のような、動作が可能であることを表すときには、動詞語幹にまず-A(-a, -ə)を付加したあと、別の動詞（助動詞）**bilmək**を使用します。

基本的には、動作主がその行為ができることを表す表現ですが、それ以外にも状況的に可能であることや、話し手からの動作の許可、話し手が想定している動詞で表される出来事の可能性を表すこともあります。

動詞語幹 + -(y) A + bil + (否定接辞) + 時制接辞 + 人称語尾

gəlmək	「来る」	gələ bilmək	「来られる」
yazmaq	「書く」	yaza bilmək	「書ける」
dəyişdirmək	「替える」	dəyişdirə bilmək	「替えられる」
oturmaq	「座る」	otura bilmək	「座れる」

注意事項としては、時制・相接辞や人称語尾を本動詞のほうではなく、助動詞である **bilmək** に付加すること、人称語尾のタイプはこれまで学習したように時制・相接辞のタイプに従って変化すること、また助動詞部分を表記上本動詞と分かち書きすること、といったことがあります。

Mən yapon və özbək dillərində danışa bilirəm.

私は日本語とウズベク語を話せます。

Sən hava limanında məni gözləyə bilərsən?

（君、）空港で私を待ってもらえる？

Ləman piano çala bilir.

レマン（人名）はピアノがひけます。

Biz sənə görə köməklik edə bilərik.

私たちは君のために手助けできますよ。

Otaqdakı qəhvəyi zərfi tapa bilərsiniz?

部屋にある茶色い封筒を見つけてくれませんか。

助動詞 *bilmək* に付加される時制接辞について、*gəlmək* 「来る」を例に確認しておきましょう。なお、以下の各形式の和訳は一例であり、文脈によってこれまで学習したようにいくつか異なる解釈になることに気をつけて下さい。

(Mən) <i>gələ bilirəm</i> (可能・現在形)	「(私は) 来られます」
(Mən) <i>gələ bildim</i> (可能・過去形)	「(私は) 来られました」
(Mən) <i>gələ bilmişəm</i> (可能・完了形)	「(私は) 来られています」
(Mən) <i>gələ biləcəyəm</i> (可能・未来形)	「(私は) 来られるでしょう」
(Mən) <i>gələ bilərəm</i> (可能・中立形)	「(私は) 来られます」

また、否定文は助動詞 *bilmək* を否定の形にすることであらわします。

<i>gəlmək</i>	「来る」	<i>gələ bilməmək</i>	「来られない」
<i>yazmaq</i>	「書く」	<i>yaza bilməmək</i>	「書けない」
<i>dəyiştirmək</i>	「替える」	<i>dəyiştirə bilməmək</i>	「替えられない」
<i>oturmaq</i>	「座る」	<i>otura bilməmək</i>	「座れない」

否定接辞が含まれ、否定形となった場合でもそのあとに各種時制・相接辞、また人称語尾が続きます。以下の各形式を、これまで学習した動詞形式と照らし合わせながら確認しましょう。

(Mən) <i>gələ bilmirəm</i> (可能・現在形)	「(私は) 来られません」
(Mən) <i>gələ bilmədim</i> (可能・過去形)	「(私は) 来られませんでした」
(Mən) <i>gələ bilməmişəm</i> (可能・完了形)	「(私は) 来られませんでした」
(Mən) <i>gələ bilməyəcəyəm</i> (可能・未来形)	「(私は) 来られないでしょう」
(Mən) <i>gələ bilmərəm</i> (可能・中立形)	「(私は) 来られないです」

つまり、可能形では本動詞のほうではなく、助動詞 *bilmək* (「～できる」) が時制・相などに応じて語形変化し、さまざまな語尾を伴っていると考えられます。

(例文)

Ogünkü xəbəri unuda bilmirəm.

その日のニュースを忘れることができません。

Biz Əlini tanıya bilmədik.

私たちはアリだとわかりませんでした。

Müəllim uşaqların suallarına cavab verə bilmədi.

先生は子どもたちの質問に返事ができませんでした。

疑問文は、本動詞ではなく助動詞 *bilmək* のほうに疑問を表す *mI* を付加するか、または文末のイントネーションをあげることであらわします。

Bu şalvarı geyinib baxa bilərəm?

このズボンをはいてみることはできますか。

Harada pul dəyişə bilərik?

(私たち、) どこでお金を両替できますか。

Nə vaxt Azərbaycana gedə bilərsən?

(君、) いつアゼルバイジャンに行くことができるの。

なお否定疑問文も、否定接辞と文末の表現を用いて表すことができます。

Nə üçün bəs maaş ala bilmirəm?

私はなぜ十分な給料をもらえないのだろうか。

Kitabxanadan Azərbaycan dili kitabını götürə bilmədinizmi?

図書館でアゼルバイジャン語の本を借りられなかったのですか。

第 20 課 練習問題

1. 以下の動詞と助動詞 *bilmək* を組み合わせて、可能形にしてください。なお、助動詞部分は辞書形(*bilmək*)のまま残してください。

(例) *baxmaq* → *baxa bilmək*

- | | | | |
|----------------------|------------------------|----------------------|-------------------|
| (1) <i>söndürmək</i> | (2) <i>kömək etmək</i> | (3) <i>göstərmək</i> | (4) <i>çıxmaq</i> |
| (5) <i>çıxarmaq</i> | (6) <i>açmaq</i> | (7) <i>bağlamaq</i> | (8) <i>satmaq</i> |
| (9) <i>qoymaq</i> | (10) <i>içmək</i> | | |

2. 以下の文を、例にならって助動詞 *bilmək* を使った文に書き換えてください。

(例) *Mən yaponca danışırım. Mən yaponca danışa bilirəm.*

- (1) *Erkən oyandım.*
- (2) *Fəridin ad günü üçün tort alarsınız?*
- (3) *Şahmat oynamırıq.*
- (4) *Yapon dilində qəzet oxumuram.*
- (5) *Qatar ilə Gəncəyə gedirsiniz.*

3. 次のアゼルバイジャン語を日本語に訳してください。

- (1) *Təəssüf ki, sənə kömək edə bilmirəm.*

-
- (2) *Bu səhər evdə eynəyimi tapa bilmədim.*

-
- (3) *Keçən həftə heç işləyə bilmədiniz.*

4. カッコ内に適切な語句を書き入れて、文を完成させてください。

- (1) *Sabah erkən məktəbə () ().*

(私) 明日ははやく学校に行けるでしょう。

- (2) *Zəhmət olmasa, o pəncərəni aç ()?*

すみませんが、あの窓を開けていただけますか。

- (3) *Takeşi artıq azərbaycanca mahnı () bilir.*

タケシはもうアゼルバイジャン語の歌を歌うことができます。

第 21 課 動詞の希求形

希求形の語形

ある動作をすることを望んでいる、また発話時より後に行う意思があるという意味を表す形式を、本書では希求形(arzu şəkli)と呼ぶことにします。「～したい」「～することになる」など、動作や状態が現実となることが望まれているという意味をあらわします。具体的には、動詞語幹に希求の意味を表す(y)A (-a, -ə, -ya, -yə)を付加します。

人称・数	動詞語幹	希求形接辞	人称語尾	例
Mən	al	a	m	(Mən) alam
Sən	görüş	ə	sən	(Sən) görüşəsən
O	yaz	a	(なし)	(O) yaza
Biz	ödə	yə	k	(Biz) ödəyək
Siz	oyan	a	sınız	(Siz) oyanasınız
Onlar	qal	a	(lar)	(Onlar) qala / qalalar

almaq	取る	al + a	ala
görüş-	会う	görüş + ə	görüşə
arzulamaq	願う	arzula + ya	arzulaya
ödəmək	払う	ödə + yə	ödəyə

まとめると、動詞の希求形は以下のように表すことができます。

動詞語幹 + (否定接辞 -mA) + 希求形接辞 -(y)A + 人称語尾

希求形の人称語尾のタイプは、以下の通りです。

	単数	複数
1 人称	-m	-Q (-k, -q)
2 人称	-sAn (-san, -sən)	-sInIz (-sınız, -sınız)

3 人称	(なし)	なし (複数形接辞は-lAr (-lar, -lər))
------	------	------------------------------

以下の表で、いくつかの動詞の希求形が人称ごとにどのような形になっているかを確認してください。

	soruşmaq 「尋ねる」	üz- 「泳ぐ」	təmizlə- 「掃除する」	oxu- 「読む」
1 人称単数	soruşam	üzəm	təmizləyəm	oxuyam
2 人称単数	soruşasan	üzəsən	təmizləyəsən	oxuyasan
3 人称単数	soruşa	üzə	təmizləyə	oxuya
1 人称複数	soruşaq	üzək	təmizləyək	oxuyaq
2 人称複数	soruşasınız	üzəsiniz	təmizləyəsiniz	oxuyasınız
3 人称複数	soruşa / soruşalar	üzə / üzələr	təmizləyə / təmizləyələr	oxuya / oxuyalar

この動詞形式によってあらわされる内容が願望・希求であることを明示するために、さらに *kaş*, または *kaş ki* という語句を伴うことがあります。

(例文)

Kaş yaz tez gələ.

春が早く来てほしい。

Kaş ki azərbaycanca danışa biləsən.

(君が) アゼルバイジャン語が話せるといい。

Kaş sabah hava yaxşı ola.

明日は天気がよくなってほしい。

Kaş gələn il Azərbaycan gedək.

(私たち) 来年アゼルバイジャンに行けたらいいね。

Kaş ki varlı olam.

(私が) 裕福ならなあ。

動詞の希求・過去形

希求形が過去形を伴う場合は、「（現実にはそのようになっていないが、）そのようになっていたなら...」という反実仮想的な願望・希求の意味をあらわします。以下の例では動詞形式の希求形に続いて、助動詞 *imək* の語幹部分に過去時制・人称語尾が付加されていることがわかります。

動詞語幹 + （否定接辞 -mA） + 希求形接辞 -(y)A 助動詞 i- + 時制接辞 + 人称語尾

動詞形式の例を確認し、さらに例文も見てみましょう。

	<i>gəlmək</i> 「来る」	<i>oyanmaq</i> 「起きる」	<i>istəmək</i> 「望む」	<i>oxumaq</i> 「読む」
1 人称単数	<i>gələ idim</i>	<i>oyana idim</i>	<i>istəyə idim</i>	<i>oxuya idim</i>
2 人称単数	<i>gələ idin</i>	<i>oyana idin</i>	<i>istəyə idin</i>	<i>oxuya idin</i>
3 人称単数	<i>gələ idi</i>	<i>oyana idi</i>	<i>istəyə idi</i>	<i>oxuya idi</i>
1 人称複数	<i>gələ idik</i>	<i>oyana idik</i>	<i>istəyə idik</i>	<i>oxuya idik</i>
2 人称複数	<i>gələ idiniz</i>	<i>oyana idiniz</i>	<i>istəyə idiniz</i>	<i>oxuya idiniz</i>
3 人称複数	<i>gələ idilər</i>	<i>oyana idilər</i>	<i>istəyə idilər</i>	<i>oxuya idilər</i>

（例文）

Kaş ki vağzala tez gələ idik. （私たち、）早く駅に来ていたらよかったのに。

Kaş onunla evlənə idim... （私、）彼女と結婚していたらよかったのに...

- *Bugünkü dərsi heç başa düşə bilmədim.* 今日の授業、全然わからなかったんだ。

- *Kaş o zaman müəllimə sual verə idin.* その時先生に質問していたらよかったのに。

また、前課の -mAII 義務形と関連して、*gərək*（「～する必要がある」）という語と希求形を共起させることによって義務的な用法（「～したほうがよい」）を表すことがあります。この表現では、*gərək* が先行し、本動詞のほうはその後ろに来ることに注意しましょう。

「行ったほうがよい」

gərək gedəm

「読んだほうがよい」

gərək oxuyam

gərək gedəsən

gərək gedə

gərək gedək

gərək gedəsiniz

gərək gedələr

gərək oxuyasan

gərək oxuya

gərək oxuyaq

gərək oxuyasınız

gərək oxuyalar

(例文)

Gərək kitabları yaxşı oxuyasan.

(君は) 本をよく読むべきだ。

Gərək xarici dilləri öyrənəm.

(私は) 外国語を勉強したほうがよい。

Gərək burada siqaret çəkməyəsən. (君)、ここでタバコを吸わないほうがよい。

第 21 課 練習問題

1. 次の動詞を、カッコ内の人称・数に合わせて希求形に書き直してください。

(例) gəlmək (1 人称単数) → gələm

- (1) yatmaq (1 人称複数) (2) qaçmaq (2 人称単数)
(3) yemək (1 人称単数) (4) çimmək (2 人称複数)
(5) dayanmaq (3 人称複数) (6) boyamaq (3 人称単数)

2. アゼルバイジャン語を参考にして、次の文の日本語訳を完成させて下さい。

(1) Kaş ki müəllim tez məktəbə gələ.

先生が早く学校に ()。

(2) Kaş uşağım hər gün ağlamaya.

子どもが毎日 ()。

(3) Kaş azərbaycanca daha yaxşı danışa biləm.

アゼルバイジャン語をもっと ()。

(4) Gərək gecə tez yatasan.

(おまえ、) 夜は早く ()。

(5) Gərək hər səhər üzünü yuyasan.

(おまえ、) 毎朝 ()。

3. 時制に注意して、次の文を日本語に直してください。

(1) Kaş ki daha uzun boylu ola idim.

.....

(2) Kaş o zaman mənə kömək edə biləydin.

.....

(3) Kaş ki dünən çoxlu spirtli içki içməyə idik.

.....

4. 日本語訳を参考にして、アゼルバイジャン語文を完成させてください。

(1) Kaş Azərbaycan yeməklərini () () .

(私、) アゼルバイジャン料理が作ればなあ。

(2) Kaş ki hava bir az isti () .

もう少し暖かくなればいいのになあ。

- (3) Çox məşğulam. Kaş daha boş vaxtım ().
とても忙しいです。もっと暇な時間があればなあ。
- (4) Dişin çox ağrıyır? Kaş ki dünən diş həkiminə ()().
歯がとても痛いのか？昨日歯医者さんに行っていればよかったのに。
- (5) Pulum yoxdur. Keçən ay pulumu lazımsız şeylərə xərclə ().
お金がありません。先月、不要なことに浪費しなければよかったのに。
- (6) 3 kilo kökəlmişəm! Daha az yemək ()().
3 キロも太ってしまった！もっと食事の量を少なくしていればよかった...
- (7) Müəlliminin məsləhətlərinə qulaq as..... ()...
先生のアドバイスに耳を傾けていればよかったのに...

コラム：身体部位の語彙と慣用句的表現

慣用句的表現では、身体の一部を表す名詞がよく使われますが、ここではアゼルバイジャン語の身体部位・器官を表す語彙をまず学習しましょう。

bədən	体	əl	手
baş	頭	barmaq	指
çiyin	肩	bel	腰
sinə (döş)	胸	ayaq	足
qol	腕	boy	身長
üz	顔	dırsək	ひじ
diş	歯	qarın	腹
dil	舌	diz	ひざ
beyin	脳	kürək	背中
ürək	心臓	boğaz	のど
sümük	骨	dəri	皮膚
böyrək	腎臓	dırnaq	つめ
ağciyər	肺	bilək	手首
qaraciyər	肝臓	bığ	口ひげ
mədə	胃	saqqal	あごひげ
bağıracaq	腸	saç	髪
yanaq	頬	alın	ひたい
burun	鼻	qaş	眉 (毛)
ağız	口	kiprik	まつげ
dodaq	唇	göz	目
çənə	あご	qulaq	耳
boyun	首	bud	股

身体部位に関連して、以下の表現も覚えておきましょう。

Şikayətiniz nədir?

どうしましたか？ (医者が患者に尋ねるとき)

Özümü pis hiss edirəm.

気分 (具合) が悪いです。

Başım ağrıyır.

頭が痛いです。

Mədəniz ağrıyırımı?

胃は痛いですか。

Bu dərmanı gündə iki dəfə qəbul edin.

この薬を1日2回服用してください。

İştahım yoxdur.

(私は) 食欲がありません。

Mən hamiləyəm.

(私は) 妊娠中です。

Qızdırmanız var?

(あなた) 熱はありますか。

Məni xəstəxanaya aparın, zəhmət olmasa.

私を病院に連れて行ってください。

Yumurtaya qarşı allergiyam var.

卵アレルギーがあります。

第 22 課 動詞の仮定形

仮定形接辞：-sA

アゼルバイジャン語では、動詞語幹に-sA (-sa, -sə)を付加して仮定（「～すれば、～するなら」）をあらわします。

almaq → **alsa**
 vermək → **versə**

この後に、さらに必要に応じて主語を表す人称語尾が付加されます。

	単数	複数
1 人称	-m	-Q (-k, q)
2 人称	-n	-nİz (-nız, -niz, -nuz, -nüz)
3 人称	(なし)	なし (複数形を表す場合は-lAr (-lar, -lər))

動詞の条件形に各人称語尾を付加すると、以下のようにまとめられます。

	getmək	yazmaq	görmək	yumaq
1 人称単数	getsəm	yazsam	görsəm	yusam
2 人称単数	getsən	yazsan	görsən	yusan
3 人称単数	getsə	yazsa	görsə	yusa
1 人称複数	getsək	yazsaq	görsək	yusaq
2 人称複数	getsəniz	yazsanız	görsəniz	yusanız
3 人称複数	getsə / getsələr	yazsa / yazsalar	görsə / görsələr	yusa / yusalar

条件形の否定形は、動詞語幹と条件形接辞の間に否定接辞-mA (-ma, -mə)を付加します。

	getmək	yazmaq	görmək	yumaq
1 人称単数	getməsəm	yazmasam	görməsəm	yumasam
2 人称単数	getməsən	yazmasan	görməsən	yumasan
3 人称単数	getməsə	yazmasa	görməsə	yumasa
1 人称複数	getməsək	yazmasaq	görməsək	yumasaq
2 人称複数	getməsəniz	yazmasanız	görməsəniz	yumasanız
3 人称複数	getməsə / getməsələr	yazmasa / yazmasalar	görməsə / görməsələr	yumasa / yumasalar

まとめると、以下のようになります。

動詞の仮定形

動詞語幹	+	(否定接辞-mA)	+	-sA (-sa, sə)	+	人称語尾
------	---	-----------	---	---------------	---	------

これらの形式で表される節は仮定を表すという意味的な性質上、従属節になることが多くなります。アゼルバイジャン語では通常、従属節の方が主節に先行します。

(例文)

Dəniz kənarına getsək, möhtəşəm mənzərə görə bilərsiniz.

海岸に出れば、素晴らしい景色が見られます。

Bu çantanın qiymətini aşağı salsanız, mən onu alaram.

このカバンの値段を下げてくれるなら、買いますよ。

Əgər mən Avropanı gəzə bilsəm, mütləq Kölndəki kafedralı görmək istəyirəm.

もしヨーロッパを旅行できるなら、ぜったいにケルンにある大聖堂を見たいです。

Bilet olmasa muzeyə girə bilmərik.

チケットがなければ、博物館には入れませんよ。

ただし zəhmət olmasa のように語彙化したような表現の場合は、文の述語となっている動詞の後に来ることがあります。

Oradakı duzu ötür, zəhmət olmasa.

そこにある塩をちょうだい。

Mən gələm il Bakıya gedəcəyəm, Allah qoysa.

私は（願わくは）、来年バクーに行きます。

また、助動詞 *imək* に条件形接辞が付加されることもあります。その場合、時制・相接辞は本動詞のほうに付加されます。その後に *imək* の条件形 (*isə-*)、さらに必要に応じて人称語尾が続いて付加されます。また、動詞でない述語の後にも助動詞の条件形を続けることができます。

getmək 「行く」 → *gedir isəm, ...* 「私が行くなら...」
→ *gedəcəkdir isən, ...* 「君が行く予定なら...」
→ *getdi isəniz, ...* 「あなたが行った（の）なら...」

動詞の過去形、または完了形に *-sA* 接辞が付加された形式は、過去の実際に起こった条件をあらわします。つまり、過去にそれが起こったかどうかは不明だが、実際に起こった出来事や実際にその出来事が起こった可能性があることを意味します。

(例文)

Əgər anam hava limanına gəlibsə, mütləq bizə zəng edəcək.

母が空港に来たのなら、必ず私たちに電話するだろう。

O məqaləni oxudunsa, onda bu məqaləni də oxumalısan.

その論文を読んだなら、この論文も読まないといけないよ。

また、動詞の時制接辞が付加された動詞形式の後に、条件をあらわす付属語 *-sA* (*-sa/-sə*) が付加される場合もあります。この場合は前件であらわされる部分が、後件が成立するための条件をあらわすこととなります。同様に、名詞述語・形容詞述語が仮定節になる場合は、まず人称語尾が述語に付加され、付属語 *-sA* はその後続きます。

(例文)

Etiraz etmirsənsə, Elnuru maşınla məktəbə apararsan?

もし都合が悪くないのなら、エルヌル(Elnur)を車で学校まで送ってこない？

İstəyirsənsə, mənim otağımdakı kitabları oxuya bilərsən.

君が読みたいのなら（望むなら／よければ）、私の部屋にある本を読んでもいいよ。

Burada yaşamaq istəmirsənsə, xarici ölkədə yaşamağı fikirləş.

ここで暮らしたくないのなら、外国で生活することを考えなさい。

第 22 課 練習問題

1. 例にならって、以下の動詞に条件形接辞を付加してください。

(例) getmək → getsə almaq → alsa

- (1) qopmaq (2) qorxmaq (3) minmək (4) gülmək (5) gecikmək
(6) dəyişmək (7) dayanmaq (8) azalmaq (9) bölmək (10) uçmaq

2. 人称語尾に注意して、次の文の空欄部を適切な条件形に書き換えてください。

- (1) Avqust (gəl-), Bakı çox isti olacaq.
8月になったら、バクーはとても暑くなるでしょう。
- (2) Siz çox (öyrən-), imtahandan keçəcəksiniz.
君たちはよく勉強すれば、試験を通るでしょう。
- (3) (İstə-) soyunducudakı tortu yeyə bilərsən.
よかったら、冷蔵庫にあるケーキを食べていいよ。

3. 日本語を参考にして、空欄を埋めてアゼルバイジャン語を完成させてください。

- (1) 明日晴れたら、ピクニックに行きましょう。

Sabah hava aydın ol....., pikniyə gedək.

- (2) (君が) 朝起きるのが遅ければ、学校に間に合いませんよ。

Səhər gec oyan....., məktəbə vaxtında çata bilməyəcəksən.

- (3) ほしいなら、それ食べてください。

İstəyirsiniz....., onu yeyin.

- (4) 夜 11 時にきみのところに訪れたら、迷惑にならないだろうか？

Gecə saat on birdə səni () et....., sənə narahat etməyəcəyəm?

第 23 課 語の派生

名詞や形容詞に接辞を付加して別の語が形成されることを、派生と言います。また、そのような派生のために付加される接辞を、本書では派生接辞と呼ぶことにします。以下、代表的な派生接辞について確認しておきましょう。

形容詞派生接辞： -li (-lı, -li, -lu, -lü)

この接辞が名詞に付加されると、「～を含む」「～がある」などの、性質や成分を伴うことを表す語が派生されます。

dad	味	dadlı	おいしい (←味がある)
maraq	関心	maraqlı	おもしろい、興味深い (←関心がある)
güc	力	güclü	強い (←力がある)
vurğu	(音声学の) 強勢	vurğulu	強勢がある
bilik	知識	bilikli	知識がある

形容詞派生接辞： -sız (-sız, -siz, -suz, -süz)

この接辞が名詞に付加されると、「～を含まない」「～がない」など、性質や成分を伴わないことを表す語が派生されます。

dad	味	dadsız	まずい (←味がない)
maraq	関心	maraqsız	おもしろくない (←関心がない)
güc	力	gücsüz	弱い (←力がない)
su	水	susuz	水がない、水不足の

名詞派生接辞： -lıq (-lıq, -lik, -luq, -lük)

名詞や形容詞にこの接辞が付加されると、抽象名詞や手段、道具などを表す語を形成します。

baş	頭、先頭	başlıq	フード（衣服）；（書名などの）タイトル
insan	人	insanlıq	人間らしさ；人道
yaxşı	よい	yaxşıliq	よさ

名詞派生接辞：-çI (-çı, -çi, -çu, -çü)

名詞にこの派生接辞が付加されると、その名詞にかかわる職業や特徴をもつ人物などをあらわします。

dil	言語	dilçi	言語学者
ədəbiyyat	文学	ədəbiyyatçı	文学者
üzüm	ぶどう	üzümçü	ぶどう栽培者
dəniz	海	dənizçi	舟乗り、船員

動詞派生接辞：-lA (-la, -lə)

名詞や形容詞などにこの派生接辞を付加して、動詞にすることがあります。

iş	仕事	işləmək	仕事をする、働く
göz	目	gözləmək	待つ
təmiz	清潔な、きれいな	təmizləmək	掃除する、きれいにする
hazır	準備ができている	hazırlamaq	準備する

動詞派生接辞：-lAş (-laş, -ləş)

前述の-lA 接辞と同じく名詞や形容詞などに付加され、動詞を派生します。

fikir	考え	fikirləşmək	考える
yer	場所	yerləşmək	位置する；定住する
çətin	難しい	çətinləşmək	難しくなる
bir	一、ひとつ	birləşmək	一つになる

動詞派生接辞：-lAn (-lan, -lən)

この接辞も名詞や形容詞から、動詞を派生します。

ev	家、家庭	evlənmək	結婚する (≒家庭を築く)
maraq	興味、関心	maraqlanmaq	関心をもつ、興味を示す
aşkar	明らかな	aşkarlanmaq	明らかになる

(例文)

Bu kitab çox maraqlıdır. この本はとても面白いです。

Qəhvəm şəkərsiz olsun. (私の) コーヒーは砂糖なしでお願いします。

Yaxşılıq bilməyəne yaxşılıq etmə.

(諺) 善行 (善いこと) を知らないものに善行をするなかれ。

İlhamın atası ədəbiyyatçı, anası isə dilçi idi.

イルハムのお父さんは文学者でした。お母さんのほうは言語学者でした。

Saat üçdə "28 May" stansiyasında səni gözləyirəm.

3時に、28 May 駅で君を待っています。

İndi nə fikirləşirsən? (君、) 今何を考えてるの。

Atam 25 yaş olanda anam ilə evlənib.

私の父は25歳のとき、母と結婚しました。

第 23 課 練習問題

1. 次の語に -lı/-li/-lu/-lü 接辞を付加してください。

- (1) yağ (2) duz (3) etibar (4) lazım
(5) ləkə (6) meyvə (7) ləzzət (8) meyvə

2. 次の語に -sız/-siz/-suz/-süz 接辞を付加してください。

- (1) zəhər (2) günah (3) ət (4) papaq
(5) sən (6) zərər (7) fayda (8) iş

3. 次の語に -çı/çi/çu/çü 接辞を付加してください。

- (1) dil (2) çörək (3) təşviqat (4) ədəbiyyat
(5) dəniz (6) növbət (7) abunə (8) üzüm

4. 次の語の意味を確認し、さらにそれぞれの語に -la/-lə 接辞を付加して動詞派生形にしてください。派生した語形は、-maq/-mək 形式にしてください。

- (1) səs (2) salam (3) parça (4) iş
(5) sərın (6) hazır (7) irəli (8) geri

5. 次の語の意味を確認し、さらにそれぞれの語に -laş/-ləş 接辞を付加して動詞派生形にしてください。派生した語形は、-maq/-mək 形式にしてください。

- (1) fikir (2) söz (3) yer (4) razı
(5) nazik (6) asan (7) gözəl (8) məktub

6. 次の語の意味を確認し、さらにそれぞれの語に -lan/-lən 接辞を付加して動詞派生形にしてください。派生した語形は、-maq/-mək 形式にしてください。

- (1) ev (2) maraq (3) işıq (4) geniş
(5) lovğa (6) xumar (7) acıq (8) avara

7. 日本語を参考にして、空欄に適切な接辞や語を入れ、文を完成させてください。

(1) わたしたちは昨日、セヴィルの家でおいしいケーキを食べました。

Biz dünən Sevilin evində dad..... keks yedik.

(2) 人は塩なしでは生きていくことができません。

İnsan () yaşaya bilməz.

(3) 日本とアゼルバイジャンが互いに理解することにおいて、私たちの役割は大きいです。

Yaponiya və Azərbaycanın ikitərəf..... anlaşmağında bizim rolumuz çoxdur.

コラム：アゼルバイジャン語のことわざ

ここまで、第23課までに出てきた様々な例文のうち、アゼルバイジャン語の諺として用いられている表現をいくつか見てきました。アゼルバイジャン語の諺の特徴としていくつか気づくこととして、韻を踏んでいるパターンのもものが多く見られること、文法形式としては命令形の動詞を用いたものや、その他にも条件形、中立形などがよく使われていることなどがあります。

ここでは、アゼルバイジャン語の諺をもう少しだけ紹介します。日本語の諺と同様の教訓を伝えていることなども多く、興味深いと思う人も多いかもしれませんね。以下で挙げた諺を確認しながら、これまでに学習した文法事項が使われていることを確認してください。

Hamı ilə xoş görüşmək ədavəti yox eylər.

人に寛容であることは、敵をなくすこととなる。

Atana necə baxarsan, övladın da sənə elə baxar!

祖先をどのように見たとしても、子孫もまたお前をそのように見る。

Özgəyə kömək et, sənə də kömək edərlər.

他人を助けよ、（そうすれば彼らは）お前をも助ける。

Dil adamın düşmənidir.

舌は人の敵である。（口は災いのもと、の意味）

Gəlirinə bax, xərc elə.

自分の稼ぎを見てから支払いをせよ（分相応のことをしなさい）

İki eşit, bir danış.

2度聞いて、1度話しなさい。

Yaxşı dost yaman gündə tanınar.

よき友は、悪しき日にわかるものだ。

Olacağı çarə yoxdur.

おこりうることはどうしようもない。

※ここでは *olacaq* は未来形の分詞として用いられています。このタイプの分詞については第25課で学習します。未来形にはこのような使われ方もあるということを覚えていてください。

Öyrənməyə ar olmaz.

学ぶことに恥はない。

第 24 課 動詞のヴォイス：使役形、受身形、再帰形、相互形

動詞の使役形

アゼルバイジャン語で「～させる」のように、動詞を使役の形にするときや、自動詞を他動詞のように用いる（たとえば、「あがる」と「あげる」のような関係）には、動詞語幹に使役の接辞を付加します。ただし、使役接辞にはいくつかの種類があり、どのタイプの接辞が使われるかは動詞によって異なります。

(1) -dir-接辞は主に動詞語幹が単音節のときに用いられます。多くの動詞で、この接辞が使役接辞として用いられます。

en-	落ちる	endir-	(en-dir-)落とす
sön-	消える	söndür-	(sön-dür-) 消す
yaz-	書く	yazdır-	(yaz-dır-) 書かせる
dön-	戻る	döndür-	(dön-dür-) 戻す
dol-	満ちる	doldur-	(dol-dur-) 満たす
sın-	壊れる	sındır-	(sın-dır-) 壊す

Tələbələr yazı taxtasına düsturlar yazdı.

学生たちは黒板に数式を書きました。

Professor tələbələrə yazı taxtasına düsturlar yazdırdı.

教授が学生たちに、黒板に数式を書かせました。

Dərsdə orta əsrlər tarixi ilə maraqlandım.

授業で、中世史に興味をもちました。

Dərsdə orta əsrlər tarixi məni maraqlandırdı.

授業で、中世史が私に興味を持たせました (=中世史が私の興味を引きました)

(2) -t-接辞は動詞語幹が2音節以上で、かつ動詞語幹末が母音のときに用いられます。

böyü-	育つ	böyüt-	育てる
işlə-	働く	işlət-	働かせる
təmizlə-	掃除する	təmizlət-	掃除させる (掃除してもらう)

oxu-	読む	oxut-	読ませる
yüksəl-	上がる	yüksəlt-	上げる
qayna-	沸く	qaynat-	沸かす

なお語幹の一部が入れ替わるという点で少し特殊なパターンですが、同じく -t 接辞が付加される動詞として、以下のものも覚えておくとよいでしょう。

öyrən-	学ぶ	öyrət-	教える (=学ばせる)
--------	----	--------	-------------

(3) -Ir-接辞は主に単音節の語幹をもつ、以下のような動詞に用いられます。

iç-	飲む	içir-	飲ませる
yat-	寝る	yatır-	寝かせる
çıx-	出る	çıxar-	出す

(4) この接辞を取る動詞はあまり多くありませんが、-(d)Iz-という接辞もあります。

qorx-	怖がる	qorxuz-	怖がらせる
-------	-----	---------	-------

※この(4)の-(d)Iz-と(1)の-dIr 接辞は共起して、形式上二重の使役になることがあります。ただし、意味的には普通の使役形と同じです。

əm-	吸う	əmidir-	吸わせる
ye-	食べる	yedizdir-	食べさせる

なお、-dIr 接辞と -t 接辞を伴う、いわゆる二重使役も動詞によっては存在します。この場合、二重使役で表される動詞の動作や出来事を実際に行う人やもの、さらにその動作や出来事を行わせる人やものがあらわされることとなります。

düzəlt-	直す	düzəlt-dir-	直させる
---------	----	-------------	------

Müəllim o tələbəyə inşanı düzəlt-dirdi.

先生はその学生に作文を直させた。

※ 動詞によっては、-dIr 接辞と -t 接辞の配列が逆になるものもあります。

söndür-	消す	söndürt-	消させる
---------	----	----------	------

Ana uşağına lampanı söndürdü.

母親は子供にランプを消させた。

süpürt- 箒（ほうき）がけする

süpürtdür- 箒（ほうき）がけさせる

Gülşənə bağı süpürtdürək.

ギュルシェンに庭をほうきがけしてもらおう。

上記の例からわかるように、二重使役形でも「AがBに...させる（してもらう）」という意味においては、使役それ自体の意味は通常の使役文と同じこととなります。

なお、-dIr 接辞と-t 接辞のどちらが先にくるかは動詞によって決まっていますので、個別に覚える必要があります。

また、日本語でいう「～してもらう」という意味を表すときも、アゼルバイジャン語では使役形を使って表現します。

動詞の受身形

日本語の「～れる」「～られる」で表されるような意味をもつ、受身の形も使役形と同様に、動詞語幹に接辞を付加することで表すことができます。また、受身の意味以外にも、「上げる」「上がる」他動詞が自動詞のような意味で使われる場合にもこの接辞が付加されます。使役接辞と同様に、受身を表す接辞もいくつかの異なるタイプのものがあります。多くの場合は動詞語幹のタイプによってどの受身接辞が後続するかが予測できますが、例外になるようなものもあるので注意が必要です。

(1) 語幹が-l 以外の子音で終わる場合は、-Il 接辞(-il, -il, -ul, -ül)を付加します。

aç- 開ける açıl- 開く

(2) 語幹末子音が-l のとき、または母音で終わる時には-(I)n 接辞 (-n, -ın, -in, -un, -ün)を付加します。

bil- 知る bilin- 知られる

sil- 消す silin- 消される

oyna- 遊ぶ oynan- 遊ばれる

(3) 母音で終わる語幹で、かつ単音節(母音を1つだけ含む)の語幹の場合は、-yII接辞(yıl, -yıl, -yul, -yül)を付加します。

de-	言う	deyil-	言われる
yu-	洗う	yuyul-	洗われる
ye-	食べる	yeyil-	食べられる

(4) その他、不規則なパターンを有する動詞があります。

söylə-	話す	söylənil-	話される
gözlə-	待つ	gözlənil-	待たれる
istə-	望む	istənil-	望まれる

(例文)

Tatarca əsasən Tatarıstanda danışılır.

タタール語は、おもにタタールスタンで話されます。

O adamın məhkəməsi gizli keçirildi.

その男の裁判は極秘に行われた。

Dost yaman gündə tanınar.

(諺) 友とは、よくない日にこそわかる(知られる)ものである。

Nəqli cümlələrdə müəyyən bir hadisə, əşya, əlamət və sairə haqqında məlumat verilir.

平叙文では、ある定まった出来事やものごと、象徴などについての情報が与えられる。

動詞の再帰形

「(自分の体を)洗う」などのように、動詞の表す動作や出来事などによって動作を行った人にその影響が及ぶような形式は、再帰形と呼ばれます。アゼルバイジャン語には再帰形接辞があり、使役接辞や受身接辞などとおなじく、動詞語幹に付加されます。

再帰形接辞には、-IIタイプ(-ıl, -il, -ul, -ül)と-Inタイプ(-ın, -in, -un, -ün)があります。また、どの動詞が再帰形接辞としてどちらのタイプの接辞をとるかは個別の動詞ごとに決まって

います。以下、いくつかの例を見てみましょう。

demək	言う	deyinmək	(自分に) 言う
geymək	着る	geyinmək	(自分で) 着る
yumaq	洗う	yuyunmaq	(自分を) 洗う；入浴する
görmək	見る	görünmək	(自分を) 見る

再帰形の接辞が付加されたあと、必要に応じて時制・相を表す接辞、また人称語尾が付加されます。

yuyun-		「(自分を) 洗う」
yuyundum	(yu-yun-du-m)	(私は) (自分を) 洗った
yuyunacaqlar	(yu-yun-acaq-lar)	(彼らは) (自分たちを) 洗うでしょう

(例文)

Sevil həmişə öz-özünə nəşə deyindir.

セヴィルはいつもなにかひとりごとを言っています。

Bu gün də çox yaxşı geyinmisiniz!

今日もとてもきれいに着飾っておられるようですね！

なお、受身形と再帰形が同じ動詞形式をしていることもあります。たとえば、açıl-は受身形と再帰形の両方の解釈がなされることがあります。

Gül açıldı. 花が咲いた (開いた)。 (再帰)

Qapı açıldı. ドアが開いた。 (受身)

この解釈の違いは、動作の主体が主語で表されている場合 (再帰) と、動作の主体が不明か、少なくとも主語で表されている事物・人物自身によるものではない場合 (受身) の違いによって生じます。

Duman çəkildi. 霧がなくなった。 (再帰；霧は自ら引いた)

İp çəkildi. 紐が引っ張られた。 (受身；何者か (紐自身ではない) によって引かれた)

動詞の相互形

動詞語幹に**-İş (-ıŝ, -iŝ, -uŝ, -üŝ)**接辞を付加して、「互いに～する」という相互の動作、または「～化する」といった状態の変化などの意味を表すことがあります。動詞語幹が母音で終わる場合は、**-ŝ**だけを付加します。母音調和規則に従うという点は、今まで見てきたさまざまな語形と同様です。

yazmaq	書く	→ yazıŝmaq	互いに書く、書き合う
gülmək	笑う	→ gülüşmək	互いに笑う、笑い合う
görmək	見る	→ görüşmək	会う (=お互いに見る)

名詞から動詞の相互形語幹を派生することもあります。そのときは名詞に、**-İAŝ (-laŝ, -ləŝ)**接辞を付加します。

salamlamaq	あいさつする	→ salamləŝmaq	互いにあいさつする
vida	別れ	→ vidaləŝmaq	互いに別れを告げる
gözəl	美しい、よい	→ gözəlləŝmək	互いに美しく／よくなる

(例文)

Gülnar anası ilə öpüşdü.

ギュルナルは、母親と互いにキスを交わしました。

Mən hava limanında atam və anamla xudahafizləŝdim.

私は空港で母、そして父と互いに別れのあいさつをしました。

Şərimiz ildən-ilə daha da gözəlləŝir.

私たちの街は年々、さらに美しくなっています。

また相互形に関連して、動詞の形式ではなく、複合語の代名詞 **bir-biri** (「一人ひとり」) によってあらわされる表現もあります。

Akademiklər qrammatika nəzəriyyəsi barədə beynəlxalq konfransda bir-biri ilə mübahisə etdilər.

研究者たちは文法理論について、国際会議で互いに議論しました。

Biz görüşəndə bir-birimizə baxdıq və güldük.

私たちは、会った時にお互いを見て笑いあいました。

アリベイと大阪で会いました。

(2) Azərbaycan dili müəllimimiz ilə ().

アゼルバイジャン語の先生とお互いにあいさつしました。

(3) Tez () və məktəbə get.

早く服を着て学校に行きなさい。

(4) Uşaqlar göldə ().

(子どもたちは湖で水浴びをしました)

(a) salamlaşdım

(b) geyin

(c) yuyundu

(d) qarşılaşdıq

4. 空欄に適切な接辞や語尾を埋めて、アゼルバイジャン語の文を完成させてください。

(1) トルコ語はドイツでも役に立ちます。

Türk dili Almaniyada da işlən.....

(2) 今日は子どもたちに公園で遊ばせました。

Bu gün uşaqlar... parkda oyna.....

(3) アゼルバイジャンの国歌は誰によって作曲されましたか。

Azərbaycan himni kim () bəstələ.....?

(4) 明日3時に、ギュルシェンとイチャリシャハル駅で会う予定です。

Sabah saat üçdə Gülşən ilə "İçərişəhər" stansiyasında gör.....

コラム：アゼルバイジャン語アルファベットの今と昔

現在、アゼルバイジャン語の表記には本書のはじめのところで紹介したラテン文字が公式に用いられています。ところで、アゼルバイジャン語の文字体系は、20世紀の間に大きな変更が3度行われたことがよく知られています。

まず1920年代（1929～1939年）に、それまで使われてきたアラビア文字の使用を廃して、ラテン文字（ローマ字）表記が採用されました。この時のラテン文字表記は現在のものと大部分は同じ文字を使っていますが、一部異なるものもあります。その後すぐに1940年からキリル文字表記へと変わり、以後1991年までキリル文字表記が使われてきました。現在のラテン文字表記はアゼルバイジャン共和国が1991年に成立したのとほぼ時期を同じくして制定されましたが、その後しばらくは従来のキリル文字表記と新たに制定されたラテン文字表記が並行して使われていました。この間、いくつかの字母の新しい導入や廃止など、細かい変更も何度か行われています。そのため、たとえば1940年から91年までのキリル文字が使われていた時代でも、たとえば1940年代に書かれたものと1970年代に書かれたものとはわずかに表記体系が異なっていたりするのです。

現行のようにラテン文字表記で統一するようになったのは2001年8月1日以降で、文字使用に関する政令が発令されてからとことができます。なおこの8月1日は、アゼルバイジャンで「アゼルバイジャン語と文字の記念日」(Azərbaycan Dili və Əlifbası Günü)と制定されています。

さて、アゼルバイジャン語がキリル文字で表記されるようになったのは1940年と述べましたが、実は1940年に最初に定められたキリル文字表記も50年近くの間ずっと変わらなかったわけではありません。たとえば1940年のアルファベット一覧には Я (/ja/), Ю (/ju/), Ц (/ts/)といったロシア語で用いられる字母が導入されていましたが、これらの文字は1958年までに何度か行われた改定によって、アゼルバイジャン語キリル文字表記では使用されなくなりました。したがって旧ソ連時代のアゼルバイジャン語を読む場合には、時代によって使用されている文字が異なるということに気づくと思います。

さて、以下では1958年の改定以降1990年、さらにはアゼルバイジャン共和国成立後2002年までの移行期間に使用されていたキリル文字表記を紹介します。

文字	対応する 現行ラテ ン文字	発音	例
А а	A a	[a]	алма 「りんご」
Б б	B b	[b]	бачы 「(女の) きょうだい」
В в	V v	[v]	вар 「ある、いる」
Г г	Q q	[g]	гулаг 「耳」
Ғ ғ	Ǧ ǧ	[ɣ]	ағач 「木」
Д д	D d	[d]	дост 「友人」
Е е	E e	[e]	ев 「家」
Ә ә	Ə ə	[æ]	әлли 「(数詞) 50」
Ж ж	J j	[dʒ]	журнал 「雑誌、ジャーナル」
З з	Z z	[z]	заман 「時、時間」
И и	İ i	[i]	иш 「仕事」
(Ы)* ы	(I) ı	[ɯ]	ары 「ハチ (蜂)」
Ј ј	Y y	[j]	мај 「5月」
К к	K k	[k]	китаб 「本」
Қ қ	G g	[g]	күн 「日」

Л л	L l	[l]	лампа 「ランプ、灯り」
М м	M m	[m]	машын 「車」
Н н	N n	[n]	нечә 「どのように」
О о	O o	[o]	он 「(数詞) 10」
Ө ө	Ö ö	[ø]	өлкә 「国、国家」
П п	P p	[p]	памбыг 「コットン、綿」
Р р	R r	[r]	рәһбәр 「ガイド、案内人」
С с	S s	[s]	сәккиз 「(数詞) 8」
Т т	T t	[t]	тәмиз 「きれいな、清潔な」
У у	U u	[u]	ушаг 「子ども」
Ү ү	Ü ü	[y]	үзүм 「ぶどう (葡萄)」
Ф ф	F f	[f]	фәһлә 「労働者」
Х х	X x	[x]	хејр 「いいえ」
Һ һ	H h	[h]	һава 「空、空気」
Ч ч	Ç ç	[ʧ]	чај 「茶」
Ч ч	C c	[dʒ]	чүчә 「ひよこ」

Ш ш	Ş ş	Ш	шәһәр 「街；都市」
-----	-----	---	--------------

ではここで、キリル文字について少し練習してみましょう。

1. 次の単語を現行ラテン文字に書き換えてください。

- (1) сән (2) бир (3) күчә (4) сөз
(5) Октябр (6) доғру (7) алтмыш (8) ишләмәк

2. 次の単語を、キリル文字表記に書き換えてみましょう。

- (1) söhbət (2) stul (3) yoldaş (4) baxmaq
(5) ölkə (6) dərslük (7) qırmızı (8) günorta

3. 次の文を現行のラテン文字に転写し、また意味を確認してください。

- (1) Синифдә тәләбәләр вар.
(2) Мән Азәрбајчанда јашајырам.
(3) Дәрсләримиз саат онда башлајыр.
(4) Биз китаб мағазасындан лүғәт алачағыг.



(コラム問題 解答例)

1.

- (1) sən (2) bir (3) küçә (4) söz
(5) Oktyabr (6) doғru (7) altmış (8) işləmək

2.

(1) Сəhbət (2) стул (3) jолдаш (4) бахмаг

(5) Өлкə (6) дərслик (7) гырмызы (8) күнорта

3.

(1) Sinifdə tələbələr var.

(2) Mən Azərbaycanca yaşayıram.

(3) Dərslərimiz saat onda başlayır.

(4) Biz kitab mağazasından lüğət alacağıq.

第 25 課 分詞

分詞 I: -(y)An 形

アゼルバイジャン語では動詞の形式を変化させて、形容詞や名詞の役割をもたせることがあります。このような動詞の形式を、本書では「分詞」と呼ぶことにします。

分詞の形式にはおおまかには-(y)An 接辞を伴うもの、-dIQ 接辞を伴うものの2つに大別されます。ここでは、まず動詞の語幹に-(y)An 接辞を用いる分詞について学習しましょう。この接辞も、これまでと同じく、直前の母音のタイプによって-(y)an, -(y)ən のように母音調和します。

al-	「買う」	alan	gəl-	「来る」	gələn
oxu-	「読む」	oxuyan	istə-	「望む」	istəyən

否定接辞-mA (-ma, -mə)を付加する場合も、やはり後続する母音は母音調和によって変化します。

al-	alma-	「買わない」	almayan
gəl-	gəlmə-	「来ない」	gəlməyən

これらの分詞は、そのまま名詞として用いられることもありますし、下記のように形容詞のような役割を果たしつつ、後続する名詞を修飾することもあります。このとき、修飾される名詞は、大まかに言えば分詞の表す動作（や出来事）の主体（動作主）となっていることに注目しましょう。

ağlayan uşaq	泣いている子ども
parkda əkilən ağac	公園に植えられている木

(例文)

Şəhidlər Xiyabanına **gedən** avtobus harada dayanır?

「殉死者の広場」に行くバスはどこに停まりますか。

Burada ingiliscə **danışan** bələdçi var?

ここには英語を話すガイドさんはいますか。

Bakıda Xalça Muzeyini ziyarət **edən** turistlər çoxalır.

バクーで、絨毯博物館を訪問する観光客が増えています。

Azərbaycan dilini **öyrənən** tələbələrə dərslik lazımdır.

アゼルバイジャン語を学ぶ学生たちのために教科書が必要です。

Onu dinləmək **istəməyən** adamlar çölə çıxdılar.

彼のいうことを聞きたくない人たちは 外に出た。

Əlində kitab **olan** uşaq kimdir?

手に本を持っている (=手に本がある) 子どもは誰ですか？

-(y)An 分詞の名詞的用法

-(y)An 分詞が名詞としての役割を果たす場合もあります。その場合、多くの名詞と同じように、必要に応じて分詞に格語尾や複数形語尾が付加されることもあります。

(例文)

Mənə bağlama **göndərəni** tanımıram.

私に小包を送った人とは面識がありません。

İşləməyən dişləməz.

(諺) 働かざる者食うべからず (=働かない人は (食物を) 噛まない)。

Evində kompüter **olmayan** var?

家にパソコンがない人はいますか。

Dostu çox **olanın** gücü çox olar.

(諺) 友人を多く持つ者の力は大きい。

また、分詞形の語形でそのまま独立した名詞や形容詞のように使われるものもあります。

içən	(iç-ən)	酒飲み
oxuyan	(oxu-yan)	歌手；知識人
keçən	(keç-ən)	以前の；最後の
günəbaxan	(günə + bax-an)	ヒマワリ
gözədəyən	(gözə + dəy-ən)	人目をひく

-(y)An 形分詞はさらに格語尾などを付加して、様々な用法で用いられることがあります。
ここでは、以下の表現を覚えましょう。

(1) **-(y)AndA** 「～した（する）とき」

Mən evə gələndə, qardaşım artıq yatırdı.

私が家に来た時、弟はもう寝ていました。

Sabah görüşəndə danışaq.

明日あった時に話しましょう。

İki kişi danışanda üçüncüsü sən olma.

（諺）人が二人で話しているとき、お前が3人目になってはならない。

(2) **-(y)AndAn** 「～して以来（ずっと）」

Gülşən və Nadirə anadan olandan Gəncədə yaşayır.

ギュルシェンとナディラは生まれてからずっとギャンジャで暮らしています。

Bakıya qayıdandan Yaponiya üçün darıxıram.

バクーに戻って以来ずっと、日本が恋しいです。

(3) **-(y)An kimi** 「～するとすぐ、～するやいなや、～したその時」

Auditoriyaya çatan kimi professor dərslə başladı.

講堂に着くとすぐに、教授は授業を始めました。

Evə gələndə kimi Əli əllərini yudu.

家に来るとすぐ、アリは（自分の）手を洗いました。

(4) **-AndAn sonra** 「～した後」

Fikrət müəllim dərslər qurtarandan sonra da məktəbə gəlmədi.

フィクレット先生は授業が終わった後も学校に来ませんでした。

"Bukinist" kitab dükənindən kitablar alandan sonra sənə zəng edəcəyəm.

「ブキニスト」書店で本を買ったあとで、君に電話するね。

(5) **-(y)AnA qədər** 「～するまで（に）」

Mən evə gələndə qədər otağımı təmizlə.

私が家に着くまでに、（自分の）部屋を掃除しておきなさい。

Vusal danışana qədər biz səssizcə gözlədik.

ヴサルが話すまで、私たちは静かに待った。

分詞 II: -dIQ 分詞形

動詞語幹に-dIQ 接辞を付加するタイプの分詞もあります。前節の-(y)An 接辞の分詞形式とは分詞を形成するという点で共通していますが、-dIQ 接辞を伴う分詞は基本的には、後続する名詞が目的語や補語など、主語以外の関係になる場合に用いられます。

多くの場合、-dIQ 形分詞には誰がその行為をしたかを表す語尾が付加されます。人称・数と語尾の関係は、次の表に示す通りです。

	単数	複数
1 人称	-Im (-ım, -im, -um, -üm)	-ImIz (-ımız, -imiz, -umuz, -ümüz)
2 人称	-In (-ın, -in, -un, -ün)	-InIz (-ınız, -iniz, -unuz, -ünüz)
3 人称	-(s)I (-(s)ı, -(s)i, -(s)u, -(s)ü)	-IArI (-ları, -ləri)

この表からわかるように、この分詞に付加される人称・数を表す語尾は、名詞の所有語尾（第4課）と同じタイプのものです。また、誰がその行為を行ったかを表す名詞が分詞の前に来る時、mənim, sənin...のように、属格語尾を付加することにも注意しましょう。

また、-dIQ 接辞のあとに上記の表で示した所有語尾（ただし、-IArI を除きます）が付加される時に、最後の子音部分は、その直前の母音が前舌、後舌のどちらのグループに属するかによって変化していることにも気をつけましょう。すなわち、

母音部分が前舌 (i, ü) のとき... y
 母音部分が後舌 (ı, u) のとき... ğ

となります。

(例)

yazmaq 「書く」 + -dIQ 接辞 + -Im (1 人称単数接辞) → yazdığım

istəmək 「望む」 + -dIQ 接辞 + -Im (1 人称単数接辞) → istədiyim

また、この分詞形の前に意味的な主語が出てくる場合（ただし、文脈上出てこない場合もあります）は、主格ではなく所有格になることにも注意しましょう。

(mənim) yazdığım kitab	私が書いた本
(sənin) yazdığın kitab	君が書いた本
(onun) yazdığı kitab	彼・彼女が書いた本
(bizim) yazdığımız kitab	私たちが書いた本
(sizin) yazdığınız kitab	君たちが・あなたが書いた本
(onların) yazdıkları kitab	彼らが書いた本

vermək 「あげる；与える」 + -dIQ 接辞 + -Im (1 人称単数接辞) → verdiyim

(mənim) sənə verdiyim kitab	君にあげた本
(sənin) verdiyin kitab	君があげた本
(onun) verdiyi kitab	彼・彼女があげた本
(bizim) verdiyimiz kitab	私たちがあげた本
(sizin) verdiyiniz kitab	君たちが（あなたが）あげた本
(onların) verdikləri kitab	彼らがあげた本

-dIQ 分詞形は、後に来る名詞を修飾することになります。そのため、二つの文を一つにまとめる役割を果たしているとも言えます。以下の例で確認してみましょう。

（例文）

Mən qatara mindim. O qatar vaxtında yola düşdü.
私は列車に乗った その列車は時間通りに出発しました。

→(Mənim) **mindiyim** qatar vaxtında yola düşdü.
私が乗った列車は時間通りに出発しました。

Sən mənə məktub yazdın. O məktub çox gözəl idi.
君は私に手紙を書いた。 その手紙はとてもすばらしかったです。

→(Sənin) mənə **yazdığın** məktub çox gözəl idi.
君が私に書いた手紙はとてもすばらしかったです。

否定形はこれまでの多くの動詞形式と同じく、語幹のすぐ後に否定接辞-mA を付加します。

almaq 「買う」 + -mA 接辞（否定） + -dIQ 接辞（分詞化） + 人称語尾
→ yazmadığım

(mənim) almadığım kitab	私を買わなかった本
(sənin) almadığın kitab	君を買わなかった本
(onun) almadığı kitab	彼・彼女が買わなかった本
(bizim) almadığımız kitab	私たちが買わなかった本
(sizin) almadığınız kitab	君たちが／あなたが買わなかった本
(onların) almadıkları kitab	彼らが買わなかった本

（例文）

Bu gün görüşə bilmədiyim adam sabah bir daha bura gələcək?
今日私が会えなかった人は、明日またここに来るだろうか。
Ofisimizə gələn kişi bizim tanımadığımız adam idi.
私たちのオフィスに来た男性は、私たちの知らない人だった。
Mənasını bilmədiyimiz sözü lüğətdə tapmalıyıq.
意味がわからない語は、辞書で見つけなければなりません。

分詞-dIQ 形の名詞的用法

-(y)An 形分詞と同様に、-dIQ 形分詞も名詞としての役割を果たすことがあります。たとえば、aldığım kitab のような場合であれば、「（私が）読んだ本」と解釈できますが、aldığım だけで「私が読んだもの」のような意味を表すことができます。

（例文）

Takeşinin danışdığını başa düşdün?
タケシが話したことを理解した？
Gülşənə bildiyimi danışdım.
ギュルシェンに、私の知っていることを話した。
Nadirə xanım fikirləşdiyimdən daha cavan idi.
ナディレさんは、私が考えていたよりずっと若かった。

否定形もこれまでの分詞形式と同様に、動詞語幹に否定接辞-mA を付加します。

Onlar mənim türkcə başa düşmədiyimi bilmirdilər.

彼らは、私がトルコ語がわからないことを知りませんでした。

-DIQ 形分詞を使った表現

-DIQ 形分詞に関連して、以下の表現も身につけましょう。

(1) -DIQ + -dA 「～する時」

この形式は、-(y)AndA 形とよく似た意味をあらわします。

Nərgiz evdən çıxdıqda əlində heç bir şey yox idi.

ナルギズが家を出た時、手には何もなかった。

Niyə iki azərbaycalı üz-üzə gəldikdə azərbaycəcələyil, rusçalanışirlar?

どうしてアゼルバイジャン人が二人顔を合わせるとき、アゼルバイジャン語ではなくロシア語を話すのでしょうか。

(2) -DIQ (+ 人称語尾) üçün 「～したため、～したので」

理由、原因をあらわします。

Kəmalə xanım məşğul olduğu üçün axşama qədər anasına zəng edə bilmədi.

カマラさんは忙しかったので、夕方まで母親に電話できませんでした。

Mənə kömək etdiyiniz üçün təşəkkür edirəm.

私に支援をしてくださって、ありがとうございます。

(3) -DIQ (+ 人称語尾) + -dAn 「～したため」

理由や原因をあらわします。

Əlibəy Ayşədən gələn məktuba sevindiyyindən dəfələrcə o məktubu oxudu.

アリベイはアイシャから来た手紙に喜んで、何度もその手紙を読みました。

Gülənə evdə yemək yədiyindən qonaqlıqda heç bir şey yemədi.

ギョルナルは家で食事をしていたので、パーティーでは何も食べませんでした。

(4) **-DIQdAn sonra** 「～した後」

分詞に奪格語尾-dAn を付加して、さらに「後」を表す語 sonra を用います。

Universiteti qurtardıqdan sonra yapon şirkətində işləmək istəyirəm.

大学を卒業した後は、日系企業で働きたいです。

Supermarketdə bazarlıq etdikdən sonra kafedə qəhvə içdik.

スーパーで買い物をした後、カフェでコーヒーを飲みました。

(5) **-dIQcA** 「～するほど、～するたびに」

分詞に近接、継続的意味を表す語尾-cA を付加します。

Zaman keçdikcə Azərbaycan dilini unuduram.

時間が経つごとにアゼルバイジャン語を忘れていきます。

İdman etdikcəarıqlaya bilərsiniz.

運動すればするほど、体重を減らすことができますよ。

否定形の場合、「～しない限り」などの意味をあらわします。

Universitetdə yaxşı oxumadıqçayaxşı iş tapa bilməyəcəksən.

大学でよく勉強しない限り、いい仕事を見つけられないよ。

İş tapmadıqçayeni kitablar ala bilmirəm.

仕事を見つけない限り、新しい本を買うことができません。

olduqca 「かなり」, getdikcə 「徐々に」もこの形式に相当します。これらは、語彙化した表現と考えることもできます。

Aldığım kitab olduqçəbaha idi.

買った本はかなり高かったです。

Saçım getdikcəğarır.

私の髪の毛はどんどん白くなっています。（＝私の白髪はどんどん増えていっています）

(6) **-dIQI kimi** 「～するように、～する通り」

分詞形式に後置詞 *kimi* を伴い、動詞の表す意味を「～ように」「～通り」の意味に直接接続することができます。

Bildiyimiz kimi, Azərbaycan əlifbasında 32 hərf var.

私たちが知っているように、アゼルバイジャン語のアルファベットには 32 の字母があります。

Gülşənin dediyi kimi, Bakıda çox yaxşı kitab mağazaları var.

ギュルシェンの言う通り、バクーにはたくさんよい本屋さんがあります。

分詞 III: -miş 分詞形

第 14 課で動詞の完了形として *-miş* 接辞を伴う動詞形式について学習しましたが、*-miş* 接辞を伴う形式は分詞としても用いられることがあります。名詞を修飾しながら、「～した N (N=名詞)」のような意味をあらわします。

(例)

Bu forma icra olunmuş hərəkətdən əvvəlki hərəkəti bildirir. (Əliyeva et al. 2013: 263 を一部改変)

この形式は、ある行われた動作の前の動作をあらわします。

Masanın üstündə bişmiş yumurtalar var.

テーブルの上に、ゆで卵 (=料理としてできあがった卵) があります。

Oxumuş adam öyünməz.

教養のある (= (本を) 読んだ) 人は (自らを) 自慢しないものだ。

分詞 IV: -(y)AcAQ 形

アゼルバイジャン語には、未来の意味を含む分詞形式 *-(y)AcAQ* (*-(y)acaq*, *-(y)əcək*) もあります。この分詞形式で、名詞を修飾することができます。人称語尾は、動詞述語として使われる時のものではなく、名詞の所有を表す語尾が使われることに注意しましょう。

まずは、分詞形式について確認しておきます。母音の種類にしたがって未来分詞接辞部分の最後の子音が *y* や *ğ* などに変化する規則は、動詞述語形式のときと同じです。すなわち、前舌母音のときは *y* に、後舌母音のときは *ğ* に変化します。

getmək → gedəcək + Im (1人称単数形) → gedəcəyim A 「私が行く予定の A」
 almaq → alacaq + In (2人称単数形) → alacağın A 「君が買う予定の A」
 görmək → görəcək + (s)I (3人称単数形) → görəcəyi A 「彼(彼女)が見る予定の A」
 gəlmək → gələcək + ImIz (1人称複数形) → gələcəyimiz A 「私たちが来る予定の A」
 vermək → verəcək + InIz (2人称複数形) → verəcəyiniz A 「君たち(あなた)があげる予定の A」
 yazmaq → yazacaq + ları (3人称複数形) → yazacaqları A 「彼らを書く予定の A」

否定形は、動词语幹と未来分詞接辞-(y)AcAQ の間に否定接辞-mA を付加します。

gətmək gətməyəcəyim yer 「私が行く予定ではない場所」
 almaq almayacağın məhsul 「君が買う予定ではない商品」

(例文)

Yeni tikiləcək stadion çox böyük olacaq.

新しく建てられる予定のスタジアムはとても大きいものになるでしょう。

Çəkəcəyim şəkilləri mütləq sizə göndərəcəyəm.

撮る(予定の)写真を、必ずあなたにお送りします。

Sizin oxuyacağınız kitablar kitabxanamızda yoxdursa Milli Kitabxanada tapa bilərsiniz.

あなたの読む(予定の)本が私たちの図書館になれば、国立図書館で見つけることができます。

Mən Azərbaycana gedəcəyim günü səbirsizliklə gözləyirəm.

私はアゼルバイジャンに行く日を心待ちにしています。

また、未来分詞形もそれ自体が名詞として使われることがあります。その際、名詞と同様に格語尾が付加されることもあります。

(例文)

Qonaqlarımızın o oteldə qalacağını heç kim bilmirdi.

私たちのゲストがそのホテルに滞在する予定であることを、誰も知りませんでした。

Gələn ay Yaponiyaya gedəcəyimi bilirdiniz (mi)?

来月私(が)日本に行く予定であることをご存知でしたか?

Bazar günü atamın yenə işə gedəcəyinə inana bilmirdim.

日曜日、父(が)また仕事に行く予定であることが私には信じられませんでした。

第 25 課 練習問題

1. 以下の問題に解答してください。

(a) 例にならって、次の動詞を-(y)An 型分詞形に書き換えてください。

例：gəlmək → gələn

(1) olmaq (2) etmək (3) qorxmaq (4) istəmək (5) tanımaq

(b) 例にならって、次の動詞を-(y)An 型分詞否定形に書き換えてください。

例：oyanmaq → oyanmayan

(1) içmək (2) satmaq (3) işləmək (4) uçmaq (5) gəlmək

2 以下の各問で、-(y)An 分詞を使った語句の意味を答えてください。

- (1) 今日、わたしの家に来た男性
- (2) 木の下に立っている(dur-)女の子
- (3) 先週私に手紙を渡した女性
- (4) 水を飲まないねこ
- (5) ギャンジャ(Gəncə)へ行く列車

3. 以下の各問にある 2 つの文を、例にならって一文であらわしてください。

(例) Adam ağacın altında durur. Mən ona baxıram.

→ Mən ağacın altında duran adama baxıram.

(1) Qardaşım Bakıda yaşayır. Biz onunla görüşməyə getdik.

→

(2) Atam həkimdir. Mən atama hörmət edirəm.

→

(3) Maşın o küçədə dayanıb. O maşın mənimdir.

→

(4) Qapıdan adam girdi. Mən o adamı tanımıram.

→

4. 次の分詞を用いた各名詞句の意味を日本語で答えてください。

- (1) hazırladığım sənəd
- (2) evləndiyin adam
- (3) həll etdiyi problem

- (4) qorxduğumuz adam
(5) müvəffəqiyyət qazandıqları iş

5. 日本語を参考にして、次の文の空欄に当てはまる語尾や語を入れて文を完成させてください。

(1) Yataqda yat..... () pişiyim də yatağa gəldi.

ベッドに横になった時、猫もベッドにやってきました。

(2) Evdə ol..... () onunla görüşmədim.

私は家にいなかったなので、彼と会うことができませんでした。

(3) Dilarə universitetdə yapon ədəbiyyatı öyrən..... o müəllifin əsərini yaxşı bilir.

ディラーラは大学で日本文学を学んだので、その作家の作品にくわしいです。

(4) Evə qayıt..... () pişiklərə yem verməliyəm.

家に帰ってから、ねこたちにエサをあげないといけません。

(5) Qar yağ..... hava soyuyur.

雪が降れば降るほど、空は寒くなります。

(6) Səkinənin de..... () rus dili asan deyil deyə fikirləşirəm.

セキネの言うように、ロシア語はやさしくないと思います。

6. 次の文の空欄部分に、適切な-miş 分詞形式、または-(y)AcaQ 分詞形式を用いて文を完成させてください。

(1) Tətildə (get-) tələbələr artıq Bakıya qayıtdılar?

休暇に行った学生たちはもうバクーに戻りましたか。

(2) O, 1929-cu ildə inşa (olun-) binadır.

あれは 1929 年に建てられた建築物です。

(3) Bizim yapon dili dərslərimizdə Azərbaycanlı (gəl-) tələbələr də var.

私たちの日本語教室には、アゼルバイジャンから来た学生たちもいます。

(4) Takeşinin bir il daha Bakıda (ol-) eşitmişəm.

タケシがもう 1 年バクーにいる予定であることを聞いています。

(5) Azərbaycanda (oxu-) mövzu dilçilikdir.

アゼルバイジャンで私が勉強する予定のテーマは言語学です。

(6) Mağazada (al-) məhsulların siyahısı var?

私たちが店で買う予定の商品のリストはありますか。

コラム：アゼルバイジャン語で「魚が焼ける匂い」はどう言うか？

第 25 課までに-(y)An 形式、-DIQ 形式の分詞の使い方について学習しました。基本的には、分詞と名詞が主語の関係にあるときは-(y)An 形、分詞と名詞が目的語や補語（方向格や位置格、奪格など）を表す場合は-DIQ 形の分詞を用いる、と覚えておくとよいでしょう。簡単にまとめておくと、次のようになります。

この本を書いた先生	bu kitabı yazan müəllim
私たちが行った街	bizim getdiyimiz şəhər
太郎たちが勝ったチーム	Tarogilin qalib gəldiyi komanda
田中さんが住んだ国	Tanaka bəyin yaşadığı ölkə
花子が旅行に出かけた日	Hanakonun səyahətə çıxdığı gün

ところで、「魚を焼く匂い」や「花子が学校を休んだ理由」などはどうやって表現するのでしょうか。これらの表現も「匂い」や「理由」などの名詞を、文が修飾していることがわかりますが、分詞部分との文法関係は(間違いなくなにか関係はありそうなのですが)、いまひとつはっきりしていません。アゼルバイジャン語でも、たとえば以下のようにこれらのような表現をしたい場合、上記の分詞でなく別の方法を使って表現します。

政治家がわいろをもらった（という）事実	Siyasətçinin rüşvət alması faktı
今後またバクーに行く可能性	Bundan sonra Bakıya getmək ehtimalı

太字部分であらわされているように、これらのようなパターンでは修飾されている名詞に 3 人称単数の所有語尾がついていて、A B(-si)の名詞修飾のパターンをとることになるわけです。

魚が焼ける匂い	Balıǵı qızardan zaman gələn qoxu
---------	----------------------------------

さらに最後の「魚が焼ける匂い」の例では、分詞-An 形式（「焼く」=qızartmaq の分詞形で qızardan）が使われていますが、この分詞が修飾しているのは「匂い」を表す iy の部分ではなく、「時」を表す名詞、zaman のほうです。つまり、日本語に直訳すると「魚を焼く時にくる匂い」ということになるわけで、日本語のように「魚が焼ける」の部分が直接「匂い」を修飾することはできないことがわかります。

なお、最後の例では日本に行くのが誰かによって、名詞部分の所有語尾が変化すること
も知っておくとよいでしょう。

(私が) 今後またバクーに行く可能性

Bundan sonra Bakıya getmək ehtimalım

(君が) 今後またバクーに行く可能性

Bundan sonra Bakıya getmək ehtimalın

第 26 課 付属語-dI による動詞の拡張

これまで、アゼルバイジャン語のいくつかの時制を表すタイプの接辞を見てきました。それらの接辞を用いた動詞形式に、過去を表す付属語-dI を付加することによって様々な意味をあらわします。ここでは、4つのパターンを学習しましょう。

(1) 過去進行 -(y)İrdİ (-(y)İr + -dİ) 「～していた」

現在時制接辞-(y)İr と過去の付属語-dI を組み合わせて、過去にある動作やできごとと継続して行われていたことを表す形（過去進行形）になります。必要に応じて人称語尾を付加するのは、これまでの動詞形式と同じです。

yatmaq 「寝る」	gəlmək 「来る」
mən yatırdım	mən gəlirdim
私は寝ていました。	私は来ていました。
sən yatırdın	sən gəlirdin
o yatırdı	o gəlirdi
biz yatırdıq	biz gəlirdik
siz yatırdınız	siz gəlirdiniz
onlar yatırdılar	onlar gəlirdilər

(例文)

Sənin üçün çox darıxırdım.

君のことをなつかしんでいました（私は）。

Padişah qızını çox istəyirdi.

王様は、娘（が生まれるの）をととても欲しがっていました。

Mən 2015-ci ildə Ankara Universitetində işləyirdim.

私は 2015 年にアンカラ大学で働いていました。

Mağazaya get-gedə daha çox müştəri girirdi.

店の中にだんだんお客さんが入っていきました。

Tanaka müəllim Tokioda olanda universitetlərdə fransız dili tədris edirdi.

田中先生は東京にいるとき、大学でフランス語を教えていました。

否定形は、-(y)İr 接辞の前に否定接辞-m を付加します。

mən yatmırdım
私は寝ていませんでした。

mən gəlmirdim
私は来ていませんでした。

sən yatmırdın

sən gəlmirdin

o yatmırdı

o gəlmirdi

biz yatmırdıq

biz gəlmirdik

siz yatmırdınız

siz gəlmirdiniz

onlar yatmırdılar

onlar gəlmirdilər

(例文)

Biz Bakıya gəlməzdən əvvəl Azərbaycan dilini yaxşı bilmirdik.

私たちはバクーに来る前は、アゼルバイジャン語がよくわかりませんでした。

O qayıtmaq istəmirdi.

戻りたくありませんでした。

(2) 未来時制 -(y)AcAQ+過去の付属語 -dI 「～する予定だった」

この形式は未来時制形式-(y)AcAQ に過去の付属語-dI を組み合わせたもので、「～する予定だった；～するはずだった」といったように、過去のある時点である出来事その後発生する予定だったが、結果的には実現しなかったという意味を含意します。

動詞 未来過去複合時制 (3 人称単数)

görmək görəcəkdİ

qalmaq qalacaqdı

istəmək istəyəcəkdİ

xoşlamaq xoşlayacaqdı

また人称語尾は、-dI 過去形のパターンのものが付加されます。

gələcəkdİm 私は来る予定だった

gələcəkdİN 君は来る予定だった

gələcəkdİ 彼（彼女）は来る予定だった

oxuyacaqdıq 私たちは読む予定だった

oxuyacaqdİNIZ 君たちは（あなたは）読む予定だった

oxuyacaqdılar 彼らは読む予定だった

(例文)

Bu gün uşaqlarla futbol oynayacaqdım.

今日は子どもたちとサッカーをするはずでした（が、しませんでした）。

Sabah imtahan olacaqdı, lakin müəllim məktəbə gəlməyəcəyini dedi.

明日はテストの予定でしたが、先生は（自分が）学校に来ないだろうと言いました。

Bir həftə İstanbulda qalacaqdım, amma dostum mənim Bakıya erkən gəlməyimi istədiyi üçün tələsik yola düşdüm.

私は1週間イスタンブールに滞在する予定でしたが、友人がなるだけ急いでバクーに来て欲しかったようなので、急いで出発しました。

Az qala yerə yıxılacaqdım. Yolda böyük bir daş var idi, lakin mən onu görmədim.

もう少しで転ぶところでした。道端に大きな石が一つあったのですが、私はそれを見ていなかったのです。

(3) 過去完了を表す mİş +過去の付属語- dI 形式

完了形の-mİş と過去の付属語-DI が組み合わさると、ある過去の時点ですでにその出来事が発生していたことをあらわします。人称語尾は、付属語-dI 動詞形式の一番最後に付加されます。このパターンは、過去形式のときに用いられる語尾であることに注目してください。

動詞語幹	+	(否定接辞 -mA)	完了 mİş	+	定過去 dI	+	人称語尾
------	---	------------	--------	---	--------	---	------

al- 「買う」 + mİş + dI → almışdı

düşmək 「降りる」 + mİş + dI → düşmüşdü

(mən) almışdım

(mən) düşmüşdüm

(sən) almışdın

(sən) düşmüşdün

(o) almışdı

(o) düşmüşdü

(biz) almışdıq

(biz) düşmüşdük

(siz) almışdınız

(siz) düşmüşdünüz

(onlar) almışdılar

(onlar) düşmüşdülər

(例文)

Onun yazdığı məqalə, ölkəsində böyük müzakirələrə səbəb olmuşdu.

彼が書いた記事は、当国で大きな論争の原因となっていた。

Takeşi məktəbə gələndə hamı artıq getmişdi.

タケシが学校に来ると、みんなとっくに行っていました。

Dünən mən zəng etdiyimdə artıq yatmışdın?

昨日僕が電話したとき、もう寝てしまっていたの？

İndiyə kimi bu qədər dadlı içki içməmişdim.

今までこれほどおいしいお酒を飲んだことはありませんでした。

(4) 習慣的過去を表す(y)Ar + DI 形式

この形式は、過去のある時点での習慣、または継続的に行われていた出来事を表す時に用いられます。

動詞語幹	+	(否定接辞 -mA)	中立形 -(y)Ar	+	過去の付属語 -dI	+	人称語尾
------	---	------------	------------	---	------------	---	------

(例文)

Baım otağında çox kitab oxuyardı.

妹は、私の部屋でたくさん本を読んだものだった。

Atam həmişə mənə "Çöoxumalısan" deyərdi.

私の父は、いつも私に「よく勉強しなきゃいけないよ」と言っていたものでした。

Əvvəllər beysbol oynamağı xoşlayardım, amma indi heç oynamıram.

以前は野球をするのが好きでしたが、今は全くやりません。

Nadirə uşaqlıqda heç xəstələnməzdı, indi isə ona tez-tez soyuq dəyir.

ナディラは子どものころは全く病気をしないものでした。今はしょっちゅう風邪をひいています。

第 26 課 練習問題

1. 以下の文のカッコ内の動詞部分を書き換えて、過去進行形(-(y)İrdİ)にして文を完成させてください。

(1) Mən məktəbə gələndə, Nərgiz dostlarıyla söhbət (et-).
私が学校に来た時、ナルギズは友人たちと会話をしていました。

(2) Biz səni çoxdan görmək (istə-).
私たちは君に長い間会いたかったのです。

(3) O kişi öz gələcəyi haqqında (düşün-).
その男性は自分の将来について考えていました。

(4) Mirzə ilə ilk görüşəndə də olduqca yaxşı yaponca (bil-).
ミルザは初めて会った時も、かなり日本語を知っていました。

(5) Heç xəbər olmadığından sənin üçün (darıx-).
ぜんぜん便りがなかったから、君を恋しく思っていましたよ。

2. 以下の文のカッコ内の動詞部分を書き換えて、反実仮想を表す形(-(y)AcAQdİ)にして文を完成させてください。

(1) Dünən dostumla kinoteatra (get-), amma bu səhər birdən-birə o gələ bilmədiyini dedi.
昨日友人と映画館に行く予定だったのですが、今朝突然その友人が来られないと言いました。

(2) Mən sizi "28 May" stansiyasında (qarşıla-), lakin siz gəlmədiniz.
私はあなたを 28 May 駅でお迎えする予定でしたが、いらっしゃいませんでしたね。

(3) Mən az qala mühüm sənədləri zibil qutusuna (at-).
私はもう少しで大事な書類をゴミ箱に捨てる所でした。

(4) Dünən Sevil evdə bir kitab (oxu-), amma ev tapşırığı çox olduğu üçün oxuya bilmədi.
昨日セヴィルは家である本を読む予定でしたが、宿題がたくさんあったので読めませんでした。

(5) Müəllim, sizdən bir şey (soruş-), amma sualı tamamilə unutdum.
先生、先生に一つ質問するつもりだったのですが、質問をすっかり忘れてしまいました。

3. 過去完了を表す形式(-mİşdİ)を使って、以下の文を完成させてください。

(1) Mən vağzala gələndə, qatar artıq yola (düş-).

私が駅に来た時、列車はすでに駅を出発してしまっていました。

(2) Biz axşam saat 10-da evə qayıdanda, yoldaşım çoxdan yemək (ye-).

私たちが夜 10 時に家に戻った時、夫はとっくに食事を済ませてしまっていました。

(3) Dostuma məktub (göndər-) və dostum buna çox sevindi.

私は友人に手紙を送っていて、友人はとても喜んでくれました。

(4) İki ildən bəri Əliylə Kəmalə (görüş-).

2 年前から、アリとカマラは互いに会っていませんでした。

(5) O mahnını 20-ci əsrdə ondan başqa kimsə (oxu-).

その歌を、20 世紀は彼以外誰も歌っていませんでした。

4. 過去の習慣を表す形(-ArdI)を使って、文を完成させてください。

(1) Keçmişdə əmimlə Bakıdakı Sahil Bağını (gəz-).

昔はよく叔父と一緒にバクーの海岸公園を散歩したものです。

(2) Atam sağ olanda, gecə saatlarında heç spirtli içki (iç-).

父は生前、夜の時間帯にはまったくアルコールを飲みませんでした。

(3) Anam həmişə bizə "Başqalarının işinə qarışma" deyərdi.

私の母は、いつも私たちに「他人のことに干渉しないように」と言っていたものでした。

(4) Əvvəllər beysbol oynamağı xoşlayardım, amma indi heç oynamıram.

以前は野球をするのが好きでしたが、今は全くやりません。

第 27 課 動詞の連用形

-(y)ArAQ 形式

ある動作や出来事が同時進行で引き継いで起こること（継起）を表す時には、動詞語幹に-(y)ArAQ (-y)araq, -(y)ərək)接辞を付加します。動詞語幹が母音で終わる場合には、子音 y を間に挟みます。

vermək 「あげる、与える」	verərək	「与えながら」
almaq 「もらう、買う」	alaraq	「もらいながら」
istəmək 「望む、ほしがる」	istəyərk	「望みながら」
oxumaq 「読む」	oxuyaraq	「読みながら」

(例文)

Kitab oxuyaraq yemək yeməməlisən.

本を読みながらご飯を食べてはいけません。

O gülərək müəllimin söhbətinə qulaq asırdı.

彼は笑いながら先生の話聞いていた。

Biz çay içərək söhbət etdik.

私たちはお茶を飲みながら会話をしました。

上の例で、-(y)ArAQ 形式によって二つの出来事（動作、状態を含む）が示されているとき、どちらも主語が同じであることに注意してください。

Mən qəzet oxuyaraq televizora baxırdım.

私は新聞を読みながら、テレビを見ていました。

(新聞を読む人=私、テレビをみていた人=私)

×Qardaşım qəzet oxuyaraq televizora baxırdım. (×「私の弟は新聞を読みながら、私はテレビを見ていました」という文が日本語でも不自然であるのと同様に、アゼルバイジャン語でもこのようには言えません)

また、olaraq は前の名詞や形容詞を受けて「～として、～でありながら」などの意味をあら

わします。

Vizaya baxılma müddəti səfərin məqsədindən və başqa səbəblərdən asılı olaraq müxtəlifdir.

ビザ関連業務時間は、渡航目的、またはそれ以外の理由に基づいて (= 基づくものとして) 異なります。

Mən Azərbaycan Dillər Universitetində xarici tələbə olaraq oxuyuram.

私はアゼルバイジャン言語大学で、留学生として勉強しています。

動詞連用形としての-(y)İb 形式

この動詞形式はすでに第 X 課で完了形としての用法を見ましたが、連用形として使われると「A して、B」というような出来事の前後関係をあらわします。

gəlmək →	gəlib	qalmaq	→	qalıb
görmək →	görüb	qoymaq	→	qoyub

動詞語幹が母音で終わる時は、連用形接辞と語幹の間に介入子音 y が入ります。

işləmək →	işləyib	xoşlamaq	→	xoşlayıb
-----------	---------	----------	---	----------

否定形の場合は、動詞語幹にまず否定接辞-mA を付加し、さらにその後に-yİb 接辞を付加します。

gəlmək →	gəlməyib	baxmaq	→	baxmayıb
	(gəl-mə-yib)			(bax-ma-yib)

(例文)

Takeşi Gülşənin səsini eşitib, ona tərəf getdi.

タケシはギュルシェンの声を聞いて、彼女の方へ行きました。

Sən mesajımı oxuyub heç cavab yazmadın!

君、わたしのメッセージを読んで (読んだのに)、全然返事を書かなかったでしょう!

Bazardan tərəvəzlər alıb evə qayıtdım.

市場で野菜を買って、家に戻りました。

※-(y)Ib 形式に関連して、従属節の諾否疑問文（「～かどうか」）を表すことができます。
このとき、同じ動詞の-(y)Ib 形式と、その否定形をハイフンでつないであらわします。

（例文）

Sabah Əlinin iclasa gəlib-gəlməyəcəyini bilmirəm.

明日、アリの会議に来るかどうか（私には）わかりません。

Atam otağıma gəldi və mənim xəstə olub-olmadığımı soruşdu.

父が私の部屋に来て、私が具合が悪いかどうかを尋ねました。

İndi onun yalan danışib-danışmaması məsələ deyil.

今は彼がうそをついたかつかなかったかは問題ではありません。

-(y)A -(y)A 形式

動詞連用形には、動詞語幹に-(y)A 接辞を付加し、さらにハイフンを伴いつつ同じ形式を重複させて、「～しながら」という付帯状況を表す用法もあります。

danışmaq

danışa-danışa

oxumaq

oxuya-oxuya

gülmək

gülə-gülə

istəmək

istəyə-istəyə

（例）

Mən radio dinləyə-dinləyə əlyazmanı qurtarmağa çalışırdım.

私はラジオを聴きながら、原稿を終わらせようとしていました。

Fatimə xanım qonşuyla danışa-danışa yemək bişirdi.

ファティマさんはお隣さんと話をしながら料理を作りました。

İstəməyə-istəməyə məktəbə gedib dərslərə girdim.

私はいやいや（=望まないで）学校へ行って、授業を受けました。

第 27 課 練習問題

1. 次の動詞を-(y)ArAQ 連用形、-(y)Ib 連用形に書き換えてください。

(例) gəlmək → gələrək, gəlib

- (1) alışmaq (2) göstərmək (3) darıxmaq (4) dincəlmək
(5) yerimək (6) doldurmaq (7) təmizləmək (8) incimək

2. 次の空欄部に、-(y)ArAQ 形式を伴う適切な語を入れて文を完成させてください。

(1) Mən xəritəyə (bax-) Tatarıstanı axtardım.

私は地図を見ながら、タタールスタンを探しました。

(2) Qapını (aç-) uşaqları içəri dəvət etdik.

私たちはドアを開けながら、子どもたちを家の中に招きました。

(3) Biz ilk (ol-) Tokioda fəaliyyət göstərəcəyik.

私たちは、はじめに (=手はじめとして) 東京で活動を始める予定です。

3. 下線部に注意して、次の文を日本語に訳してください。

(1) Bilə-bilə zarafat edirsən.

(2) Atam mənim əziyyət çəkdiyimi görə-görə mənə heç bir şey demir.

(3) Azərbaycan dilində danışmaya-danışmaya sözlərin çoxunu unudum.

※語彙

zarafat 冗談 əziyyət çəkmək 悩む

4. 次の文中のカッコ内の動詞を-(y)Ib 連用形、または-(y)ArAQ 連用形に書き換えてください。また、それぞれの文を日本語になおしてください。

(1) Bu səhər erkən (oyan-), səhər yeməyi (ol-) çörək və yumurta yedim.

(今朝は早く起きて、朝食にパンと卵を食べました)

(2) Tofiq bəyə telefon (et-), ofisə gelib-gəlməyəcəyini soruşarsınız?

(トフィグさんに電話をして、オフィスに来るかどうかが聞いてくれますか)

(3) Anam televizorda xəbərə (bax-) axşam yeməyini bişirməyə başladı.

(母はテレビのニュースを見てから夕食を作りはじめました)

- (4) Takeşi (gül-) Gülşənin sualına cavab verdi.
(タケシは笑いながら、ギェルシェンの質問に答えました)
- (5) İndidən kafeyə (get-) qəhvə içəcəyəm.
(これからカフェに行って、コーヒーを飲む予定です)
- (6) Mən dünən spirtli içki (iç-) xatırlamıram.
(私は昨日、自分がお酒を飲んだかどうか覚えていません)
- (7) Onun e-mailini (oxu-) tezliklə ona cavab verdim.
(彼の E メールを読んで、すぐ返事をしました。)
- (8) Oxuyasım gəlməyəndə radio (dinlə-) stula əyləşərəm.
(やる気が出ないときは、まずラジオを聴きながら椅子に座ります)
- (9) CDnin səsini yaxşı (dinlə-) düzgün cavabı seçin.
(CD の音声をよく聞いて、正しい答えを選んでください)
- (10) Uyğun gələn sözü (seç-) cümlələri tamamlayın.
(適切な語を選んで、文を完成させてください)

コラム：アゼルバイジャン語とテュルク諸語

アゼルバイジャン語はすでに本書の冒頭などでも触れているように、アゼルバイジャンや周辺諸国を中心に話されている言語で、いわゆるテュルク諸語（テュルク諸語とも表記されることがあります）に属します。テュルク諸語にはサハ語やドルガン語（北東グループ）、タタール語、カザフ語、キルギス語（北西グループ）、またウイグル語やウズベク語（南東グループ）などがありますが、アゼルバイジャン語はトルコ語やトルクメン語、バルカン地域で話されているガガウズ語などとならんで、いわゆる南西グループに属しています。したがって音韻や形式などの面で南西グループと共通した特徴があり、特にトルコ語とはかなり近い関係にあります。たとえば、語彙レベルではアゼルバイジャン語とトルコ語とで、以下のような対応関係があります（なお、トルコ語のアルファベット、またその読み方については、ここではə, q, xなどを除いてほぼアゼルバイジャン語と同様です）。

アゼルバイジャン語	意味	トルコ語
süd	牛乳	süt
qardaş	兄弟	kardeş
Yaponiya	日本	Japonya
qurmaq	建てる	kurmak
bişirmək	料理する	pişirmek
getmək	行く	gitmek
üz	顔	yüz
daramaq	毛をとかす	taramak
pambıq	綿（わた）	pamuk
köprü	橋	köprü

また、語の意味が（似ているものの）異なっていることもあります。

アゼルバイジャン語	意味	トルコ語	意味
kişi	男性	kişi	人（性別問わない）
düşmək	降りる	düşmek	落ちる
danışmaq	話す	danışmak	相談する
baba	祖父	baba	父

このほか、全く違う語が使われていることも多くあります。

アゼルバイジャン語	意味	トルコ語の対応語
açar	鍵	anahtar
asan	簡単だ、易しい	kolay
darıxmaq	寂しがる、なつかしむ	özlemek
kök	太っている	şişman
kartof	ジャガイモ	patates

第 28 課 接続詞

語と語、あるいは語句と語句、文と文など、文を構成する単位どうしをつなぐ（接続する）語を接続詞と呼びます。アゼルバイジャン語で使う接続詞にはいくつかの種類がありますが、ここでは基本的な 3 つの接続詞を覚えましょう。

A. 順接の接続詞 *və*

「A、そして B」のような意味で文を構成する単位どうしをつなぎます。

Lügətlər *və* kitablar çox vacibdir.

辞書や本はとても大切です。

B. 逆接の接続詞 *amma*

「A、しかし B」のような意味で文などを構成する単位どうしをつなぎます。

Nənəm yaşlı, *amma* çox sağlamdır.

私の祖母は高齢ですが、とても元気です。

Bu kitab çox maraqlıdır, *amma* o kitab maraqlı deyil.

この本はとても面白いですが、あの本は面白くないです。

C. 選択の接続詞 *ya*

「A、あるいは B」のような意味で、語や文の選択肢を提示します。このとき、人称を表す語尾は最初の等位項にのみ付加され、*ya* のあとの等位項に付加されていないことに注意してください。

Əli müəllimdir *ya* tələbə?

アリは先生ですか、それとも学生ですか。

Cavab A-dır *ya* B-dir.

答えは A か B です。

Siz subaysınız *ya* evli?

独身ですか、それとも結婚していますか。

※選択の接続詞のあとの語には、人称語尾の付加が省略される傾向があります。

対比を表す *isə*

あることがらに対比する形で文を説明する際、対比の対象となる名詞を *isə* であらわします。

Bu, kitabdır. O *isə* lüğətdir.

これは本です。あれは、辞書です。

Mənim adım Makotudur. Soyadım *isə* Tobedir.

名前はマコトです。名字は、トベです。

Tofiq gəncdir. İlham *isə* qocadır.

トフィグは若いです。イルハムのほうは高齢です。

関係接続詞 *ki*

アゼルバイジャン語で従属節を形成するには、第 25 課で学習した *-dIQ* 接辞や *-An* 接辞による分詞を用いる方法がありました。そのほかに、従属接続詞 *ki* を用いて従属節が導かれることがあります。このタイプの従属節もよく用いられます。関係接続詞 *ki* による従属節では、コンマを *ki* のすぐ後に置きます。また、従属節と主節の順序が *-dIQ* や *-An* 接辞を伴う分詞の従属節とは逆になることに注意しましょう。

Başa düşdüm. (私は) 理解した。

O, sabah iclasa gəlməyəcək. 彼は明日会議には来ないだろう。

→ Başa düşdüm ki, o, sabah iclasa gəlməyəcək.

私は、彼は明日会議にこないだろうということを理解した。

Mən elə fikirləşdim ki, onlar evdə heç kitab oxumurlar.

私が考えたのは、彼らは家でまったく本を読んでいないということだ。

İstəyim odur ki, bir gün Yaponiyaya gedib universitetdə yapon dilçiliyi haqqında dərslər alasan.

私が望んだのは、いつか君が日本に行って、日本語学について授業を受けるということです。

Biz həmişə xatırlamalırıq ki, xarici ölkədə yaşamaq şübhəsiz olaraq çətindir.

わたしたちはいつも覚えておかないといけないことがあって、（それは）外国で生活するということはまちがいなく難しいということです。

Nə yaxşı ki, Azərbaycanda da sizin kimi yapon dilini öyrənmək istəyən tələbələr var!

なんとすばらしいことでしょうか、アゼルバイジャンでも君たちのように日本語を勉強したいと思っている学生がいます。

Nə vaxtsa düşünmüşünüzmü ki, bu musiqi parçaları hansı bəstəkarlar tərəfindən bəstələnib?

考えたことがありますか、これらの音楽の小節はどの作曲家によって作られたか。

また、理由を表す用法の関係接続詞 ki の用法も確認しておきましょう。

Xəstəxanaya getdim ki, dostuma baş çəkim.

友人にお見舞いしようということで、病院に行った。

（病院に行ったのは、友人にお見舞いをしようということだった）

Sən bəxtəvərsən ki, bu il üç dəfə ölkəmizə gələ bildin.

今年3回も私たちの国に来れたなんて、君は運がいいよ。

等位接続詞

等位接続詞には、以下のようなものがあります。

(A) **fəqət** 「しかし」：逆接の接続詞で、前後で逆の内容をあらわします。

Gülnar azərbaycanca danışa bilir, fəqət ingliscə danışa bilmir.

ギュルナルはアゼルバイジャン語を話せますが、英語は話せません。

O, bu gün bizə gələcəkdi, fəqət nəticədə gəlmədi.

彼は今日私たちのところに来るはずでしたが、結局来ませんでした。

Orada siqaret çəkmək qadağan idi, fəqət o adam bilə-bilə çəkməyə çalışdı.

そこでの喫煙は禁止されていましたが、その人は無理やり吸おうとしました。

(B) **ancaq** 「ただし、ただ」：fəqət, amma などとほぼ同じように、逆接的な内容を表す接続詞です。

Bu bilet ilə avtobusa minmək mümkündür, ancaq metroya minə bilməzsən.

この切符でバスに乗ることはできますが、ただし地下鉄には乗れません。

Dostlarımlın çoxu evimə gəldi, ancaq Əli gələ bilmədi.

友人の多くが私の家に来てくれましたが、アリは来れませんでした。

Türkiyədə 5 il işlədim, ancaq türkcəm fikirləşdiyim qədər yaxşı olmadı.

トルコで5年働きましたが、トルコ語は自分が考えたほどうまくありませんでした。

(C) **Həm... həm (də)** 「～も～も」

この接続詞は並列的に使われます。

Həm Gülşən, həm də Tofiq yapon dili öyrənmək istəyirlər.

ギュルシェンもトフィグも、日本語を勉強したいと思っています。

Takeşi həm Azərbaycan tarixini oxuyur, həm də yapon tarixini öyrədir.

タケシはアゼルバイジャン史の勉強もしていますし、日本史を教えるもいます。

Müəllimimiz həm səmimi, həm çalışqan, həm də ağıllıdır.

私たちの先生はフレンドリーで真面目で、そしてクレバーです。

(D) **Nə ... nə (də)** 「～も～も... (ではない)」

この接続詞は否定的な意味を表すときに用いられます。このとき、等位接続されるそれぞれの文の述語を否定形にしたり、否定語 *deyil*, *yox* などを使ったりしないことに注意してください。

Dünən nə yemək yedim, nə də su içdim.

昨日はご飯も食べませんでしたし、水も飲みませんでした。

Məktəbdə nə Laləni, nə də Leylanı gördüm.

学校ではララもレイラも見ませんでした。

その他の接続詞

その他、使い方を覚えておきたい接続詞について学習しましょう。

(1) **həmçinin** 「また、同様に、あわせて」

Azərbaycanda Bakı Dövlət Universiteti, həmçinin Azərbaycan Xarici Dillər Universitetində yapon dili fakültəsi mövcuddur.

アゼルバイジャンにはバクー国立大学、またアゼルバイジャン外国語大学に日本語学科が

あります。

Sadəcə balıq yox, həmçinin tərəvəzlər sağlamlığımız üçün faydalıdır.

魚だけではなくて、同様に野菜も私たちの健康のためによいです。

(2) yox 「(A)ではなく、(B)」

Nə yemək yox, nə zaman yemək önəmlidir.

何を食べるかではなく、いつ食べるかが重要です。

Müəllim sənə, mən yox.

先生は君です。私じゃないよ。

Mən tək özüm üçün yox, sizin üçün danışırım.

私は自分のためじゃなくて、あなたのために言っているんですよ。

第 28 課 練習問題

1. 日本語訳を参考にして、空欄部を埋めてください。

(1) () sən, () () o, maşın sürə bilərsiniz.

君も彼も車の運転ができますよね。

(2) Cavan olanda () pulum, () () maşınım var idi.

若いころは、わたしはお金も車も持っていませんでした。

(3) Sabah ofisə saat on birdə gələ bilərsən, () gecikmə.

明日はオフィスに 11 時に来ていいけど、遅れないでね。

2. 空欄部に適切な接続詞を入れて、文を完成させてください。

(1) Ümid edirəm (), () Azərbaycan, () () türk dilində danışa bilən olacağam.

私は、アゼルバイジャン語もトルコ語も話せるようになることを望んでいます。

(2) Lalə xanım bu gün gəlməyəcək, () sabah saat 12-dən sonra gələcək.

ララさんは今日来ないでしょう。ただし、明日は 12 時以降に来る予定です。

(3) Atam və anam Bakıda (), Sumqayıtda yaşayırlar.

私の父と母はバクーではなくて、スムガイトに住んでいます。

(4) Mən () içki içirəm, () () siqaret çəkirəm.

私はお酒も飲まないし、たばこも吸いません。

(5) Yaponiyada yaponca, Ainuca, () Ryukyu dilləri də danışılır.

日本では日本語、アイヌ語、また琉球諸語も話されます。

(6) Sən düzgün yazmamısan, "köprü" (), "körpü" yazmaq lazımdır.

君は正しく書いていませんでしたね。köprüではなく、körpü と書かなければなりません。

3. 次の各例について、語を並べ替えて文を完成させてください。

(1) (həqiqətdir / mən / əminəm / bu / ki / tam / bu /).

(2) (həm / həm / həm də / çatdırırıq / Bakıya / bölgələrə / xarici ölkələrə / kitabları/)!

(3) (Dünən / yatdım / nə / yedim / yemək / nə də /).

(4) (Mən zənn edirəm ki / həm / həm də / bir gün sonra / sabah/ olacaq / yağışlı/).

(5) (Əli Gülşəndən (iclasa / saat üçdə / soruşdu / ki / gələcək / ya yox/).

コラム：語順について

ここまでの学習で、アゼルバイジャン語の語順はいわゆる SOV 型（主語、目的語、（述語）動詞の順）が基本的であることがわかりました（ただし、例外もありました）。この点で、アゼルバイジャン語の語順は日本語とよく似ていると言えます。また、文頭の人称代名詞や所有代名詞などが省略されることが多いことも気づかれた人も多いでしょう。これは、人称代名詞が主語にあたる時、述語に主語を表す人称語尾が付加されることによって、「誰が」その述語の行為者、または動作主なのかがわかるためであると考えられます。

(Mən) Bakıda Azərbaycan dilini öyrənirəm.

（私は）バクーでアゼルバイジャン語を勉強しています。

同様に、名詞にも所有者の人称語尾がつくことから、「誰の」ものかを表す名詞、つまり所有代名詞が省略されることも多いです。

(mənim) maşınım 私の車
(sənin) çantan 君のカバン

また基本語順に関して、話し手が聞き手に対して特に伝えたい情報（聞き手にとって新しい情報だと話し手が想定する部分、と言い換えてもよいでしょう）は通常、述語のすぐ前の位置に来ます。

Mən kinoteatrda Həsəni gördüm.

私は映画館で、ハサンを見ました。（「ハサンを」の部分が話し手が最も伝えたい情報）

Mən Həsəni kinoteatrda gördüm.

私はハサンを、映画館で見ました。（「映画館で」の部分が話し手が最も伝えたい情報）

Həsəni kinoteatrda mən gördüm.

ハサンを映画館で、私が見ました（「私が」の部分が話し手が最も伝えたい情報）

上の3つのいずれの例文も、「私（＝話し手）が映画館でハサンを見た」ことを伝えていますが、話し手が聞き手に対して特に伝えたい部分（焦点とも言います）が動詞述語のす

ぐ前に置かれています。このとき、その伝えたい部分は実際の発話でも強く発音されることとなります。このあたりのしくみについても、日本語と似ていると言えるでしょう。

1. Heydər Əliyev

Müstəqil Azərbaycan! Sadə iki söz, lakin özündə bir dünya məna dayışan bir ifadə. Müstəqil Azərbaycanın adı əlbəttə ki, ümummilli lider Heydər Əliyevin adı ilə anılır. Ölkəmizi inkişafa, çiçəklənməyə, dünyaya tanımaqda böyük və əvəzsiz rolu olan dahi şəxsiyyət. Azərbaycan tarixinə adı qızıl hərflərlə yazılan Heydər Əlirza oğlu Əliyev 1923-cü il mayın 10-da Naxçıvanda dünyaya göz açıb. Bakı Dövlət Universitetinin Tarix fakültəsi məzunudur. Hələ SSSR-i dövründə onun ölkə rəhbərliyinə gəlişi ilə, Azərbaycanda görünməmiş canlanma və yüksəliş işləri başlayır. Dövlət müstəqilliyini 1991-ci ildə yenidən bərpa etmiş Azərbaycan hakimiyyəti hələ də qarışıq idi. O dövrdə baş verən xaosu Heydər Əliyev son qoydu. Onun gəlişi ilə bütün sahələrdə mədəniyyət, təhsil, kənd təsərrüfatı, sənaye və iqtisadiyyatda böyük uğurlar əldə edilib. Mühim addımlardan biri də Azərbaycan dilinin dövlət dili kimi təsbit edilməsi ümummilli lider Heydər Əliyevin xidmətlərindəndir. Heydər Əliyevin söyləri nəticəsində Azərbaycan dünya arenasında söz sahibinə çevrilir. Ümummilli liderimiz Heydər Əliyev həmişə xalqımızın milli-mənəvi dəyərlərinin qorunmasına, milli mədəniyyətimizin inkişafına, xalqın adət-ənənələrinin zənginləşdirilməsinə çalışmışdır. Gənclərimizi xalqımızın milli-mənəvi dəyərləri, milli əxlaq prinsipləri əsasında tərbiyə etməyi tövsiyə edirdi: "Biz öz milli-mənəvi dəyərlərimizi, adət-ənənələrimizi, əxlaqi dəyərlərimizi bütün istiqamətlərdə qorumalıyıq, saxlamalıyıq və gənc nəsli əsrlər boyu böyük sınaqlardan keçmiş bu mənəvi, əxlaqi dəyərlər ruhunda tərbiyələndirməliyik". Azərbaycan xalqı onu rifaha aparan liderini daim hörmət və izzətlə anmaqdadır.

2. Azərbaycan

Azərbaycan Şərqi ən qədim və zəngin mədəniyyətinə malik olan ölkələrindən biridir. O, Şərqi qapısı adlandırılır. Azərbaycan Respublikası Qafqazın cənub-şərqi, Avropa və Asiya qitələrinin kəsişməsində yerləşir. Ölkəmiz Türkiyə, Rusiya, Gürcüstan, İran və Ermənistanla həmsərhəddir. "Azər" -od, atəş sözündəndir. Əbədi yanar od qədim zamanlardan paytaxt Bakının yerləşdiyi Abşeron yarımadasının simvolu hesab olunub. Bu ərazidə təbii olaraq yanan meşələr var. Təbiətin bu möcüzələrindən biri də Abşeron yarımadasında "Yanar dağ"dır. Suraxanıda isə heç vaxt sönməyən odun üzərində "Atəşgah" adlı qədim abidə vardır. Bu fenomen Azərbaycanın dünyada "Odlar Yurdu" kimi tanınmağına səbəb olub.

Azərbaycan Respublikasının dövlət rəmzlərini üçrəngli bayraq, gerb və himn təşkil edir. Azərbaycan öz füsunkar təbiəti ilə seçilir. Ölkəmizdə on bir iqlim qurşağından doqquzu mövcuddur. Burada dörd fəsil müşahidə olunur. Qış aylarını dekabr, yanvar, fevral; yaz aylarını mart, aprel, may; yay aylarını iyun, iyul, avqust və payız aylarını sentyabr, oktyabr və noyabr təşkil etməkdədir. Beləliklə, Azərbaycan zəngin flora və faunaya sahibdir.

Azərbaycan eyni zamanda Şərqi klassik musiqinin beşiyi kimi tanınır. "Azərbaycan" deyəndə dünyada göz önünə onun əsas sərvəti olan neft gəlir. Xəzər dənizinin Azərbaycana aid olan hissəsində bir çox layihələr uğurla həyata keçirilir. Dini tolerantlıq və müxtəlif sivilizasiyaların məskəni olan Azərbaycan öz tarixi missiyasını davam etdirir. Belə ki, Qərblə Şərqi mükəmməl şəkildə yaxınlaşdıraraq doğmalaşdırır.

3. Bakı

Bakı Azərbaycanın paytaxtı və eyni zamanda ən böyük şəhəridir. Xəzər dənizinin qoynunda yerləşən şəhər özünəməxsus gözəlliyi və tarixi ilə bütün Şərqdə eləcə də dünyada tanınır. Qədimliyi və müasirliyi ilə diqqət çəkən Bakı sürətlə inkişaf edir, getdikcə xarici turistlər üçün cəlbedici bir şəhərə çevrilir. Şəhərin tarixi-memarlıq abidələri olan hissəsi və müasir məkanları bütün gələn qonaqların maraqlarına səbəb olur. Bakının küçələri, gözoşayan mənzərələri, qədim abidələri özündə neçə illərin xatirələrini və tarixi keçmişini yada salır. Burada bir çox tarixi abidələr müasir dövrdə də qorunub saxlanılır. Bunlardan XII əsr “Qız qalası”, “Qala divarları”, “Şirvanşahlar sarayı”, “Hindistanlılar karvansarayı”, “Cümə məscidi” və başqalarını misal göstərmək olar. Belə tarixi tikililər şəhərə gələn hər kəsi özünə heyran qoymağı bacarır.

Bakı sözü fars dilindən tərcümədə “külləklər şəhəri” mənası daşıyan “Badi-kübə” söz birləşməsindən yaranmışdır. Bakı Azərbaycanın həm mədəni, həm sənaye mərkəzi hesab olunur. Burada iri yerli şirkətlərlə yanaşı xarici şirkətlər də fəaliyyət göstərir. Muzeylər, teatrlar, konsert zalları və yaşıl parklar şəhərə xüsusi gözəllik qatır. Şəhərin mərkəzində məscidlərlə yanaşı kilsələr və sinaqoqlara rast gəlmək olar. Bu da ölkəmizin multikulturalizm səviyyəsinin bariz nümunəsidir. Bakı şəhərinin əhalisi 3 milyondan artıqdır. Burada müxtəlif millətlərin nümayəndələri yerli əhali ilə mehribancasına yaşayır. Mən doğma şəhərim Bakını çox sevirəm!

4. Qarabağ

Qarabağ sözü Azərbaycan dilindəki “qara” və “bağ” sözlərindən əmələ gəlmiş və Azərbaycan xalqının özü qədər qədim tarixə malikdir. Bu ərazidə qədim dövrlərə aid insan məskənləri aşkar edilib. Təxminən 250-300 min il əvvəllər bu torpaqda Azıx adamlarının yaşadığı sübut olunub.

Azərbaycanın ən qədim və gözəl guşələrindən biri olan Qarabağ həm də musiqimizin beşiyidir. Zəngin mədəni adət-ənənələri olan bu torpaq bir çox görkəmli alimlərin, yazıçı və şairlərin vətəni olub. Qarabağa köçüb gələn Molla Pənah Vaqif yaradıcılığını və ictimai fəaliyyətini bu torpaqda davam etdirmişdir. Şuşada anadan olan Qasım bəy Zakir, Xan qızı Xurşidbanu Natəvan dövrünün görkəmli şəxsiyyətlərindən olmuşlar. Zəngin gözəlliyi ilə seçilən bu torpaq Azərbaycanın musiqi tarixinə əvəzəlməz bəstəkar və xanəndələr bəxş etmişdir. Onlar Cabbar Qaryağdıoğlu, Üzeyir Hacıbəyov, Bülbül, Xan Şuşinski və Arif Babayevdir. 1989-cu ildən Şuşa şəhərində “Xarıbülbul” beynəlxalq musiqi festivalı keçirilməyə başlamışdı. Xarıbülbul sözü Azərbaycanın Şuşa və ətraf ərazilərində yayıldığı üçün Qarabağ ilə ifadə olunur. “Xarıbülbul” festivalı hər ilin may ayında Almaniya, Yaponiya, İtaliya, İspaniya, ABŞ və digər ölkələrin iştirakı ilə keçirilirdi. Sonuncu festival 1992-ci ildə qısa müddətdə Ağdam şəhərində keçirilmişdi. Ağdamda keçirilən festivalda olan çıxışlar arasında Azərbaycanın “Xalq artisti” Qədir Rüstəmovun ifa etdiyi “Sona bülbüllər” mahnısı xüsusi yer almış və Azərbaycan musiqisinin “Qızıl fond”una daxil edilmişdi. 2021-ci ildə may ayında bu dünya şöhrətli möhtəşəm festival yenidən Şuşada keçirilməyə başlandı. Xarıbülbul Azərbaycan xalqının mübarizə rəmzi sayılır.

5. Xəzər

Azərbaycanın təxminən 800 km-lik sahillərini yuyan bir dəniz vardır - Xəzər dənizi. Əslində okeana çıxışı olmadığından, öz fiziki-coğrafi xüsusiyyətləri və böyüklüyünə görə o, göl hesab olunur. Həm də dünyanın ən böyük gölüdür. Lakin bizlər üçün o, mavi dalğalı Xəzər dənizidir. Xəzər ətrafdan 5 respublika ilə əhatə olunub: Azərbaycan, Türkmənistan, Qazaxıstan, İran və Rusiya.

Xəzər dənizinin istirahət məqsədi və gözəl mənzərəsindən əlavə iqtisadi faktoru da vardır. Xəzərin sahilləri boyunca uzanan ərazilərdəki yaşayış məntəqələrində insanların yaşayışı və gəlirləri dənizlə sıx bağlıdır. Ağ balığın qiymətli növləri Xəzərin Azərbaycan sahillərində daha çox yayılmışdır. Bundan başqa, dəniz nəqliyyatı ilə daşınan yüklər Azərbaycan üçün böyük gəlir mənbəyi deməkdir.

Xəzərin əsas sərvətlərindən biri də neftdir. “Neft Daşları” Xəzərdə platforma tipli adadır və neft hasilatının təməlinin qoyulmasında böyük rol oynayıb. Hazırda Xəzərin daha dərin hissəsində yerləşən «Azəri», «Günəşli», «Çıraq» kimi məhsuldar yataqlardan neft və qaz hasil edilir.

Lakin Xəzərin təbii sərvətlərindən geniş istifadə olunması onun ehtiyatlarının qorunmasına, çirklənməsinin qarşısının alınmasına daha artıq dərəcədə diqqət yetirməyi tələb edir. Buna görə də Xəzəri sevən insanlar onu qorumaq naminə çalışmalıdır!

6. Mədəniyyət

Azərbaycan mədəniyyəti tarixi qədər qədim və zəngindir. Dünyanın ən qədim xalqlarından olan Azərbaycan xalqı özünün tarixi, mədəniyyət abidələri, dolğun ədəbiyyatı, zəngin incəsənət və musiqi mədəniyyəti ilə qürur duyur. Azərbaycan incəsənəti ölkəmizin təbiəti kimi rəngarəng, dolğun və zəngindir. Təsviri sənətin ən qədim nümunələri arasında eramızdan əvvələ təsadüf Qobustan qaya təsvirləri, Kəlbəcər rayonunda tunc dövrə aid rəsmlər, Ordubad şəhərində qayaüstü təsvirlər ciddi əhəmiyyətə malikdir. Bu abidələr üzərində həkk olunmuş rəsmlərdə, orada yaşamış qədim insanların yaşayışlarına uyğun təsvirlər xüsusi maraq doğurur. Burada ovçuluq, maldarlıq, əkinçilik və məişətin digər sahələri ilə bağlı müxtəlif süjetlər, səhnələr, insan və heyvan təsvirləri dinamik tərzdə öz əksini tapmışdır. Qobustan qayaüstü təsvirləri arasında "Yallı" (rəqs) oynayan insanların təsviri xüsusi maraq doğurur. Bu təsvirlər Azərbaycan xalqının qədim dövrlərdən musiqiyə olan marağından xəbər verir.

Azərbaycan mədəniyyəti təsviri sənət əsərləri ilə yanaşı, bədii sənətin bir qolu olan memarlıq əsərləri ilə də zəngindir. Bakıdakı Qız qalası və Şirvanşahlar sarayı kompleksi, memar Əcəminin Naxçıvanda yaratdığı Möminə xatın və Yusif ibn Küseyir türbələri, Şuşadakı Pənahəli xanın sarayı, Natəvanın evi, Şirvan xanları sarayı və onun misilsiz konstruktiv həlli memarlıq sənətinin nadir incilərindəndir.

Azərbaycan muğamının UNESCO tərəfindən bəşəriyyətin mədəni irs siyahısına daxil edilməsi, görkəmli kino ustası Rüstəm İbrahimbəyovun "Oskar" mükafatına namizəd göstərilməsi, Azərbaycan xalçalarının və əl işi olan əşyaların dünya muzeylərində nümayiş etdirilməsi zəngin və qədim mədəniyyətin əsas göstəriciləridir.

7. Novruz bayramı

Novruz bayramı yazın gəlişi ilə eyni günə təsadüf edir. Bir çox mənbələrdə Novruz sözü “yeni gün” adı ilə qeyd olunur. Gecə ilə gündüzün bərabərləşdiyi bu gündə qədim zamanlardan bir sıra xalqlar 21 mart tarixini, təbiətin oyanışını yeni ilin başlanğıcı kimi qeyd edib və şənliklər keçiriblər. Bu bayram Azərbaycanda ən qədim bayramlardan biridir. Novruzdan əvvəl 4 çərşənbə – Su çərşənbəsi, Od çərşənbəsi, Yel çərşənbəsi və Torpaq çərşənbəsi qeyd olunur. Su çərşənbəsi ilə təbiət torpağı sulayır, Od çərşənbəsində isə torpağı qızdırır. Yel çərşənbəsində təbiət oyanır və sonuncu Torpaq çərşənbəsində əkin yerlərində qızğın işlər başlayır. Hər kəs böyük həvəslə yazın gəlişinə hazırlaşır. Eyni zamanda Novruz hazırlıqları hər yerdə özünü göstərir. Belə ki, adət olaraq həyə-t-baca təmizlənilir, paltar-palaz təmiz suya çəkilib, ağacların dibi bellənilir, quru budaqları kəsilib atılır, səməni cücərdilir, müxtəlif şirniyyatlar, şəkərbura, paxlava və qoğal bişirilib xonça hazırlanır. Yumurta boyanılır və şam yandırılır.

Novruz bizim milli bayramımız olduğu üçün bu bayramda bir çox adətlər vardır. Bu adətlər xüsusilə axır çərşənbə axşamı yerinə yetirilir. Tonqal yandıraraq bütün ailə üzvləri onun ətrafında toplanıb şadlıq edir, tonqalın üstündən tullanırlar. Bu mərasim bitdikdən sonra qulaq falına çıxırlar. Novruz bayramı eyni zamanda dostluq, xeyirxahlıq və mehribanlıq bayramıdır.

8. Azərbaycan ədəbiyyatı

Zəngin və məzmunu geniş Azərbaycan folkloru Azərbaycan ədəbiyyatının kökündə durmaqdadır. Azərbaycan dünyanın ən qədim folklor sənətinə sahib ölkələrindən biridir. Azərbaycan xalqının mifoloji-bədii dünyagörüşü folklorda və klassik ədəbiyyatda özünü göstərməkdədir. Milli folklorda bir çox janr özünü əks etdirməkdədir. Nağıl və dastanlar, atalar sözləri və məsəllər folklor və klassik ədəbiyyatın formalaşmasında güclü təsir göstərmişdir.

"Kitabi-Dədə Qorqud" Azərbaycan folklorunun yazılı halda bizə gəlib çıxmış ən qədim eposudur. Bu dastan öz zəngin xarakterləri ilə milli folklorun ən böyük abidəsi hesab edilir. Yazılı ədəbiyyatın ən qədim nümunəsi isə e.ə. VI əsrə məxsus, müəllifi Zərdüşt hesab edilən "Avesta"dır. Burada Azərbaycan xalqının dünyaya baxışı, xeyirlə şərin bir-biriləri ilə olan mübarizəsi haqqındakı təsəvvürləri öz bədii əksini tapmışdır.

XII əsrdə Azərbaycan ədəbiyyatı olaraq bütövlükdə Yaxın və Orta Şərq, eləcə də dünya ədəbiyyatlarının birsonrakı inkişafına ciddi mənada təsir göstərmiş poeziya məktəbi öz formalaşmasını başa çatdırır. Nəticə etibarilə onun Xaqani Şirvani, Nizami Gəncəvi, Məhəmməd Füzuli kimi dünya şöhrətli sənətkarları meydana gəlir. Məhz Nizaminin və onun fonunda olan digər korifeylərin yaradıcılığına görə XII-XVI əsrlər Azərbaycan ədəbiyyatının intibah dönəmi hesab edilir.

9. Azərbaycanın idman arenasındaki rolu

Atalarımız əbəs yerə deməyiblər ki, sağlam bədəndə sağlam ruh olar. Son illərdə Azərbaycanda idmana olan diqqət və milli idmançıların nailiyyətləri göz qabağındadır. Onlar bir çox idman növü üzrə dünya reytinglərində ön sıralarda yer alırlar. Məsələn, cüdo üzrə milli yığmanın idmançısı Rüstəm Orucov, karate üzrə Rafael Ağayev, yunan-roma güləşi üzrə Eldəniz Əzizli dünya və Avropa yarışlarında önəmli mükafatlar əldə etmişdirlər. Ölkəmiz müxtəlif beynəlxalq idman yarışlarına ev sahibliyi edib. Onların arasında ən möhtəşəmi 2015-ci ilin iyun ayında keçirilən Birinci Avropa Oyunlarıdır ki, bütün dünyaya səs saldı. Oyunlarda 50 ölkədən 6000 idmançı iştirak etmişdi. Heyət üzvləri ilə birlikdə isə bu rəqəm on mini aşmışdı. Bakı Olimpiya Stadionunda keçirilən açılış mərasiminin xüsusi qonağı dünyaca məşhur müğənni Ledi Qaqa idi. Digər yadda qalan oyunlardan biri də 2017-ci ilin may ayında keçirilən İslam Həmrəyliyi Oyunlarıdır. İştirakçı dövlətlərin sayı 54, idmançı sayı isə 6000 təşkil edirdi. Və son olaraq 2021-ci ilin iyun ayında keçirilən Futbol üzrə Avropa çempionatını qeyd etməmək mümkün deyil. Möhtəşəm oyun, güclü komandalar, maraqlı qarşıdurmalar. Bütün bunları dünyanın dörd bir yanından Bakıya axın edən futbol azərkeşləri izləyə bildi. Ölkəmizdə keçirilən idman yarışları üçün dəvət olunmuş xarici idmansevərlər ilə bərabər yerli azərkeşlər də böyük zövq aldılar. Onlar əsl idman bayramı sevincini yaşadılar.

10. Bakının görməli yerləri

Bakı Azərbaycanın turizm potensialına malik olan ən böyük şəhəridir. Bakının işıqlı, geniş və təmiz küçələri, yaşıl parkları, mehriban insanları və burada ucalan abidələr turistlərin diqqətini özünə cəlb etməyi bacarmışdır. Bakının tarixi abidəsi dedikdə ilk ağla gələn sözsüz ki, Qız Qalasıdır. Qala 12-ci əsrdə inşa olunub və bizim günlərimizə qədər öz gözəlliyini qoruyub saxlayıb. Qız Qalası “İçərişəhər” dövlət tarixi-memarlıq qoruğunun bir parçasıdır və muzey kimi fəaliyyət göstərməkdədir. 2000-ci ildə UNESCO-nun dünya irsi siyahısına salınan bu abidə bir çox tarixi hadisələrinin şahididir. İçərişəhər xalq arasında “Qədim şəhər” kimi də tanınır. İçərişəhər qala divarları ilə əhatə olunub və açıq səma altında fəaliyyət göstərən muzeydir. Özündə birləşdirdiyi silsilə tarixi abidələri və memarlıq möcüzələrindən biri də məşhur Şirvanşahlar Sarayı Kompleksidir. Bu saray 12-ci əsrdə ilkin feodal dövlət olan Şirvanşahlar dövlətinin hökmdarının tapşırığı ilə inşa olunub. Müasir Bakının rəmzi Heydər Əliyev Mərkəzidir. Bu qeyri-adi binanın layihəsi dünya şöhrətli memar Zaha Hadid tərəfindən hazırlanıb. Mərkəzin binasının digərlərindən fərqi burada düz xətlərdən istifadə olunmamasıdır. Heydər Əliyevin adını daşıyan Mərkəz özündə birləşdirdiyi sərgi salonları ilə həm muzey, həm də beynəlxalq dialoq mərkəzi kimi fəaliyyət göstərir.

11. Milli yeməklər

Azərbaycana məxsus olan mətbəx və milli yeməklər dünyanın hər yerində maraq və müzakirələrə səbəb olub. Yerli mətbəx bölgələrə görə yemək bişirmə və ləzzət təqdim etmə üsullarında fərqlilik göstərir. Azərbaycanın zəngin və çeşidli mətbəxi, yüksək qonaqpərvərlik ənənələri vardır. Qədim zamanlardan ət və ərzaq məhsulları varlılıq əlaməti sayılıb. Süfrələr nə qədər zəngin bəzədilərsə, ilin o qədər bərəkətli, məhsuldar olacağına inanılırdı.

Azərbaycanda müxtəlif reseptlərlə hazırlanan 100-dən çox plov, 30-dan çox dolma növü var. Hər regionun özünə məxsus mətbəxi gələn qonaqların hər biri üçün yeni bir dad və unudulmayan hisslər yaradır. Azərbaycanın məşhur xörəkləri arasında yer alan piti xüsusilə Şəki mətbəxinə xasdır. Bu xörək quzu əti, gavalı qurusu, noxud, kartof, pomidor və müxtəlif ədviyyatlarla təxminən 8 saat bişirilir.

Əsasən cənuba yaxın bölgələrdə bişirilən təamlar arasında özəlliklə qeyd olunması vacib ləvəngidir. Balıqla hazırlanan ləvəngi qoz və toyuqla da hazırlana bilər.

Bunlardan başqa Azərbaycan mətbəxində qoğal, dovğa, qutab kimi müxtəlif dad növləri var ki, bunların hər biri milli mətbəximizin nə qədər zəngin olduğunu sübut edir.

補遺 2. アゼルバイジャン語による主要な地名

アゼルバイジャン国内関連地名

地名	カナ書き例	地名	カナ書き例
Abşeron	アブシェロン	Qəbələ	ギャバラ
Abşeron yarımadası	アブシェロン半島	Qız qalası	乙女の塔 (バクー市内旧市街にある歴史的建造物)
Ağcabədi	アグジャベディ	Qobustan	ゴブスタン
Astara	アスタラ	Qoşqar dağı	ゴシュガルダウ (山)
Azərbaycan	アゼルバイジャン	Quba	グバ
Bakı	バクー	Lənkəran	ランカラン
Balakən	バラケン	Masallı	マサッル
Beyləqan	ベイレガン	Mingəçevir	ミンギャチェヴィル
Bibiheybət	ビビヘイバット	Naftalan	ナフタラン
Biləcəri	ビレジェリ	Naxçıvan	ナヒチェヴァン
Binəqədi	ビネゲディ	Sabirabad	サビラバード
Boz dağ	ボズダー (山)	Sabunçu	サブンチュ
Gəncə	ギャンジャ	Samux	サムフ
Göygöl	ギョイギョル (湖)	Səbail	セバイル
Xaçmaz	ハチマズ	Sumqayıt	スムガイト
Xankəndi	ハンケンディ	Suraxanı	スラハヌ
Xanlar	ハンラル	Şamaxı	シャマハ
Xəzər dənizi	カスピ海	Şəki	シェキ
Xocalı	ホジャル	Şuşa	シュシャ
İmişli	イミシュリ	Şüvəlan	シュヴェラン
İsmayıllı	イスマユッル	Tərtər	テルテル
Kəpəz dağı	ケペズダウ (山)	Ucar	ウジャル
Kürdəmir	キュルデミル	Yardımlı	ヤルドウムル
Qax	ガフ	Yasamal	ヤサマル
Qarabağ	カラバフ		
Qazax	ガザフ		

世界の国名・都市名

国名		首都（あるいは首都に準ずる都市）	
Almaniya	ドイツ	Berlin	ベルリン
Argentina	アルゼンチン	Buenos-Ayres	ブエノスアイレス
Avstraliya	オーストラリア	Kanberra	キャンベラ
Avstriya	オーストリア	Vyana	ウィーン
Belçika	ベルギー	Brüssel	ブリュッセル
Bolqarıstan	ブルガリア	Sofiya	ソフィア
Braziliya	ブラジル	Brazilia	ブラジリア
Cənubi Koreya	韓国	Seul	ソウル
Çin	中国	Pekin	北京
Danimarka	デンマーク	Kopenhagen	コペンハーゲン
Ermənistan	アルメニア	Yerevan	エレバン
Finlandiya	フィンランド	Helsinki	ヘルシンキ
Fransa	フランス	Paris	パリ
Gürcüstan	ジョージア（グルジア）	Tbilisi	トビリシ
Hindistan	インド	Dehli	デリー
Hollandiya	オランダ	Amsterdam	アムステルダム
İngiltərə	イングランド	London	ロンドン
İraq	イラク	Bağdad	バグダッド
İran	イラン	Tehran	テヘラン
İrlandiya	アイルランド	Dublin	ダブリン
İspaniya	スペイン	Madrid	マドリッド
İsrail	イスラエル	Təl-Əviv	テルアビブ
İsveç	スウェーデン	Stokholm	ストックホルム
İsveçrə	スイス	Bern	ベルン
Kanada	カナダ	Ottava	オタワ
Keniya	ケニア	Nayrobi	ナイロビ
Kolumbiya	コロンビア	Boqota	ボゴタ
Kuba	キューバ	Havana	ハバナ
Qazaxıstan	カザフスタン	Astana	アスタナ
Livan	レバノン	Beyrut	ベイрут
Macarıstan	ハンガリー	Budapeşt	ブダペスト
Meksika	メキシコ	Mexiko	メキシコシティー

Misir	エジプト	Qahirə	カイロ
Norveç	ノルウェー	Oslo	オスロ
Özbəkistan	ウズベキスタン	Daşkənd	タシケント
Polşa	ポーランド	Varşava	ワルシャワ
Portuqaliya	ポルトガル	Lissabon	リスボン
Rumıniya	ルーマニア	Buxarest	ブカレスト
Rusiya	ロシア	Moskva	モスクワ
Sinqapur	シンガポール	(Sinqapur)	(シンガポール)
Somali	ソマリア	Moqadişo	モガディシオ
Suriya	シリア	Dəməşq	ダマスカス
Şotlandiya	スコットランド	Edinburq	エディンバラ
Tailand	タイ	Banqkok	バンコク
Tanzaniya	タンザニア	Dodoma	ドドマ
Türkmənistan	トルクメニスタン	Aşqabat	アシハバード
Yaponiya	日本	Tokio	東京
Yunanıstan	ギリシャ	Afina	アテネ

語彙一覧

本書で登場した語を中心に、日本語の訳語をまとめてあります。見出し語で、動詞は不定形（辞書形）で表示してあります。また、同音異義語はそれぞれローマ数字で(I)(II)のように表示しています。

A (a)

açar	鍵	aid	所属
açılmaq	開く	<i>aid olmaq</i>	属する；所属する
açıq	明るい；開いている	aidiyyət	関係、関連性
açıqlamaq	説明する；詳述する	ailə	家族
açmaq	開ける	ailəli	結婚している（家族がある）
ad	名前	ailəsiz	家族がない
<i>ad günü</i>	誕生日	akademik	研究者
ada	島	akademiya	アカデミー
adətən	普段（は）；一般的に、通例	aktrisa	女優
adlandırmaq	名付ける、命名する	aktyor	俳優
ağ	白（い）	ala-babat	まあまあの
ağciyər	肺	ala-çiy	生焼けの、生っぽい
ağac	木	alçaq	低い
ağarmaq	白くなる	aldatmaq	だます、嘘をつく
agentlik	代理店、支店	alim	（学問）分野；学者
ağıllı	頭がいい；知性がある	alın	ひたい
ağılsız	頭がわるい、おろかな；知性	alışmaq	慣れる
がない		alkoqol	アルコール、酒
ağıl	知性	Allah	アッラー
ağır	重い	allergiya	アレルギー
ağız	口	alma	りんご
ağlamaq	泣く	almaq	買う；もらう
ağrımaq	痛む；痛い	alt	下
axmaq	流れる	<i>altında</i>	下に
		altı	（数字）6
		altmış	（数字）60
		amma	しかし
		ana	母

<i>anadan olmaq</i>	生まれる	<i>aviabilet</i>	航空券
<i>ananas</i>	パイナップル	<i>avqust</i>	8月
<i>ancaq</i>	～だけ	<i>Avropa</i>	ヨーロッパ
<i>anlaşmaq</i>	互いに理解する、わかり合	<i>Avstraliya</i>	オーストラリア
う		<i>avstraliyalı</i>	オーストラリア人
<i>aparmaq</i>	運ぶ	<i>avtobus</i>	バス
<i>apaydın</i>	とても鮮明な	<i>axır</i>	終わり
<i>aprel</i>	4月	<i>axırında</i>	おわりに；最後の方に
<i>aptek</i>	薬局	<i>axşam</i>	夕方、午後（夕方、夜の時間
<i>ara</i>	間	帯）	
<i>arasında</i>	間に	<i>axtarmaq</i>	探す
<i>arabir</i>	ときどき、たまに	<i>ay</i>	ねえ（呼びかけ）
<i>araşdırmaq</i>	研究する；調べる	<i>ayaq</i>	足
<i>arı</i>	ハチ（蜂）	<i>ayaqqabı</i>	靴
<i>arıqlamaq</i>	やせる、体重を減らす	<i>aydın</i>	鮮明な
<i>artıq</i>	もう；とっくに	<i>ayı</i>	熊
<i>artmaq</i>	増える	<i>ayıb</i>	恥、不名誉
<i>arvad</i>	妻	<i>ayrılmaq</i>	別れる
<i>arxa</i>	後ろ	<i>az</i>	少ない
<i>arxasında</i>	後ろに	<i>az qala</i>	もう少し（のところで）で（～
<i>arxeologiya</i>	考古学	するところだった）	
<i>arzulamaq</i>	頼む、依頼する	<i>azalmaq</i>	減る、少なくなる
<i>aşağı</i>	下に	<i>Azərbaycan</i>	アゼルバイジャン
<i>aşağı salmaq</i>	（値段などを）下げる	<i>Azərbaycan dili</i>	アゼルバイジャン語
<i>asan</i>	簡単だ、易しい	<i>azmaq</i>	道に迷う
<i>asanca</i>	簡単に		
<i>asılı</i>	（～に）基づく		
<i>asmaq</i>	つるす、掛ける		
<i>aşpaz</i>	料理人、コック		
<i>asta</i>	遅い	<i>baba</i>	祖父
<i>at</i>	馬	<i>bacarıq</i>	能力；才能
<i>ata</i>	父	<i>bacarıqlı</i>	有能な；能力が高い
<i>atlas</i>	地図帳	<i>bacarıqsız</i>	無能な；能力の乏しい
<i>atmaq</i>	投げる	<i>bacı</i>	姉妹

B (b)

bağ (I)	庭、庭園	<i>bayırında</i>	外側に
bağ (II)	ひも、綱	bayram	祝祭日
bağça	庭	bayraq	旗
bağırsağ	腸	bazar	日曜日
bağışlamaq	調整する、協定を結ぶ、和解する	bazar ertəsi	月曜日
<i>bağışlayın</i>	すみません（謝罪の表現）	<i>bazarlıq çantası</i>	ショッピングバッグ
bağlama	小包	bel	腰
bağlamaq	閉める；閉じる	beş	(数字) 5
bağlı	閉じている、閉まっている	beyin	脳
baha	(価格が) 高い	beynəlxalq	国際；国際的な
bahalı	(値段が) 高い	bədən	体
balaca	小さい	bələdçi	ガイド、案内人
baldız	(女性の) いとこ	bəli	はい（肯定の返事）
balıq	魚	bəlkə	おそらく、たぶん
balta	斧	bənövşəyi	紫色（の）
bambaşqa	全く別の	bənzəmək	似ている
bankomat	(銀行の) ATM	bərabər	いっしょに
bank	銀行	bərbər	理容師
baqaj	荷物	bərk	硬い
barədə	～について	bəs (I)	それでは
barışmaq	和解する；仲直りする	bəs (II)	十分な
barmaq	指	bəstə	作曲
baş	頭、先頭	bəstəkar	作曲家
başə düşmək	わかる、理解する	bəstələmək	作曲する
başçı	指導者	bəyənmək	気に入る
başlamaq	始める	bəzəmək	飾る；装う
başlıq	フード（衣服）；（書名などの）タイトル	bəzən	ときどき
basmaq	押す	bəzənmək	(服を) 身に着ける、着飾る
başqa	他に；他の	bəzi	いくつかの
batmaq	沈む	bibi	(父方の) おば
baxmaq	見る	bilet	切符；チケット
bayır	外、外側	bilək	手首
		bilik	知識
		bilikli	知識がある

cürbəcür 様々な

Ç (ç)

çağlamaq (水などが) せせらぐ
çağrı コール、呼び出し
çalışqan 真面目な
çanta かばん、バッグ
çap 印刷
çap etmək 印刷する
çarnaçar いやおうなしに、手当たり
次第に
çatdırmaq 届ける
çay お茶；(特に) 紅茶
çəhrayı ピンク (の)
çəkiç 金づち、ハンマー
çəkişmək 引っぱりあう
çəkmək 引く、引っ張る
çəmən 草地、草原
çənə あご
çəngəl フォーク
çərşənbə 水曜日
çərşənbə axşamı 火曜日
çətin 難しい
çətir 傘
çiçək 花
çilingər 金属工
çimmək 入浴する；泳ぐ
çips (ポテト) チップス
çirkin 醜い
çiy 生の
çiyələk (果物) いちご

çiyin 肩
çıxarmaq 出す
çıxmaq 出る
çox とても；多い
çoxalmaq 増える、増加する
çoxdan とっくに、すでに
çoxlu たくさんの
çöl 草原、荒地
çölə 外に
çölə çıxmaq 外出する
çölündə 外側に
çörək パン
çörəkçi パン屋さん
çünki なぜなら (...だから)

D (d)

dad 味
dadlı おいしい、美味しい
dadsız (味が) まずい、おいしくな
い
dağ 山
daha まだ；もっと、より
daima いつも
dal 背中；反対側、裏
danışmaq 話す
daramaq 毛をとかす
darıxmaq 寂しがる、なつかしむ、恋し
い；(～がいなくて) さびしい
daş 石
davam 連続；継続
davam etmək 続ける；継続する
dayanmaq 止まる

dayə	看護師	dəymək	触る、触れる；(弾などが)
dayı	(母方の) おじ	đatır	当たる
dekabr	12月	dəyməz	どういたしまして
demək	言う	digər	ほかの
deməli	つまり、ようするに	dil	言語、ことば；舌
deyə	～と(引用)	dilçi	言語学者
deyil	～ではない(否定語)	dilçilik	言語学
deyilmək	言われる	dincəlmək	休む、休憩する
deyinmək	(自分に) 言う	diqqətli	注意深い
dəyişdirmək	変える	dirçəliş	再生
dəyişmək	変わる	dirsək	ひじ
da (də)	...も	diş	歯
dəcəl	いたずらな、やんちゃな	diskussiya	議論；ディスカッション
dəfə	(回数) 回	div	鬼；巨人
dəftər	ノート	divar	壁
dələ	リス	diz	ひざ
dəlisov	強情な；わがままな	dırmanmaq	登る
dəmir	鉄	dırnaq	つめ
dəmiryolu	鉄道	dodaq	唇
dəmləmək	(お茶などを) そそぐ	doğmaq	生む
dəniz	海	doğru (I)	正しい、まっすぐな
dənizçi	舟乗り；船員	doğru (II)	直線的な；～に向かって
dəqiqə	(時間の) 分	doğrudan	本当に
dərhal	すぐに	doğulmaq	生まれる
dəri	皮膚	dolanmaq	変わる
dərman	薬	doldurmaq	満たす、一杯にする
dərs	授業	dolmaq	満ちる；いっぱいになる
dərslik	教科書	dolu	いっぱいの、満たされた
dərzi	仕立屋	dondurma	アイスクリーム
dəstə	(花) 束	döndürmək	回す
dəstəkləmək	支援する	dönmək	曲げる、回る
dəyirmandaşı	標石	dopdoğru	まっすぐな
dəyirmi	丸い	dopdolu	完全にいっぱいの
dəyişmək	変わる	doqquz	(数字) 9

dörd	(数字) 4	する	
dost	友だち	elə	そのような; そのように、そ
dostluq	友好		の通りに
döş	胸	<i>elədir(mi)?</i>	そうですか
dövlət	国	eləmək	(名詞を伴って) ~する
dövr	時代	elətdirmək	させる
doxsan	(数字) 90	elm	学問; 科学
döymək	叩く; 殴る	əmioğlu	いとこ
döyüşmək	叩き合う; 殴り合う	endirim	割引
duz	塩	endirmək	落とす
dükən	店、商店	en	幅
dümdüz	真っ平らな	enmək	落ちる
dünən	昨日	erkən	早く
dürlü-dürlü	多種の、様々な	eşitmək	聞く
duş	シャワー	etiraz	異議、抗議
düşmək	降りる	<i>etiraz etmək</i>	抗議する
düşmən	敵	etmək	する
düstur	数式	ev	家
düyü	米、稲	<i>ev tapışırığı</i>	宿題
düz	正しい; 平らな	evdar	質素な; やりくりがうまい
<i>Düzdür / Doğrudur.</i>	その通りです (正しいです)	evlənmək	結婚する
düzəltmək	直す	eynək	めがね
düzəltməmək	直させる	eyni	同じ
düzgün	正しい	<i>eyni zamanda</i>	同時に
duz	塩		

Ə (ə)

E (e)

ehtimal	可能性、蓋然性	əcnəbi	外国人
ehtiyatlı	注意深い、用心深い	ədəbiyyat	文学; 文献
elan	宣言、声明; 通告	ədəbiyyatçı	文学者
<i>elan etmək</i>	宣言する、声明を出す; 通告	ədalət	正義、公正; 司法
		əhali	人口
		əhəmiyyət	重視

<i>əhəmiyyət vermək</i>	重視する
<i>əkmək</i>	植える
<i>əl</i>	手
<i>əla</i>	すごい、すばらしい
<i>əlac</i>	薬、薬品；治療法
<i>əlacsız</i>	不治の、治療法のない
<i>əlamət</i>	象徴、記号
<i>əlaqələndirmək</i>	つなぐ、関連づける
<i>əlbəttə</i>	必ず；もちろん
<i>əlifba</i>	アルファベット
<i>əlli</i>	(数字) 50
<i>əlyazma</i>	原稿
<i>əmanət</i>	預けること
<i>əmanət almaq</i>	預かる；借りる
<i>əmi</i>	(父方の) おじ
<i>əmizdirmək</i>	吸わせる
<i>əmmək</i>	吸う
<i>ən</i>	最も、一番
<i>ər</i>	夫
<i>ərimək</i>	溶ける
<i>əritmək</i>	溶かす
<i>əsas</i>	基本
<i>əsəbiləşmək</i>	腹を立てる、怒る
<i>əsər</i>	作品
<i>əsmək</i>	震える
<i>əsr</i>	世紀
<i>əşya</i>	もの；物事
<i>ətraf</i>	周辺、周り
<i>əvvəl</i>	～の前に
<i>əyləşmək</i>	座る
<i>əzəl</i>	最初の；最初に、はじめに
<i>əziyyət</i>	苦悩、悩み
<i>əziyyət çəkmək</i>	悩む

F (f)

<i>fakt</i>	事実、現実
<i>fakültə</i>	学部
<i>fəşizm</i>	ファシズム
<i>fayda</i>	利益、効能
<i>faydalı</i>	役に立つ
<i>fevral</i>	2月
<i>fəaliyyət</i>	活動、行動
<i>fəaliyyət göstərmək</i>	活動する、行動する
<i>fəhlə</i>	職工 (工場などの工員)
<i>fərəh</i>	愉快的な、楽しい
<i>fərq</i>	違い、差
<i>fərqləndirmək</i>	区別する
<i>fikirləşmək</i>	考える
<i>fikir</i>	考え
<i>fil</i>	ゾウ
<i>fin</i>	フィンランド人
<i>firma</i>	会社
<i>firuzəyi</i>	ターコイズブルー
	の
<i>findıq</i>	ヘーゼルナッツ
<i>fırça</i>	ブラシ
<i>fırçalamaq</i>	(ブラシで) 磨く
<i>forma</i>	形式
<i>futbol</i>	サッカー；フットボール

G (g)

<i>gec</i>	遅れている、遅い
<i>gec-gec</i>	ほとんど (ない)

gecə	夜（深夜の時間帯）
gecikdirmək	遅れさせる
gecikmək	遅れる、遅くなる
geri	後ろに
geri qaytarmaq	返す、返却する
getdikcə	徐々に、少しずつ
getmək	行く
geyinmək	（自分で）着る
gələn	来たる、将来の；次の
gələn həftə	来週
gəlmək	来る
gəmi	船；汽船
gənc	若い
gərək	...しなければならない
gətirmək	持ってくる
gəzmək	歩く；散歩する
gizləmək	隠す
gizlənmək	隠れる
gizlətmək	（gizləmək を参照）
gödəkçə	ジャケット
göndərmək	送る
görə	～によると；～のわりに
görmək	見る
görünmək	～に見える；（自分を）見 る
görüşmək	会う
göstərmək	見せる、示す
götür-qoy (etmək)	熟考する；議論する
göy	青；青い
göz	目
göz dəyməsin!	すばらしい！
gözədəyən	人目をひく（→cazibədar）
gözəl	よい、すばらしい；美しい
gözəlləşmək	互いに美しく／よくなる

gözəşirin	かわいい
gözləmək	待つ；期待する
gözlədiyimdən	（私が）期待したより
gözlənilmək	待たれる
güc	力
güclü	強い、力がある
gücsüz	弱い、力がない
gül	花
gülmək	笑う
gülümsəmək	微笑む、スマイルする
gülüşmək	互いに笑う、笑い合う
gümüşü	銀色（の）
gün	日；昼間；太陽
gündüz	昼、午後（昼の時間帯）
günəbaxan	ヒマワリ
günəş	太陽

H (h)

hadisə	出来事
hafizə	記憶（→yaddaş）
hal	場合；状態、状況
hal-hazırda	今は、現時点では
hamam	ハمام（公衆浴場）
hamilə	妊娠中の、身ごもっている
hamı	全て、全部；みんな、全員
hamıdan əvvəl	とにかく；何よりもまず
hansı	どの、どちら（選択肢を提示 する疑問詞）
haqlı	正しい、正義の
haqqında	～について
haqsız	間違っている；不正な
hara (haraya)	どこ（に）
hava	空；空気；天気

hazırkı	現在の、今の
hazırlamaq	準備する
hazırlanmaq	準備が整う、用意される
heç	まったく (...ない)
<i>heç bir şey</i>	何も ...ない
<i>heç kim</i>	誰も ...ない
heykəl	像；銅像
hə	(文末詞：聞き手から確認 をするときを使う) ～ですよ
hədiyyə	プレゼント；土産
həftə	週；1 週間
həftəsonu	週末
həkim	医者
<i>Hələlik!</i>	それじゃあ！
həll	解決、解決方法
həll etmək	解決する
həmçinin	また、同様に、あわせて
hərflər	文字
həzz	よろこび
himn	讚美歌
hiss	感覚
hiyləgər	ずるい；ずる賢い
hobbi	趣味
holland	オランダ人
hoppanmaq	跳ねる、ジャンプする
hörmət	尊敬
<i>hörmət etmək</i>	尊敬する
hörmət	尊敬
hörmətli	尊敬に値する
hovur	(時間的な意味で)ほんの 少し
hündür	(高度が)高い
hüquq	権利；法律；法学
hüquqi	法律上の、司法の

hürmək 吠える

X (x)

xadimə	
xahiş etmək	依頼する
xal	ほくろ、あざ；点
xala	(母方の)おば
xalça	絨毯
xalq	民衆
xanım	～さん(女性に対する敬称)
xarici	外の、外国の
<i>xarici dil(lər)</i>	外国語
xatircəm	自信のある；確信している
xatircəmlik	自信
xatırlamaq	思い出す；覚えている
xeyr	いいえ
xeyirxah	親切な
xeyirli	有利な、有益な；よい、親切 な
xeyli	かなりの、相当の
xəbər	ニュース、報道
<i>xəbər vermək</i>	連絡する
xərcləmək	消費する；浪費する、使う
xəritə	地図
xəstə	病気の、具合が悪い
xəstələnmək	病気になる
xəstəxana	病院
xətt	(地下鉄などの)路線
xətkeş	定規
xidmət	奉仕；サービス
xiyaban	広場
xiyar	(野菜)キュウリ

xırda	小さい	içəri	内；内側
xoş	よい、よく；うれしい、喜ばしい；楽しい	içində	内側に
xoşuna gəlmək	(～の) 気に入る	içirmək	飲ませる
xoş gəldiniz	ようこそ (来訪した人への表現)	içmək	飲む
xoşbəxt	幸運な、幸せな	idarə	部局；事務所；運用
xoşlamaq	好む；気に入る	idi	～だった
xudahafizləşmək	(互いに) 別れのあいさつをする	idman	スポーツ
xüsusi	特別な	idman mərkəzi	スポーツセンター
xüsusi	特別な	ifa	演奏
		ifadə	表現
		ifadə etmək	表現する
		iki (数字)	2
		ikiterəfli	相互に、お互いに、双方向の
		ilahiyyat	神学
		ilan	へび
		ilk	最初の
		ilk dəfə	はじめて
		imtahan	テスト、試験
		inanmaq	信じる
		incə	細い、やせた
		incimək	攻撃する、傷つける
		indi	今
		indiki	今の、現在の
		informasiya	情報
		inşa	作文；構築、建築
		inşa olunmaq	建てられる
		inşallah	おそらく、願わくば
		insan	人
		insanlıq	人間らしさ；人道
		institut	研究所
		internet	インターネット
		iqtisadiyyat	経済
		irad	言う (べき) こと、話
		irəli	(前後の) 前

I (1)

※アゼルバイジャン語では **I, ı** が語頭に来るのを避ける強い傾向があり、この文字で始まる語はないと考えてかまいません。

İ (i)

iç	内；内側		
icarə	賃貸、貸与		
icazə	許可、許し		
icazə vermək	許可する、許す		
iclas	会議		
icra	実行		
icra olunmaq	実行される、現実となる		
ictimai	公共の、社会の		
ictimaiyyət	社会科学		
iç	内側、内部		
içən	酒飲み		

iri	大きい
irlandiyalı	アイルランド人
işarə	指示
<i>işarə əvəzliləri</i>	指示代名詞
isitmək	暖める
islanmaq	濡れる
işləmək	働く；仕事をする
ispan	スペイン人
iştah	食欲
istəmək	望む、～したい
istənilmək	望まれる
isti	暑い；熱い；温かい
istifadə	使用；利用
<i>istifadə etmək</i>	使う、使用する；利用する
istirahət	休憩；休暇
<i>istirahət etmək</i>	休憩する；休暇を過ごす
İsveçrə	スイス
isveçrəli	スイス人
it	犬
itələmək	押す
itirmək	失う
ixrac	輸出
<i>ixrac etmək</i>	輸出する
iy	匂い
iyirmi	(数字) 20
iyləmək	匂いをかぐ
iyul	7月
iyun	6月
izləmək	追跡する、追いかける

J (j)

jaket	ジャケット
-------	-------

jarqon	ジャーゴン、隠語
jest	ジェスチャー
jokey	ジョッキー、騎手
jurnal	雑誌、ジャーナル
jüri	陪審員 (→münsif)

K (k)

kafe	カフェ
kafedral (キリスト教の)	大聖堂
kağız	紙；用紙
karandaş	えんぴつ
kart	カード
kartof	ジャガイモ
kaş (kaş ki...)	もし...ならば
katibə	秘書
keçən	以前の；最後の
<i>keçən ay</i>	先月
<i>keçən həftə</i>	先週
<i>keçən il</i>	去年
keçirilmək	行われる
keçirmək	過ごす
keçmək	過ぎる
keçmiş	過去、昔
kədərli	悲しい
kələm	キャベツ
kəməşirin	かすかに甘い
kənar	周辺；周縁、ふち
kənd	村
kəpənək	蝶
kiçik	小さい
kiçiltmək	小さくする；減らす
kilometr	キロメートル

kimi ~のように；(分詞形を伴って) ~するとすぐ、~するやいなや、~したその時

kim (...?) 誰 (...?)
kino 映画
kinoteatr 映画館
kiprik まつげ
kiril (əlifbası) キリル (文字)
kisə 袋、サック、バッグ
kişi 男性
kitab 本
kobud 大雑把な；雑な
köhnə 古い
kök 太い、太っている
kökəlmək 太る
komanda チーム
kömək 援助、支援
kömək etmək 援助する、助ける、手伝う
komissiya 委員会
kompüter パソコン
konfrans 会議
konstitusiya 憲法
körpü 橋
kövrəlmək もろくなる、壊れやすくなる
kövrəltmək もろくする、壊れやすくする
köynək シャツ、服；ドレス
kseroks コピー機
kulinariya (ロシア語) 惣菜；調理
küçə (道路の) 通り
kürək 背中

Q (q)

qaba 乱暴な、粗野な
qabaq ~より前に
qabağında 前に
qabaq 前
qaçışçı ランナー、走者
qaçmaq 走る
qadağan (名) 禁止 (形) 禁止されている
qadın 女性、婦人
qadın məsləhətxanası 産婦人科
qala 城
qaldırmaq 上げる、持ち上げる
qalın 厚い
qalmaq 滞在する；残る
qalxmaq 上がる
qan 血
qanun 法律
qapı ドア、扉
qapqaranlıq 真っ暗な
qara 黒；黒い
qaraciyər 肝臓
qaramtıl 黒ずんだ
qaranlıq 暗い
qardaş (男の) 兄弟
qarğa カラス
qarı 老婆、年老いた女性
qarın 腹
qarşı 向かい
qarşısında 向かい側に
qarşılamaq 出迎える
qaş 眉

qaşıq	スプーン	qırmızı təhər	赤っぽい、赤みを帯びた
qatar	列車	qırx	(数字) 40
qayçı	ハサミ (鋏)	qış	冬
qayğanaq グ	卵料理；スクランブルエッグ	qısa	短い
qayın	義弟、義兄	qışqırmaq	叫ぶ、大声を上げる
qayıq	ボート	qız	娘；(若い) 女の子
qayıtmaq	戻る、帰る	<i>Qız Qalası</i>	乙女の塔 (バクー旧市街地にある歴史的建造物)
qaynamaq	沸く	qızartmaq	焼く
qayınana	義理のおば	qızdırma	(体の) 発熱
qayınata	義理のおじ	qızılı	金色 (の)
qaynatmaq	沸かす	qoca	年老いた、高齢の
qaytarmaq	戻す；修復する	qocatəhər	年寄りじみた
qazanmaq	得る、勝ち取る	qol	腕；手
qazmaq	掘る	qonaq	客人、来客
qeydiyyat	登録、記載	qonşu	隣、近所、隣人
qəbul	受容、受け入れ	qoparmaq	切断する；破る、引き裂く
<i>qəbul etmək</i>	受ける；受け入れる	qopmaq	切断する；破られる、引き裂かれる
qədər	～くらい；～まで	qorxaq	臆病な、怖がりの
qədim	古い	qorxmaq	恐れる、怖がる
qəhvə	コーヒー	qorxutmaq	怖がらせる
qəhvəyi	茶色 (の)	qovurma	ロースト (肉)、オーブンで焼いた (肉)
qələbə	勝利	qovuşmaq	再会する
qələm	ペン	qoymaq	置く
qərar	決定	qrammatika	文法
qərar vermək	決める、決定する	qrip	インフルエンザ
qəşəng	美しい	qulaq	耳
qəzet	新聞	<i>qulaq asmaq</i>	聞く；耳を傾ける
qiymət	値段、価格；価値	quldur	盗賊
qiymətli	高価な	qurban	犠牲、生贄
qıç	足 (主にふとももからくるぶしあたりまでの部分)	Qurban bayramı	犠牲祭
qırmızı	赤；赤い	qurmaq	建てる
qırmızımtıl	赤っぽい		

qurtarmaq	終わる
qurtuluş	救出、解放
quru	乾いた
quş	鳥
qusmaq	吐く、嘔吐する
qutab	グタブ (アゼルバイジャン のパイ料理)
qutu	箱
qüvvə	力

L (l)

labüd	必然的に
lakin	しかし
lampa	ランプ
lap	とても
lazım	必要がある；必要である
leksik	語彙
lent	リボン、バンド
ləkə	しみ、汚れ
ləpə	波
liman	港
limon	レモン
lövhhə	板；(板書用の) ボード、黒 板
lüğət	辞書
lütfən	どうか (お願いします)

M (m)

maaş	給料
mağaza	店
mahnı	歌
manat	マナト (アゼルバイジャン

の通貨)	
mandarin	みかん
maraq	関心
maraqlanmaq	興味を持つ
maraqlı	面白い、興味深い
marasız	面白くない
mart	3月
masa	テーブル；机
maşallah	(感嘆詞) すばらしい！；よ くやった！
maşın	車
mavi	青い
may	5月
mehmanxana	ホテル
Meksika	メキシコ
meksikalı	メキシコ人
memar	建築士
meşə	林；森
metro	地下鉄
mexanik	機械工
meydança	(小さな) 遊び場
meyvə	果物
məcburən	無理やり、必然的に
məcmu	全て
mədə	胃
mədəni	文化的な；教養のある
mədəniyyət	文化
məhsul	商品
məktəb	学校
məktəb çantası	通学かばん
məqalə	記事；論文
məqsəd	目的
məlumat	情報
mən	私

mənzərə	景色	müəyyən	一定の、定まった
mərasim	式、式典	müğənni	歌手、ミュージシャン；アーティスト
mərkəz	中心、中央；センター	mühəndis	技師
məscid	モスク	mükafat	賞
məsələn	たとえば	mükəmməl	完全な、完璧な
məşğul	忙しい	mükəmməlləşdirmək	よくする、向上させる
məşhur	有名な	münsif	陪審員
məsləhət	忠告、助言、アドバイス	müraciət	面会
məsləhətxana	相談室；クリニック	<i>müraciət etmək</i>	面会する
mətbəə	印刷	musiqi	音楽
mətbəx	台所；料理	musiqiçi	ミュージシャン、音楽家
mətn	文；文章	müstəqillik	独立
məxsus	特別な；特有の	mütəxəssis	エキスパート、専門家
mikrodalğa	マイクロウェーブ	mütləq	必ず
<i>mikrodalğalı soba</i>	電子レンジ	müvəffəqiyyət	成功
<i>Milad bayramı</i>	クリスマス	müvəqqəti	一時的な、暫定の
<i>miladdan əvvəl</i>	紀元前	müxtəlif	様々な
millət	人々	müzakirə	議論、論争
milyon	(数字) 百万(1000000)	muzey	博物館
min	(数字) 1000		
minmək	乗る		
miqrasiya	移民		
<i>miqrasiya idarəsi</i>	移民局		
mobil (telefon)	携帯電話		
möhür	印(鑑)	nadir	珍しい、滅多にない
mövzu	テーマ、主題、話題	<i>nadir halda (nadir hallarda)</i>	ごくたまに (めったにない)
müasir	現代の、モダンな	nağıl	説話；物語
mübahisə	争い；議論	nahar	昼食
<i>mübahisə etmək</i>	議論する；討論する	<i>nahar etmək</i>	昼食をとる
mübarək	神聖な、しあわせな <i>mübarək</i>	nar	ざくろ
<i>olsun</i>	おめでとう (ございます)	narahat	迷惑；邪魔
müdafiə	防衛	<i>narahat etmək</i>	迷惑をかける；邪魔をする
müddət	期間	narahatlıq	迷惑、妨害
müəllim	先生		

N (n)

naringi	みかん	növbənöv	様々な
narıncı	オレンジ色 (の)	növbəti	次の
nazik	細い	Novruz (bayramı)	ノヴルーズ (イラン暦の正月)
necə	どのような; どのように	noyabr	11月
neçə	いくつ (個数、数量); いく	nuş	うれしい、喜ばしい
ら (金額); 何人		nuş olsun!	めしあがれ (食事する人に 対する表現)
neçənci	何番目の		
necə	どのような		
neft	石油		
neftçi	石油商		
nə (...?)	何 (...?)		
nə üçün	なぜ、どうして		
nə vaxt	いつ (日時)		
nəfəs	呼吸		
nəğd	現金		
nəğmə	メロディー、曲		
nəhəng	巨大な		
nənə	祖母		
nəqli	(文法) 平叙文の		
nəqli cümlə	(文法) 平叙文		
nəşr	公刊		
nəticə	結果、結末		
nəticədə	結果として		
nəvə	孫		
nəzakətli	礼儀正しい		
nəzakət	礼儀正しさ		
nəzəriyyə	理論		
nida	(文法) 感嘆詞		
niyə	なぜ		
nömrə	番号		
nöqsan	欠点		
nöqtə	点; ポイント		
növ	種類; (文法) 態、ヴォイス		
növ-növ	多様な、様々な		
		O (o)	
		o	それ; その、あれ; あの; 彼; 彼女
		ona görə	だから; そのため
		onda	それでは
		o zaman	それなら、それでは
		odun	薪
		ofis	オフィス、事務所
		ofisiant	(レストランなどの) 給仕、 ボーイ
		oğlan	(童話の) 少年、(男 性の) 若者
		oğul (-lu)	息子
		oğurlamaq	盗む
		oktyabr	10月
		olduqca	かなり
		olmaq	なる; ある; いる
		olmaz	だめだ; よくない
		omba	尻; 臀部
		onlar	彼ら
		on	(数字) 10
		opera	オペラ
		orijinal	本来の、オリジナルの
		ortaq	共有者、パートナー

oruc	断食
orta	真ん中、中央
ot	草、雑草
otaq	部屋
otuz	(数字) 30
oxşamaq	似る、似ている；世話する、 かわいがる
oxumaq	読む
oxutmaq	(本などを) 読ませる
oxuyan	歌手；知識人
oyanmaq	起きる
oynamaq	遊ぶ、(競技を) する
oynanmaq	遊ばれる
oyun	ゲーム；遊び
oyuncaq	玩具、おもちゃ
oyunçu	(ゲームの) 選手

Ö (ö)

ödəmək	(お金を) 払う
ödəniş	支払い
ölçmək	測る
ölkə	国
ölmək	死ぬ
ömür	生涯、人生
ön	前
öncə	前に
öndər	指導者
önündə	前に
öpmək	キスする
öpüşmək	互いにキスを交わす
örtmək	覆う、カバーする
öymək	褒める

öyrənmək	学ぶ、勉強する
öyrətmək	教える
öyünmək	自慢する
öz	自身
öz-özünə	自分自身に；自分で

P (p)

paltar	服
pambıq	綿 (わた)
parça	部分；破片、かけら
park	公園
payız	秋
paytaxt	首都
pendir	チーズ
peşə	職業
piknik	ピクニック
pilot	パイロット
pis	悪い
pişik	猫
piti	ピティ (アゼルバイジャン の伝統料理の一つ)
pivə	ビール
piyada	徒歩で
plov	プロフ (アゼルバイジャン の米料理)
poliklinika	診療所
polis	警察；警官
<i>polis idarəsi</i>	警察署
polyak	ポーランド人
portağal	オレンジ
pozan	消しゴム
professor	教授

pul お金、現金
pulqabı 財布

R (r)

radio ラジオ
rahat 安心な、気楽な；快適な
ramazan ラマザーン（断食月）
Ramazan bayramı ラマザーン祭（断食月明けの祝祭日）
razı 満足している
regional 地域の
rektor 学長
respublika 共和国
restoran レストラン
rəhmət 恵み、恩恵
rəqqas ダンサー
rəqqasə （女性の）ダンサー
rəqs 踊り
rəng 色
rəngsaz ペインター；塗装工
rəsm 絵
rəssam 画家
riyaziyyat 算数
rol 役割
rüşvət 賄賂

S (s)

saat 時間；時計
Saat neçədə (...?) 何時に
sabah 明日
saç 髪、髪の毛
sadəcə ～だけ

sağ (I) 健康な
sağ (II) 右
sağlam 健康な；丈夫な
sağlıq 生命；健康
sahibkar 社長
sait 母音
sakit 静かな；無口な；落ち着いた
sakitləşdirmək 黙らせる；（痛みを）鎮める
salam あいさつ；こんにちは（あいさつとしての表現）
salamlamaq あいさつする
salamlaşmaq 挨拶をかわす、挨拶をし合う
salamlaşmaq 互いにあいさつする
salfet ナプキン
salmaq 下げる、落とす
salon サロン
samit 子音
sapsarı 真っ黄色の
saqqal あごひげ
sarı (I) 黄色；黄色い
sarı (II) ～に向かって
sarımtıl 黄色っぽい
sarışın ブロンド（髪）の
satıcı 販売員
satmaq 売る
saxlamaq もっておく；隠す
say 数詞
sayılmaq 数えられる；みなされる
saymaq 数える
sentyabr 9月
sevgi 愛情
sevilmək 愛される、好かれる
sevimli すてきな；かわいい

sevinmək	喜ぶ	sinə	胸 (→döş)
sevmək	好む；愛する	siqaret	たばこ
səadət	幸福	sirr	秘密
səbəb	原因；理由	sirli	秘密の
səbir	我慢、忍耐	siyahı	リスト、一覧表
səbirli	我慢強い	siz	君たち、あなた、あなた方
səbirsiz	我慢できない	sıfır	(数字) 0
səfər	渡航	sındırmaq	壊す
səhər	朝、午前	sınmaq	壊れる
səhifə	頁 (ページ)	srağagün	一昨日
səhnə	舞台、ステージ	sıra	順序
səhv	誤りの、まちがっている；過失、失敗	sırğa	イヤリング
səhv etmək	間違う、ミスをする	skripka	ヴァイオリン
səkkiz	(数字) 8	smartfon	スマートフォン
səksən	(数字) 80	soba	こんろ、暖炉；ストーブ
səmimi	親しみのある	son	終わり、最後
sən	君	sonra	(～の) あとで
sənaye	工業	sonunda	おわりに；最後の方に
sənəd	文書	sous	ソース
sənət	芸術、美術	soyuducu	冷蔵庫
sərmək	広がる；広げる	soyunmaq	(服を) 脱ぐ
sərxoş	酔っている、酔った	soyuq	冷たい
sərxoş olmaq	酔う	soyuqlamaq	風邪を引く
səs	声；音	soyutmaq	冷やす
səs-küy	騒音	söhbət	会話、話題
səslənmək	呼ぶ、声をかける	söndürmək	消す
səsli	声のある	söndürtmək	消させる
səyahət	旅行	sönmək	消える
silah	武器	söylənilmək	話される
silahlı	武器を有する	spirt	スピリット(火酒)、蒸留酒；
silinmək	消される	アルコール	
silmək	消す	spirtli içki	アルコール
simvol	シンボル	stadion	スタジアム
		stansiya	駅

stomatoloq	歯医者
stul	椅子
su	水
sual	質問；問題
subay	独身の
susmaq	黙る、静かになる
susuz	水がない、水不足の
sutka	1日
süd	牛乳
süfrə	テーブルクロス
sümük	骨
supermarket	スーパーマーケット
süpürtdürmək	ほうきがけさせる
süpürmək	ほうきがけする
sürücü	運転手
sürücülük	運転免許
<i>sürücülük vəsiqəsi</i>	運転免許証
süzmək	濾過する、濾す

şəkərsiz	砂糖なしの
şəkər	砂糖
şəkilçəkən	カメラ
şəkil	写真
şənbə	金曜日
şərab	ワイン
şərqsünaslıq	東洋学
şəxs	個人；個人の
şəxsən	個人的に
şifahi	口頭の、口述の
şikayət	不平、不満
şirin	甘い
şokolad	チョコレート
şux	陽気な、楽しい
şübhəsiz	疑いなく
şüşə	グラス、瓶、ボトル

T (t)

Ş (ş)

şad	うれしい、満足している
şahmat	チェス
şalvar	ズボン
şam	夕食；晚餐
şehli	露、しずく
şey	もの、こと；ええと（言い淀むときに使う）
şəfa	癒し、（病気の）快復
<i>Allah şəfa versin!</i>	お大事に！
şəhər	都市；市（街）
şəhid	殉死者；犠牲者
şəkərli	砂糖入りの

taksi	タクシー
tamamilə	全て、完全に
tamamlamaq	完成させる、完全（な状態）にする
tanımaq	（人を）知っている、面識がある
tanınmaq	知られる；明らかになる
tanış	知り合い；知り合いの、よく知っている
tanış olmaq	知り合う
tapmaq	見つける
tapşırıq	タスク、すべき仕事
tarix	歴史
teatr	劇場

telefon	電話	təntənəli	厳かな、神聖な
temperatur	気温	təptəzə	とても新鮮な
temp	テンポ	tərbiyəli	礼儀正しい
tennis	テニス	tərəf	～に向かって
tez	(スピードが) 速い	tərəvəz	野菜
		tərgitmək	やめる
tez-tez	しょっちゅう; 早く; 急いで	tərif	定義; 称賛
təbəssüm	微笑み、スマイル	<i>tərif vermək</i>	定義する
təbrik	祝福	tərifləmək	称賛する、誉める
<i>təbrik etmək</i>	祝福する	tərləmək	汗をかく
təcili	緊急の; 急いで	təsadüfən	偶然; たまに
tədqiqat	調査; 探究	təşəkkür	感謝
təəccüb	驚き	<i>təşəkkür edirəm (edirik)</i>	ありがとう
təəssüf	残念、遺憾、後悔	təxminən	おそらく、予想では
<i>təəssüf ki</i>	残念ですが、残念なことに	təşviqat	扇動者、アジテーター
tək	単に; 単なる; 単独の	təyyarə	飛行機
təqdim	割り当て; 提供、贈呈	təzə	新鮮な
<i>təqdim etmək</i>	紹介する	təzliklə	もうすぐ、まもなく
təqvim	カレンダー	tikilmək	建てられる
tələbə	学生	tikmə	裁縫
tələsik	急いで	tikmək	建てる
tələsmək	急ぐ	tısbağa	亀
təmir	修理、修繕	top	球、ボール
<i>təmir etmək</i>	修理する	torpaq	土壌
təmiz	清潔な	tort	ケーキ
təmizləmək	掃除する、清掃する; きれいにする	tökülmək	(葉などが) 落ちる; こぼれる
təmizlətmək	掃除させる; 掃除してもらう	tualet	お手洗い; トイレ
う		tünd	暗い
təmizləyici	クレンザー、洗剤	turist	観光客
tənbəl	怠慢な	türk	トルコ人
tənbəllik	怠慢	türkcə	トルコ語
tənəffüs	休憩時間	Türkiyə	トルコ
təntənə	フェスティバル、祝祭		

U (u)

uca	高い
ucalmaq	高まる、高くなる；上昇する、昇る
uçmaq	飛ぶ
uçurtmaq	飛ばす
ucuz	安い
ucuzlaşmaq	安くなる
uğur	成功
uğurlu	幸運な、好結果の
unutmaq	忘れる
upuzun	とても長い
usta	職人；親方
uşaq	子ども
utanmaq	恥じる、恥ずかしがる
uyğun	適切な
uyğun gəlmək	適切である
uzaq	遠い
uzun	長い
uzunsov	長めの

Ü (ü)

üç	(数字) 3
üç dəfə	3回
üçün	～のために (理由・目的)
ümid	希望
ümid etmək	望む、希望する
ünvan	住所
ürək	心臓
üst	上

üstündə	上に
üz	顔
üz-üzə	顔を合わせて、対面で
üzləşmək	面と向かう、対峙する
üzmək	泳ぐ
üzr	おわび、謝罪
üzr istəmək	おわびする、謝罪する
üzrə	～にしたがって；～に関し
て	
üzüm	ぶどう
üzümçü	ぶどう栽培者

V (v)

vacib	大切な、必要な
vanna	風呂
vanna qəbul etmək	入浴する
var	ある；いる
vasitə	手段
velosiped	自転車
vermək	あげる
və	そして
və sairə	など
vəkil	弁護士；代理人
vətəndaş	国民；同胞
vətən	祖国
vəziyyət	状況、情勢
vida	別れ
vidalaşmaq	互いに別れを告げる
viza	ビザ (査証)
vurğu	(音声学の) 強勢
vurğulu	強勢がある
vurmaq	叩く；(蛇などが) 噛む、(蜂

が) 刺す；(髪を) 切る

Y (y)

ya	あるいは	yaratmaq	生み出す、作る、創造する
yad	よその、他の	yariş	大会
<i>yadda saxlamaq</i>	覚えている、記憶にある	yaş (I)	濡れた
yaddaş	記憶	yaş (II)	年齢、～歳
yağ	油	yaşıl	緑(の)
yağış	雨	yaşılımtıraq	緑色がかった
yağışlı	雨天の、雨が降っている	yatırmaq	(お金を) 投資する
yağmaq	(雨・雪が) 降る	yatızdırmaq	寝かせる
yaxın	近い	yatmaq	眠る、寝る
yaxınlaşmaq	近づく	yavaş	遅い
yaxmac	(上にバターや蜂蜜を塗った) パン、(またはその切れはし)	yay	夏
yaxşı	よい；元気な	yaymaq	公開する、広める
yaxşılıq	よさ	yaz	春
yaxud	または	yazdırmaq	書かせる
yalan	嘘	yazıçı	作家
yan	横；そば、隣；横；側	yazışmaq	互いに書く、文通する、手紙のやりとりをする
yanaq	頬	yazmaq	書く
yanaşmaq	接する	yeddi	(数字) 7
yandırmaq	燃やす；消費する	yedizdirmək	食べさせる
yanğınsöndürən	消防士	yem	餌
yanında	横に；そばに	yemək	(名) 食事
<i>yanındakı</i>	隣にある、横にある	yemək	(動) 食べる
yanvar	1月	<i>yemək çubuqları</i>	箸
yapon	日本の；日本人	yenə	再び；また、もう一度
<i>yapon dili</i>	日本語	yeni	新しい
Yaponiya	日本	yepyeni	真新しい
yaradılmaq	組織される	yer	場所；地上；地球
yaraşıqlı	ハンサムな	<i>yeri gəlmişkən</i>	ところで
		yerkökü	(野菜) ニンジン
		yetim	身寄りがない；孤独な(→ kimsəsiz)
		yetirmək	(手紙などを) 配達する；間に合う

yetmiş	(数字) 70	zanbaq	チューリップ
yeyilmək	食べられる	zarafat	冗談
yəqin	もしかしたら、たぶん	zarafat etmək	からかう、冗談を言う
yığışmaq	集める	zavod	工場
yığmaq	(お金を)貯める、(情報を)	zeytun	オリーブ
集める		zəfəran	(花) サフラン
yıxılmaq	落ちる	zəhmət	苦勞；手間
yox	いいえ；ない；いない	zəhmət olmasa	どうか(～してください)
yoxlamaq	チェックする、確認する	zəhmətkeş	まじめな、勤勉な
yoxsa	それとも	zəif	弱い
yoğun	太い	zəlzələ	地震
yol	道	zəng	ベル
yola düşmək	出発する	zənn	推測；考え
yoldaş	同士、仲間；パートナー(配	zənn etmək	思う、考える
偶者)		zərf	封筒
yorğun	疲れている	zibil	ごみ
yorulmaq	疲れる	zibil qutusu	ゴミ箱
yumaq	洗う	zirvə	頂点、頂上
yumşaq	柔らかい	ziyan	損害、損失
yun	ウール	ziyan vurmaq	害を及ぼす
yunan	ギリシャ人	ziyarət	訪問
Yunanıstan	ギリシャ	zövq	喜び、満喫
yuyulmaq	洗われる	zövq almaq	楽しむ、満喫する
yuyunmaq	(自分を)洗う；入浴する		
yüksəlmək	上がる		
yüksəltmək	上げる		
yüngül	軽い		
yüz	(数字) 100		

Z (z)

zal	ホール、大部屋
zalım	乱暴な；残酷な

参考文献・引用文献

(欧文)

- Abbasova, Ceylan (ed.) (2017) *Azərbaycan Xalq Nağılları*. Bakı: Qanun Nəşriyyatı.
- Abdullayev Əlövsat, Seyidov Yusif, Həsənov Ağamalı (2007) *Müasir Azərbaycan Dili. IV hissə: Sintaksis*. Bakı: Şərq-Qərb.
- Cəfərov Səlim (2007) *Müasir Azərbaycan Dili. II hissə: Leksika*. Bakı: Şərq-Qərb.
- Davudova, Güləfat (2013) *555 Tapmaca*. Bakı: Qanun Nəşriyyatı.
- Dəmirçizadə Əbdüləzəl (2007) *Müasir Azərbaycan Dili. I hissə: Fonetika, orfoepiya, orfoqrafiya*. Bakı: Şərq-Qərb.
- Hüsynzadə Muxtar (2007) *Müasir Azərbaycan Dili. III hissə: Morfologiya*. Bakı: Şərq-Qərb.
- Qəribova, Jala, Əliyeva, Səbina (2012) *Azərbaycan Dili (xarici tələbələr üçün) Başlangıç Səviyyə*. Bakı: Mütercim.
- İsmayılov Rafiq, Gülşən Orucova, Xəlilov Zahid, Cəfərova Dilruba (2014) *Azərbaycan Dili 2, Ümumtəhsil məktəblərinin 2-ci sinfi üçün dərslik*. Bakı: Altun Kitab.
- Öztopçu Kuluturuş (2012) *Elementary Azerbaijani* (2nd edition). Istanbul: Mega Basım Yayın ve Ticaret.
- Sadiq Şəmil, Nəcədoğlu Elxan, Əsədov, Arif (2016) *Azərbaycan Dili: Abituriyentlər üçün vəsait*. Bakı: Hədəf Nəşrləri.
- Talıblı, E. Ə., Şahbazova, Z. Ə. (et al.) (2021) *Orfoqrafiya-orfoepiya Lüğəti*. Bakı: Abituriyent.

(和文)

- 廣瀬陽子 (編) (2018) 『アゼルバイジャンを知るための 67 章』 東京：明石書店.
- 松永 昭 (1999) 『アゼルバイジャン語文法入門』 東京：大学書林.

辞書

(欧文)

- Azərbaycan Milli Elmlər Akademiyası (2006) *Azərbaycan Dilinin İzahlı Lüğəti* (4 Cild). Bakı: Şərq-Qərb.
- Musayev Oruc İ. (et al.) (1998) *Azərbaycanca-İngiliscə Lüğət*. Bakı: Azərbaycan Dövlət Dillər İnstitutu.
- Musayev Oruc İ. (ed.) (2008) *İngiliscə-Azərbaycanca Lüğət*. Bakı: Qismət.

(和文)

松長昭 (2009)『簡明日本語—アゼルバイジャン語 アゼルバイジャン語—日本語辞典』．東京：国際語学社．

吉村 大樹 (2022)「アゼルバイジャン語」．庄司博史（編）『世界の公用語事典』．東京：丸善出版． p114-117．

2022 年度言語研修「アゼルバイジャン語」研修テキスト 1
アゼルバイジャン語文法教本

ILCAA Intensive Language Course 2022 “Azerbaijani” Textbook 1
Azerbaijani Grammar Textbook

2023(令和5)年3月31日 第1版発行

著 者 吉村大樹 & カマラ・グリエヴァ

発 行 東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所
 〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1
TEL. 042-330-5600
<https://publication.aa-ken.jp/>

© 2023 YOSHIMURA Taiki & GULIYEVA Kamala

ISBN 978-4-86337-397-6

この作品は PDF フォーマットによる電子出版物として刊行されました。この作品はクリエイティブ・コモンズ表示-非営利 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。



<http://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/>

ISBN978-4-86337-397-6

